

宮古市中心市街地拠点施設整備事業に係る
市民アンケート調査報告書

平成 27年 8月

調査：宮古市企画部 復興推進課
協力：株式会社ケー・シー・エス三陸事務所

宮古市中心市街地拠点施設整備事業に係る 市民アンケート調査報告書

－ 目次 －

1. 業務概要	1
1) 調査目的	1
2) 調査概要	1
2. 調査集計及び集計結果の分析	2
1) 調査結果（単純集計）	2
2) 調査結果（性別によるクロス集計）	15
3) 調査結果（年齢によるクロス集計）	29
4) 調査結果（住まいによるクロス集計）	44
5) 調査結果（市役所の利用目的と利用頻度・滞在時間のクロス集計）	51
6) 調査結果（活動への参加状況と新施設利用意向のクロス集計）	52
7) 調査結果（中心市街地への外出頻度と出掛けたくなる仕掛けのクロス集計）	53
8) 調査結果（その他、自由記入の集計）	54
3. 資料編	59
1) 市民アンケート調査票	59
2) アンケート調査報告書（概要版）	72

1. 業務概要

1) 調査目的

調査は、宮古市中心市街地拠点施設整備事業を実施する上で基礎資料とするため、事業の認知度や関心度、市民意向などを把握することを目的として実施するものである。

2) 調査概要

実施期間	平成27年6月23日（火）～7月8日（水）
調査方法	調査票は、郵送にて対象者へ配布 回収は、郵送での提出
調査対象	18歳以上の市民から3,000名を無作為に抽出
回収数（率）	1,080人（36.0%）
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・回答者の属性・市役所の利用目的・市役所の利用頻度、滞在時間・整備計画の認知度、認知方法、関心度・本庁舎までの交通手段・宮古駅南側に新施設が整備された場合の交通手段・グループや団体などでの地域活動への参加状況・市民交流センターの利用意向、利用を希望する諸室（機能）・市民交流センターの利便性向上のための配慮事項・市民交流センターの利用内容（形態）・中心市街地への外出目的と頻度・中心市街地の現状認識・中心市街地への外出促進策（仕掛け）・現市庁舎（本庁舎、分庁舎）の跡地活用の期待度・その他（意見、提案）

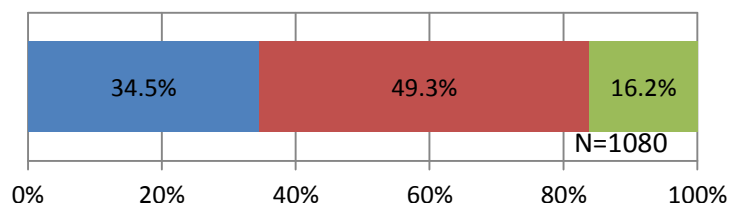
2. 調査集計及び集計結果の分析

1) 調査結果（単純集計）

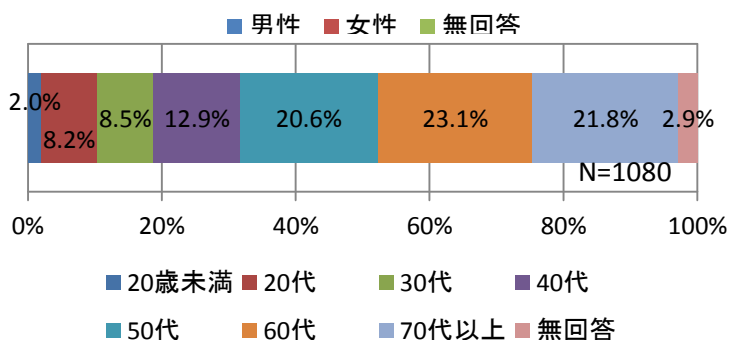
①属性

- 「性別」は、「女性」49.3%、「男性」34.5%で、女性の方が多い。
- 「年齢」は、「60代」が23.1%で最も多く、70代と50代が続いた。
- 「住まい」は、〔全配布数に対する割合・全回収数に対する割合〕が、「宮古・崎山・津軽石・重茂・花輪地区」が〔78.2%・76.6%〕、田老地区〔7.6%・6.3%〕、新里地区〔7.3%・7.5%〕、川井地区〔6.9%・6.0%〕であり、回収割合が新里地区、川井地区の順に高かったといえる。
- 「職業」は、「無職」が25.7%で最も多く、「会社員」が21.3%が続いた。60代以上が44.9%を占めたことから「無職」が多くなったと考えられる。

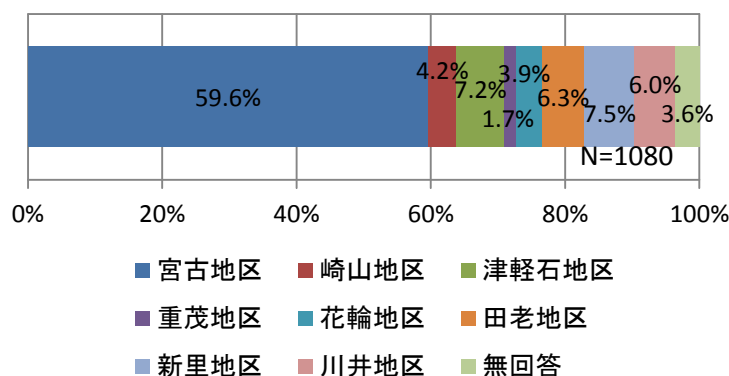
■性別



■年齢



■住まい



■職業

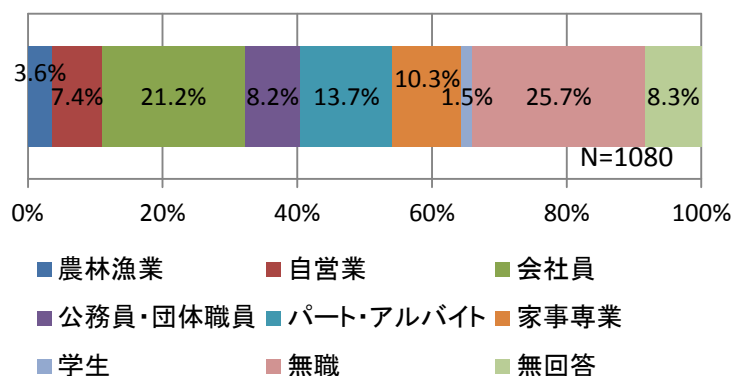


図1 属性

②市役所の利用目的

- 「証明（戸籍、住民票、印鑑登録など）」が 81.8%で最も多く、次いで、「税金」が 23.8%、「健康保険、年金」が 16.3%となった。
- 「その他」としては、「仕事の関係で行く」「会議への出席」「ほとんど利用しない」などが挙げられた。

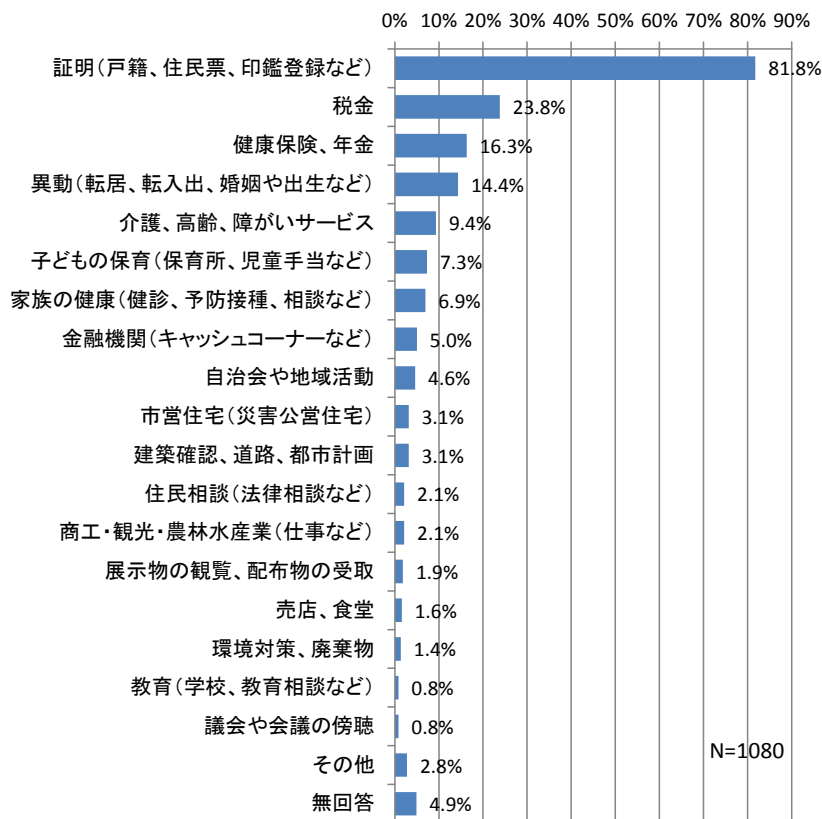


図2 利用目的

③市役所への来訪頻度

- 「年に数回程度」が 47.8%で最も多く、次いで、「年1回程度」が 15.3%となった。

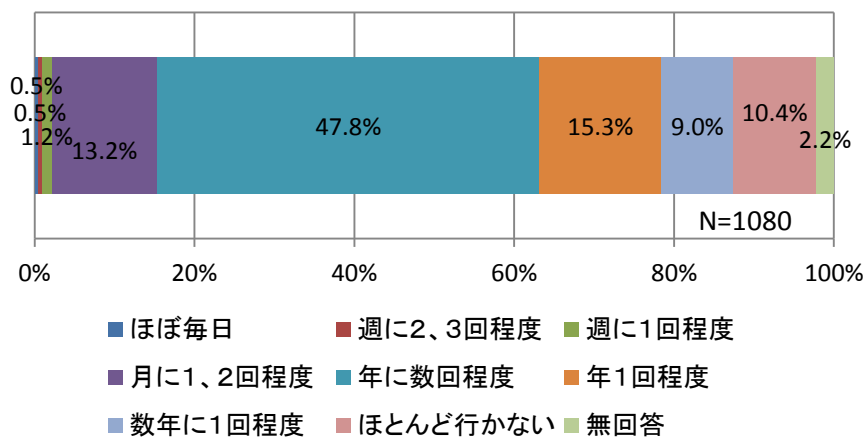


図3 来訪頻度

④市役所での滞在時間

○「15～30分」が44.6%で最も多く、次いで、「15分未満」が37.6%であった。

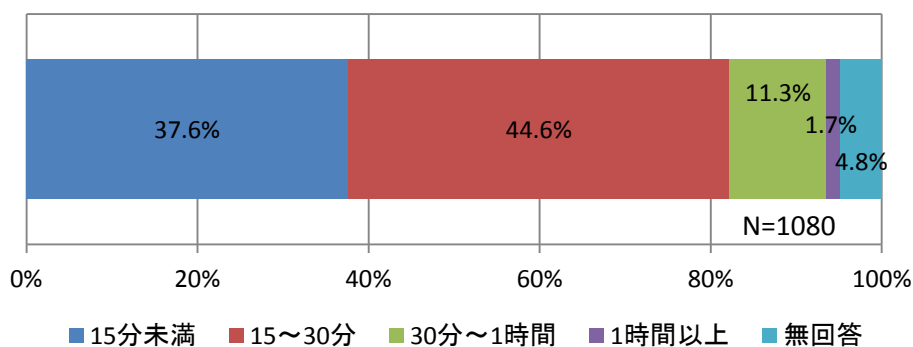


図4 市役所での滞在時間

⑤整備計画の認知度

○整備計画について、「知っている」と回答した人は76.1%であった。そのうち、整備内容まで知っているとは回答した人は9.9%であった。

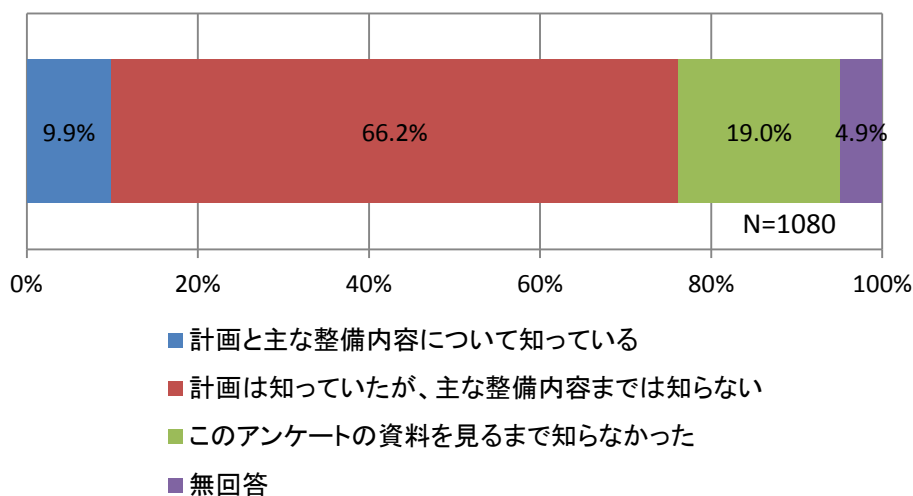


図5 整備計画の認知度

⑥整備計画を知った方法

○整備計画を知った情報源としては、「市の広報」が40.9%で最も多く、次いで、人づてに「クチコミ」で知った人が34.2%であった。

○「市民説明会、出前説明会」が1.6%で最も低く、直接のやりとり（対面）より、広報等での間接的なやりとりの方で知ったという傾向が強いといえる。

○その他の内容としては「テレビで知った」や「このアンケートで知った」であった。

（複数回答）

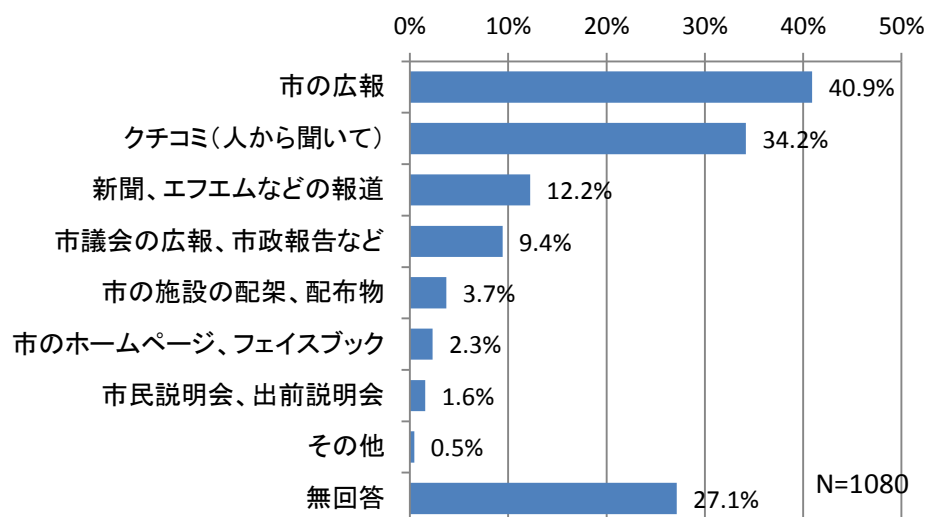


図6 整備計画を知った方法

⑦整備計画への関心度

○「とても関心がある」「関心がある」は合わせて39.9%となり、「あまり関心がない」「関心がない」は合わせて16.8%だった。

○「どちらともいえない」や「わからない」「無回答」は4割超（43.3%）であった。

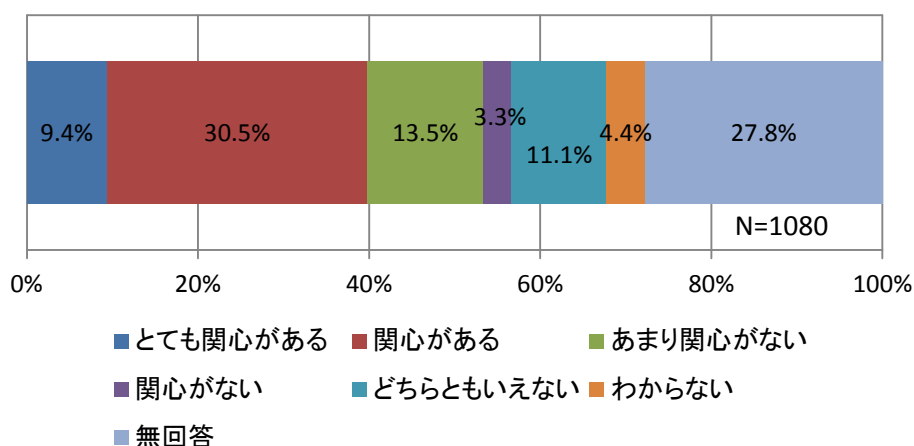
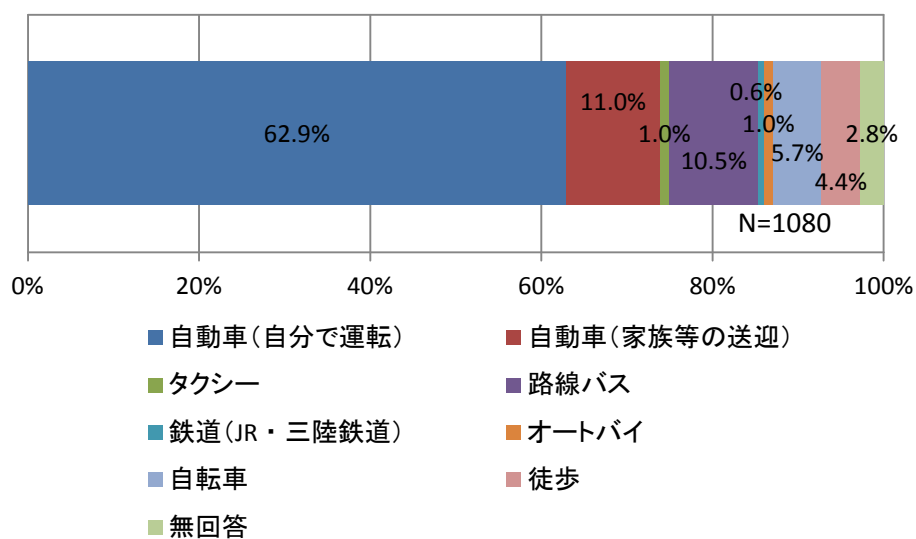


図7 整備計画への関心度

⑧交通手段

- 現在の本庁舎までの交通手段は、「自動車(自分で運転)」が 62.9%で最も多く、「自動車(家族等の送迎)」(11.0%)を含めると、7 割以上(73.9%)が自動車を使用している。
- 宮古駅南側に新施設が整備された場合も、「自動車(自分で運転)」が 59.8%で最も多く、「自動車(家族等の送迎)」(8.1%)を含めると、6 割以上(67.9%)が自動車を使用すると答えている。
- 「公共交通(鉄道・バス・タクシー)」の割合は、現在の交通手段としている人が 12.1%(前回 7.8%)、新たに宮古駅南側に施設が整備された場合は、14.9%(前回 12.8%)となっていて、2.8% (前回 5%)増えるという傾向が見られた。
- 前回調査と同様に、現在（新施設の整備前）も新施設の整備後も、「自動車(自分で運転)」が最も多い。

■現在の本庁舎までの交通手段（今回）



■宮古駅南側に新施設が整備された場合の交通手段（今回）

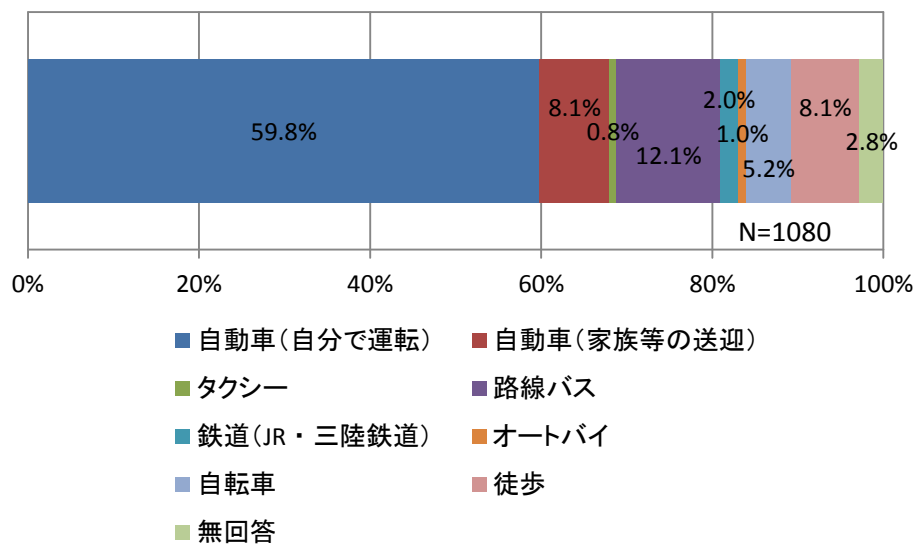
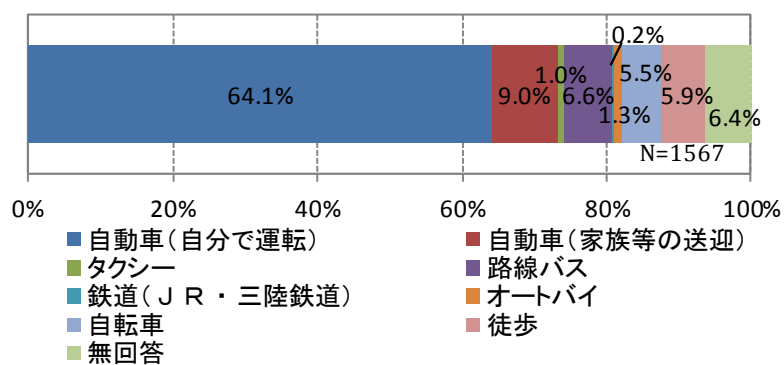


図 8 交通手段（今回）

■現在の本庁舎までの交通手段（前回）



■宮古駅南側に新施設が整備された場合の交通手段（前回）

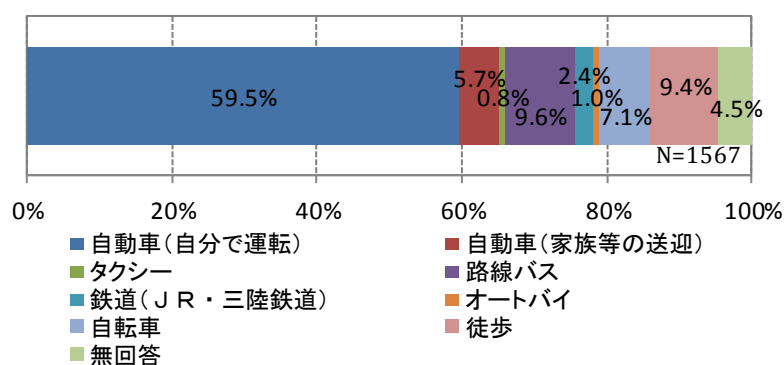


図9 交通手段（前回）

⑨グループや団体などでの地域活動への参加状況

○日頃、地域のグループ・クラブ・サークルや各種団体・自治会・町内会などの活動に参加していると回答した人の割合は 22.1%だった。

○主な参加活動は「自治会・町内会活動」が 52.1%で最も多く、「運動系のサークル・趣味の活動」が 21.1%が続いた。

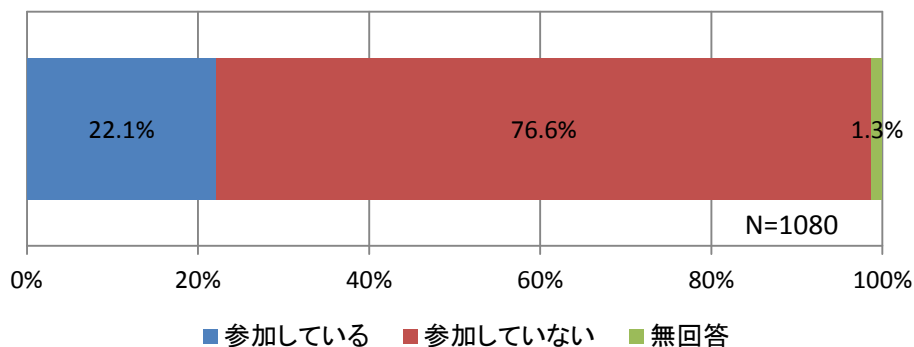


図 10 グループや団体などでの地域活動への参加状況

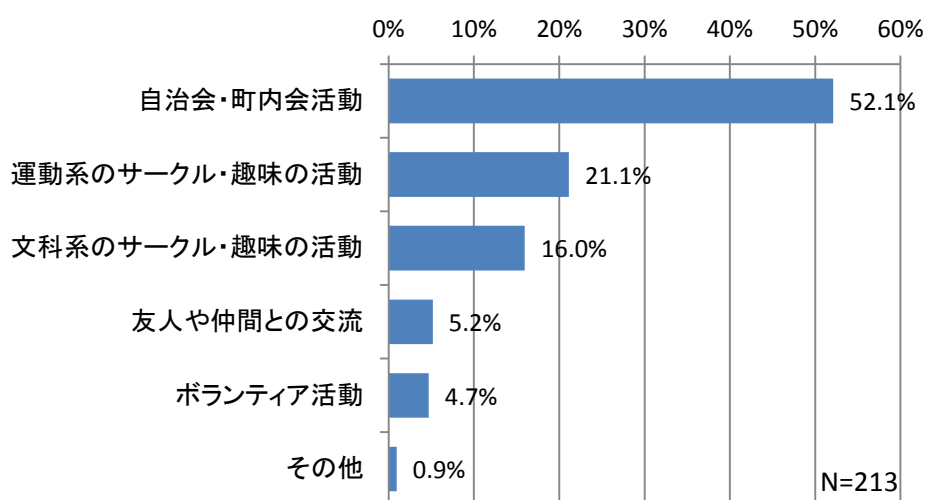


図 1 1 参加している活動の内容

⑩市民交流センターの利用意向

○「利用したい」(16.6%)、「どちらかというと、利用してみたい」(29.8%)を合わせると、「利用したいと考えている人」は46.4%であった。

また、「どちらかというと、利用しないと思う」(24.9%)、「利用しない」(9.5%)を合わせると、「利用しないと考えている人」は34.4%となり、「利用したいと考えている人」の方が多かった。

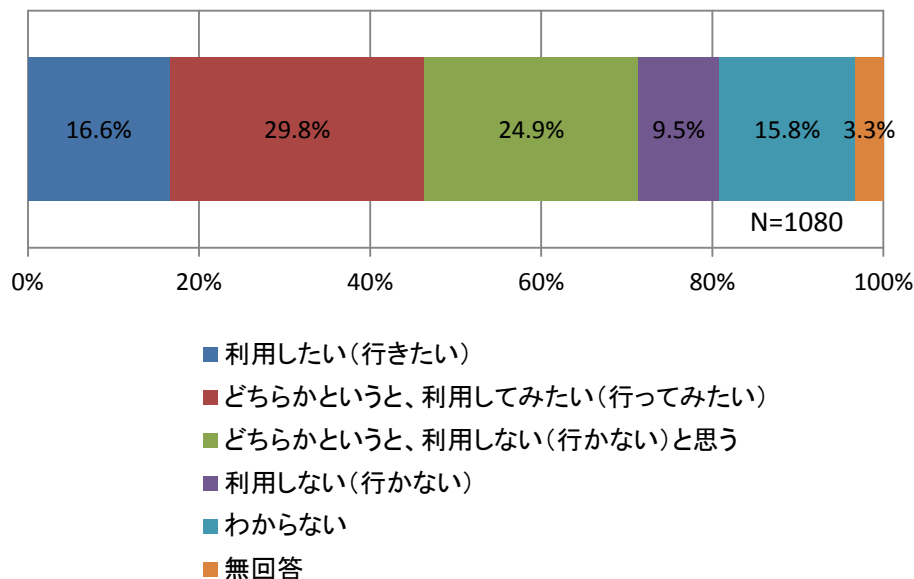


図 1 2 市民交流センターの利用意向

⑪市民交流センターで利用したい諸室

○軽飲食や小会合などに利用できる「ふれあいカフェ」が32.9%で最も多く、次いでダンスや健康運動などに利用できる「軽運動スタジオ」が25.3%、発表会、講演会、総会などに利用できる「多目的ホール」が20.8%、休憩や交流活動などに利用できる「オープンスペース」(18.5%)の順に続いている。(複数回答)

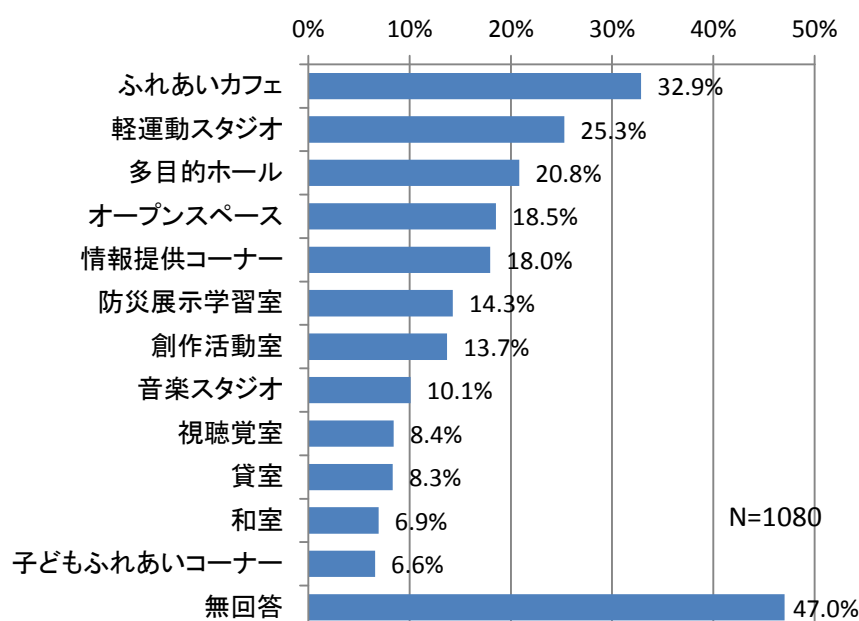


図 1 3 市民交流センターで利用したい諸室

⑫市民交流センターに追加したい機能や諸室

- 「トレーニングジムやスポーツができる部屋」が 17.9%で最も多く、次いで「売店、食堂、産直」が 12.8%となった。
- 「図書室」(5.1%)や「学習室」(4.3%)など 1 人でも利用できる場所を望む声もあった。
- 絵画などの「展示コーナー」(6.0%)、「音楽スタジオ」(4.3%)など、既出の機能も挙げられた。
- その他には「機器や CD の貸し出し」や「展望台」、「ATM」などが挙げられた。

(自由回答)

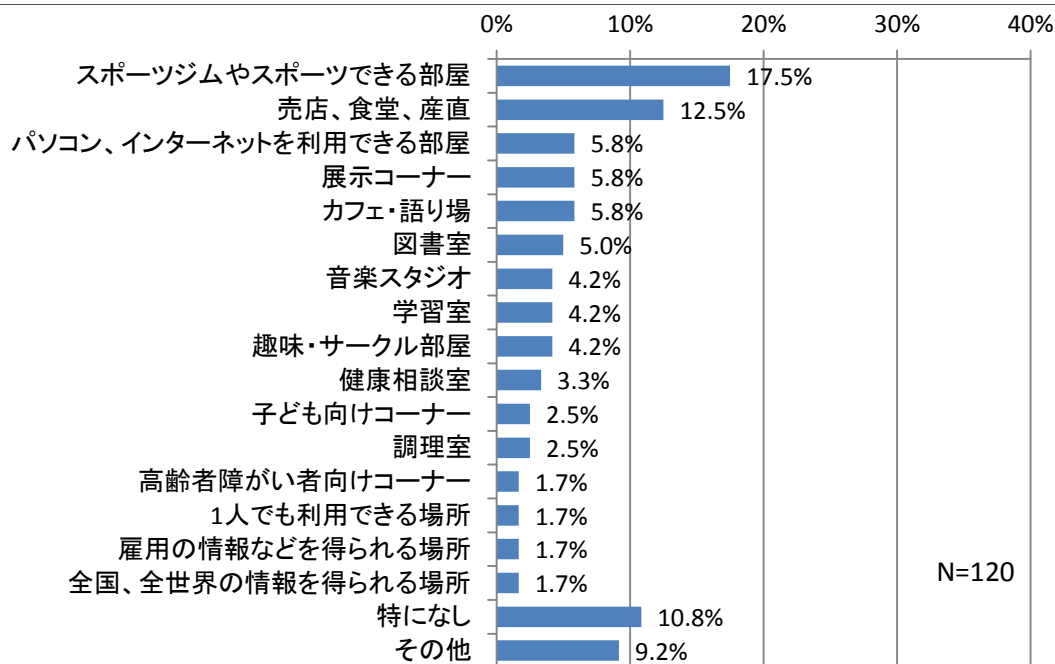


図 1 4 市民交流センターに追加したい機能や諸室

⑬市民交流センターの利便性向上のための配慮事項

- 「親しみやすく、気軽に立ち寄ることができること」が 44.9%で最も多く、次いで「利用料金が安いこと」が 38.4%、「土曜日や日曜日、祝祭日、夜間でも利用できること」が 32.9%であった。
- 「その他」としては、「駐車場の整備」や「現地までの交通の整備」などが挙げられている。

(複数回答)

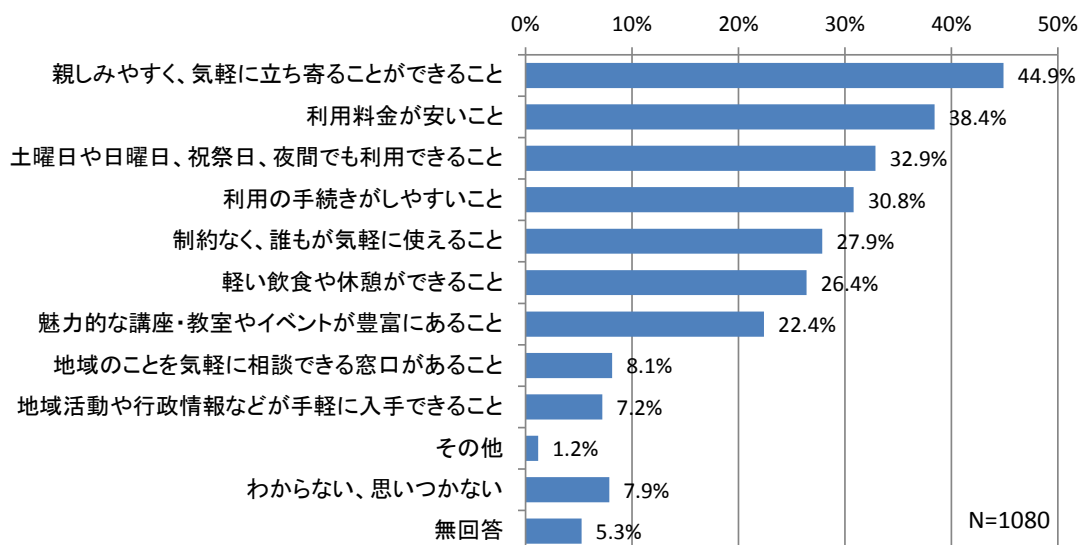


図 1 5 市民交流センターの利便性向上のための配慮事項

⑭市民交流センターでの利用内容（形態）

- 「趣味や教養に関する教室や講座に参加」が28.7%で最も多く、次いで「気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす」が27.1%となった。
- 団体の活動や地域の人との交流を目的としている人がそれぞれで20%前後みられる。
- 「その他」としては、「トレーニングジムでの運動」、「休憩スペース」などが挙げられている。
- （複数回答）

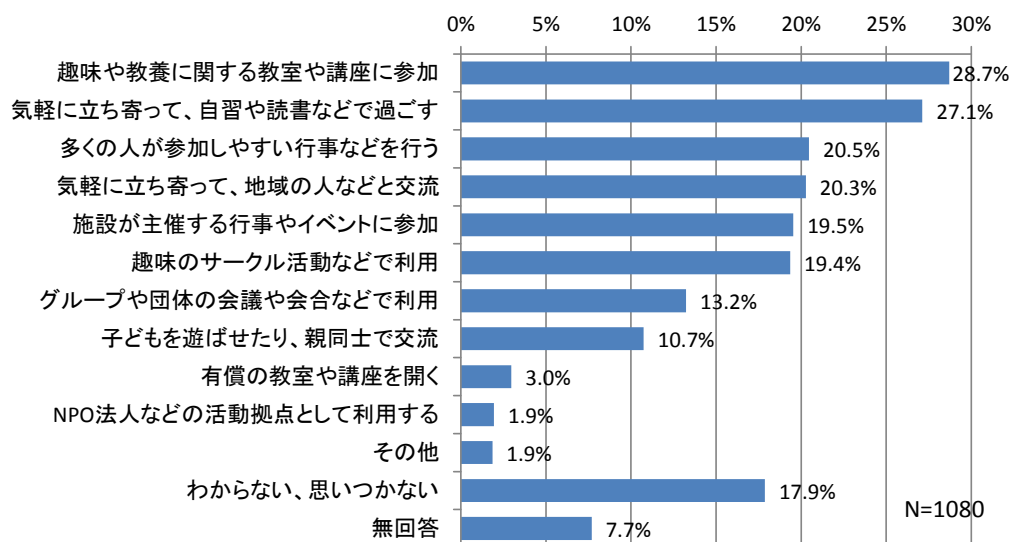


図 1 6 市民交流センターでの利用内容（形態）

⑮中心市街地へ出かける目的

- 「最寄品の買い物」が64.8%で最も多く、次いで「飲食のため」が35.2%、「通院のため」が30.7%であった。
- 「友人・知人に会いに行くため」(10.6%)から「ウィンドウショッピング、ぶらぶら散歩のため」(7.5%)までは回答に大差はない。
- 「その他」としては、「銀行に行くため」、「美容院に通う」、「子どもと散歩」などが挙げられている。
- （複数回答）

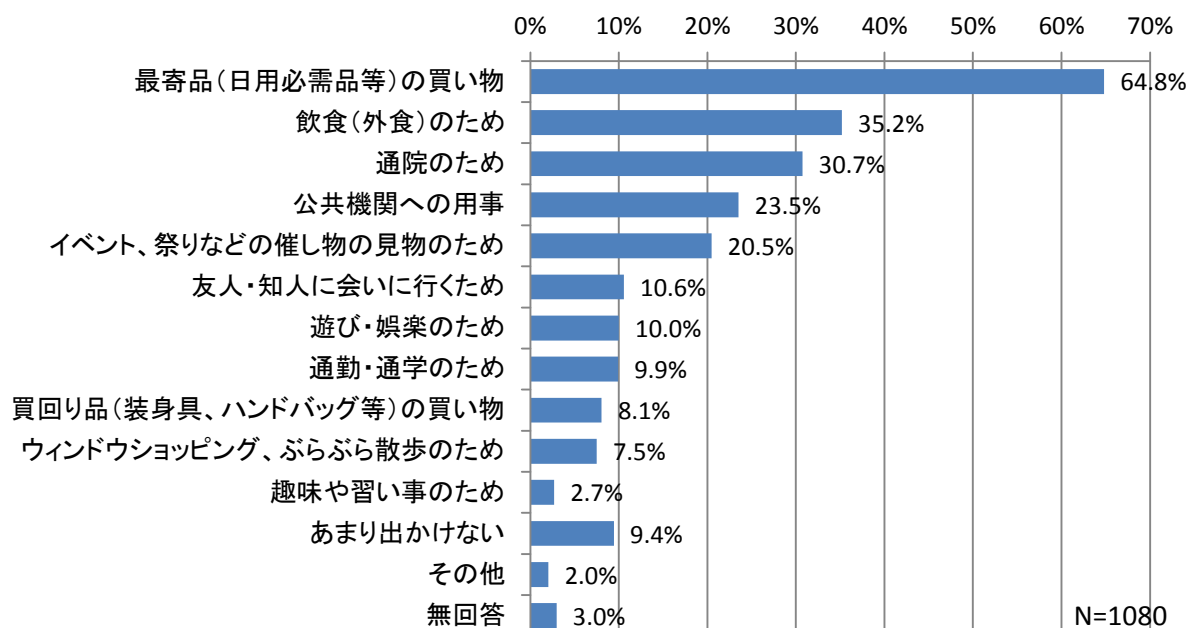


図 1 7 中心市街地へ出かける目的

⑩中心市街地を訪れる頻度

○「週に1～2回」が41.2%と最も多く、次いで「月に1～2回」が24.4%となった。「ほぼ毎日」と回答した人は18.3%となり、回答者の83.9%が月に1回以上中心市街地を訪れていることがわかる。

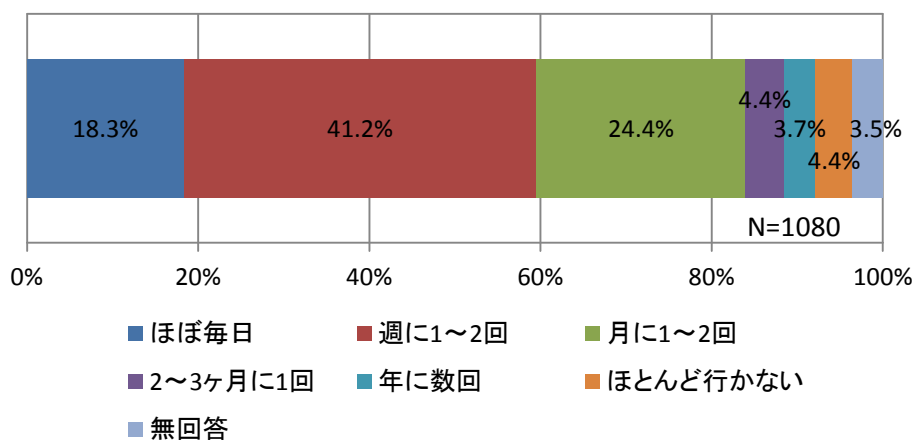


図18 中心市街地を訪れる頻度

⑪現在の中心市街地について感じる事

○「最寄品の買い物がしやすい」については「そう感じる」(7.2%)と「まあまあ感じる」(29.7%)を合わせて36.9%、「あまり感じない」(17.1%)と「そう感じない」(14.5%)の合計31.6%を上回っている。

○ほとんどの設問について、「あまり感じない」「そう感じない」を合わせた割合が、4割から5割超になっている。

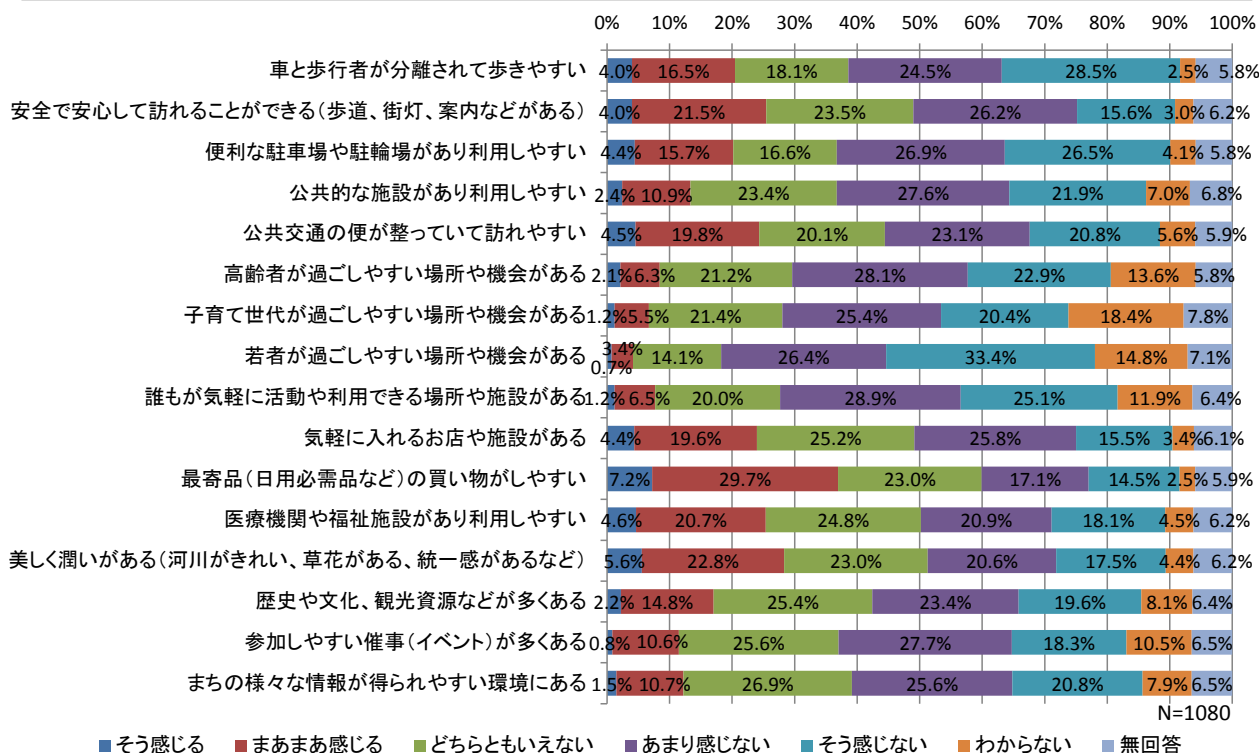


図19 現在の中心市街地について感じる事

⑱ 中心市街地に出かけてみたくなる仕掛け

- 「駐車場の整備」が46.6%で最も多く、次いで「魅力ある立ち寄り施設」が36.5%、「歩行者が安心して歩ける空間の整備」が32.7%であった。
- 駐車場や施設などのハード面の整備が20%を超えている。
- ソフト面では、「公共交通機関の利便性の向上」(23.4%)や「イベントの開催」(15.0%)などと続いた。
- 「その他」としては、「商店街の活性化」や「魅力的なお店を開設」、「大型ショッピングモールの誘致」、「イスやベンチなど休憩できる場所をつくる」などが挙げられている。

(複数回答)

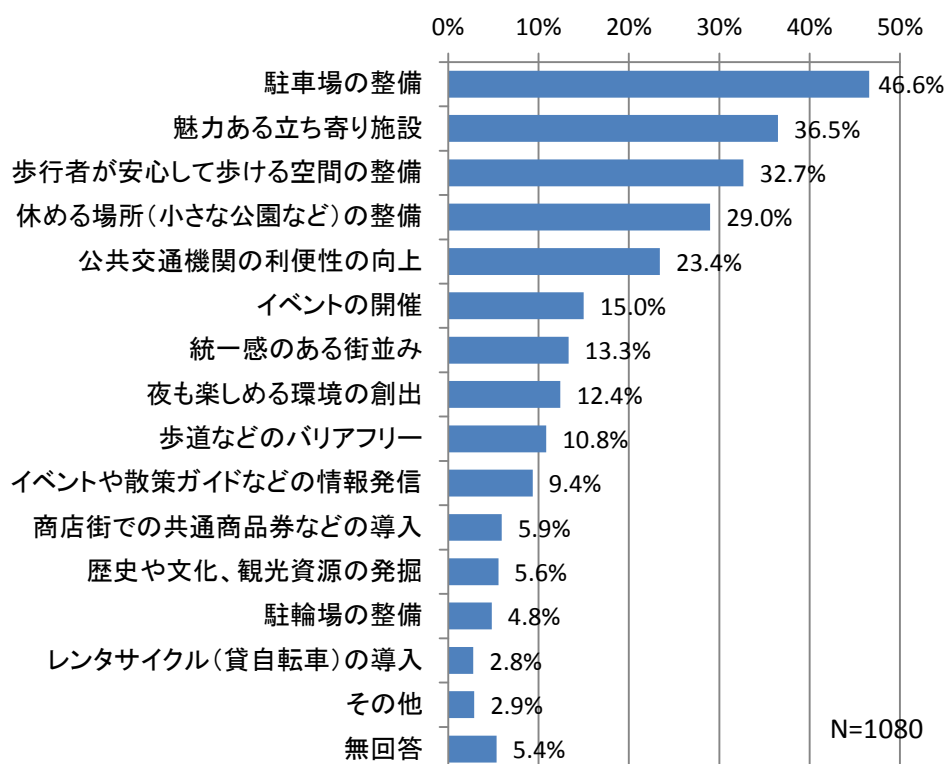


図20 中心市街地に出かけてみたくなる仕掛け

⑬現庁舎（本庁舎・分庁舎）の跡地活用

<本庁舎>

○本庁舎の跡地活用については、「誰でも、いつでも憩える公園や広場」の「期待する」(26.6%)「やや期待する」(27.8%)の合計が 54.4%で最も多く、次いで、「観光案内などの情報提供や物産販売などができる場」が「期待する」(19.8%)「やや期待する」(32.6%)で合計で 52.4%であった。

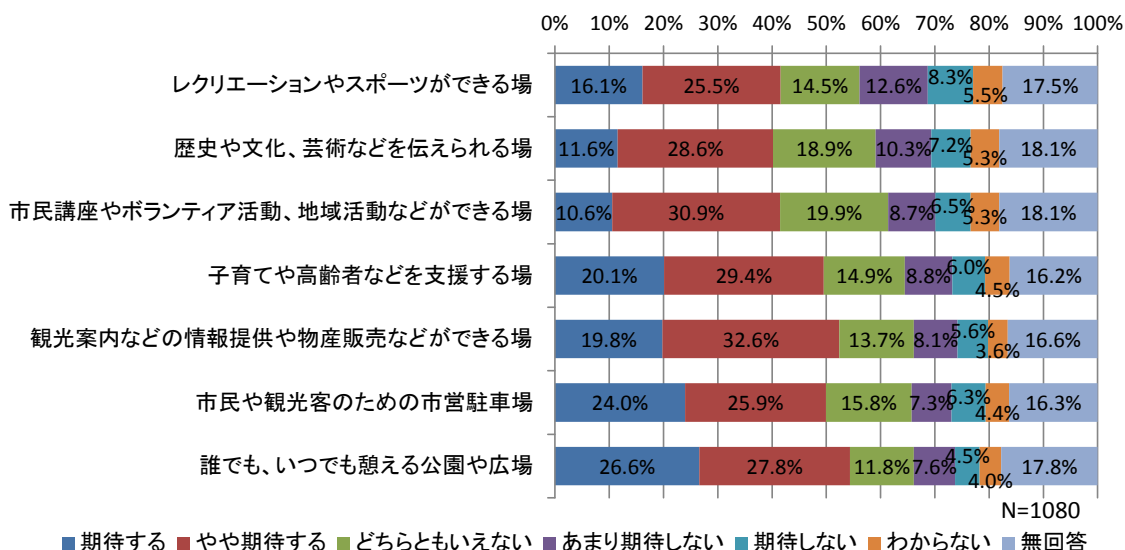


図 2 1 本庁舎の跡地活用

<分庁舎>

○分庁舎の跡地活用については、「子育てや高齢者などを支援する場」の「期待する」(17.3%)「やや期待する」(26.2%)の合計が 43.5%で最も多く、次いで、「市民や観光客のための市営駐車場」が「期待する」(18.8%)「やや期待する」(21.5%)が 40.3%であった。

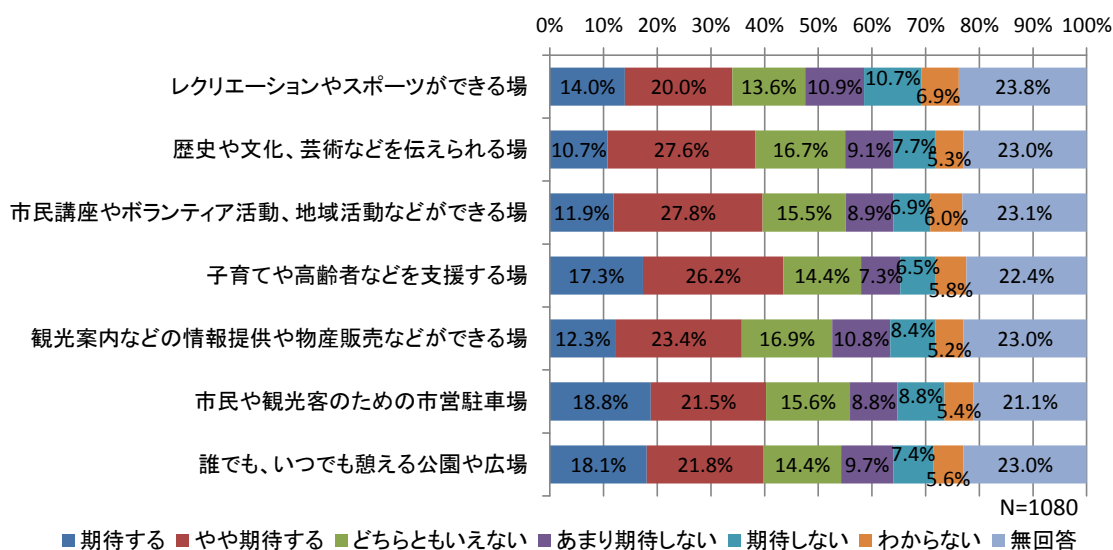


図 2 2 分庁舎の跡地活用

2) 調査結果（性別によるクロス集計）

①整備計画の認知度

○「計画は知っていた(聞いていた)が、主な整備内容は知らない」が最も多く、男性は 66.0%、女性 は 67.1%であった。

○前回調査と比較したところ、大きな変化はみられない。

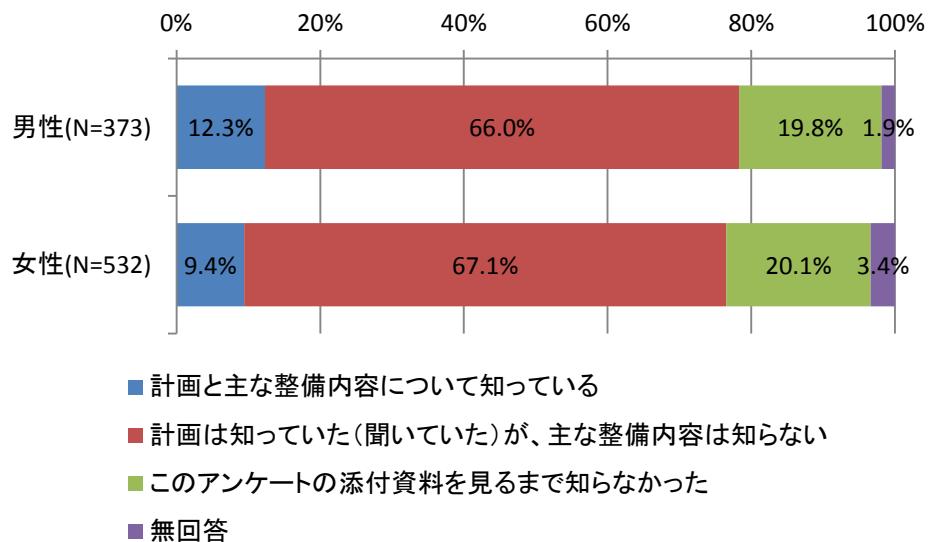


図 2 3 整備計画の認知度(今回)

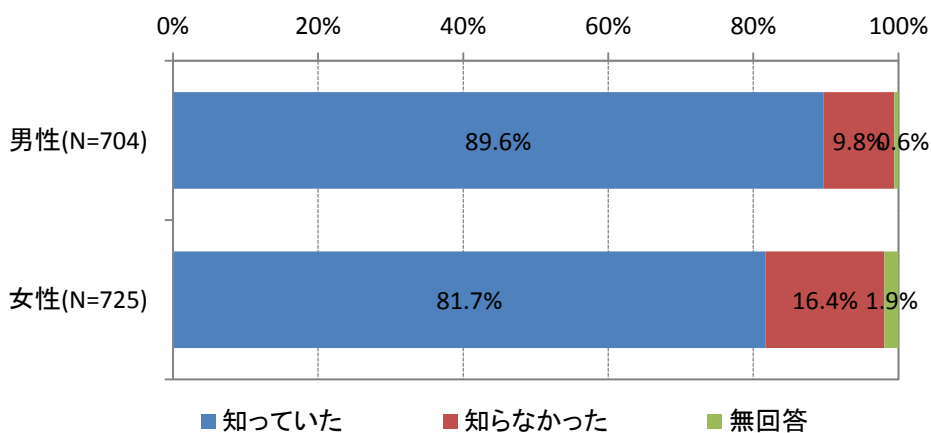


図 2 4 整備計画の認知度(前回)

②整備計画を知った方法

- 「市の広報」が男女ともに最も多く、男性 42.6%、女性 40.4%であった。
- 「クチコミ(人から聞いて)」が2番目に多く、「新聞、エフエムなどの報道」や「市議会の広報、市政報告など」で情報を知る人もみられる。

表 1 整備計画を知った方法

	男性 (N=373)	女性 (N=532)
市の広報	42.6%	40.4%
市のホームページ、フェイスブック	2.9%	1.7%
市民説明会、出前説明会	1.6%	1.3%
市の施設の配架、配布物	4.8%	3.8%
新聞、エフエムなどの報道	15.0%	10.7%
クチコミ(人から聞いて)	30.0%	38.5%
市議会の広報、市政報告など	12.6%	7.9%
その他	0.5%	0.6%
無回答	24.7%	27.6%
回答数	503	705

③整備計画への関心度

- 無回答を除くと、「関心がある」が男女ともに最も多く、男性 26.3%、女性 32.7%であった。
- 2番目に多いのは「あまり関心がない」で男性 15.5%、女性 13.0%であった。

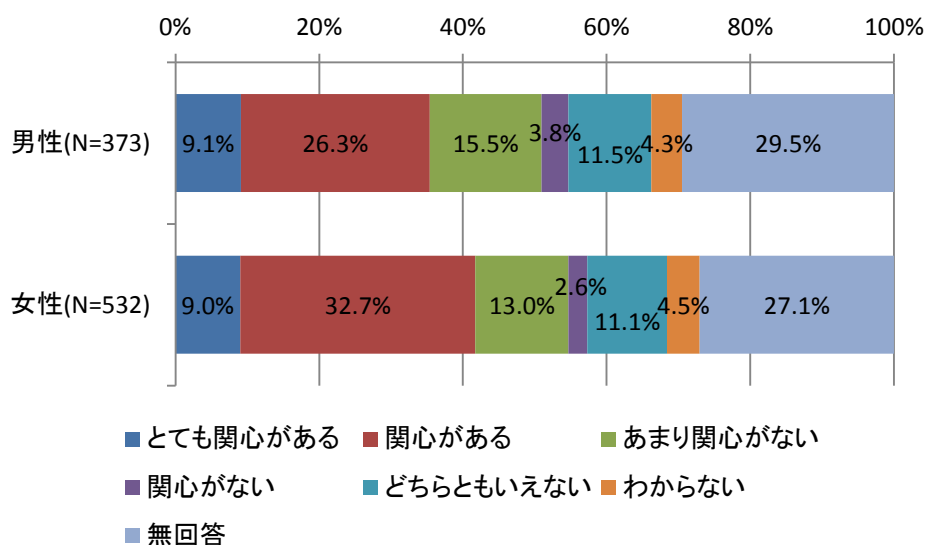


図 2 5 整備計画への関心度

④交通手段

- 現在は、男女ともに「自動車(自分で運転)」が最も多く、男性 78.8%、女性 56.6%で、新施設整備後も「自動車(自分で運転)」が最も多く、男性 76.1%、女性 54.1%であった。
- 新施設整備後は、路線バスを利用する人が男女ともに増加した。
- 前回調査と比較すると、現在の交通手段の傾向に変化は見られなかった。
- 施設整備後の女性の回答で前は「徒歩」が多かったが、今回は「自動車(家族等の送迎)」が多くなっている。

表 2 現在の本庁舎までの交通手段(今回)

	男性 (N=373)	女性 (N=532)
自動車(自分で運転)	78.8%	56.6%
自動車(家族等の送迎)	7.0%	14.5%
タクシー	0.5%	1.3%
路線バス	3.5%	12.8%
鉄道(JR・三陸鉄道)	0.8%	0.6%
オートバイ	1.1%	0.9%
自転車	4.8%	5.8%
徒歩	2.9%	6.0%
無回答	0.5%	1.5%
回答数	373	532

上位3項目

表 3 施設整備後の交通手段(今回)

	男性 (N=373)	女性 (N=532)
自動車(自分で運転)	76.1%	54.1%
自動車(家族等の送迎)	4.0%	11.1%
タクシー	0.3%	1.3%
路線バス	5.1%	14.7%
鉄道(JR・三陸鉄道)	2.7%	1.7%
オートバイ	1.3%	0.9%
自転車	2.9%	5.8%
徒歩	6.2%	9.4%
無回答	1.3%	0.9%
回答数	373	532

上位3項目

表 4 現在の本庁舎までの交通手段(前回)

	男性 (N=704)	女性 (N=725)
自動車(自分で運転)	73.4%	56.7%
自動車(家族等の送迎)	7.1%	10.6%
タクシー	0.0%	2.1%
路線バス	2.6%	9.2%
鉄道(JR・三陸鉄道)	0.1%	0.1%
オートバイ	1.6%	0.8%
自転車	6.3%	5.0%
徒歩	3.1%	8.6%
無回答	5.8%	6.9%
回答数	704	725

上位3項目

表 5 施設整備後の交通手段(前回)

	男性 (N=704)	女性 (N=725)
自動車(自分で運転)	67.5%	53.5%
自動車(家族等の送迎)	3.6%	7.9%
タクシー	0.7%	1.1%
路線バス	6.1%	12.0%
鉄道(JR・三陸鉄道)	1.7%	3.0%
オートバイ	1.3%	0.7%
自転車	8.0%	6.2%
徒歩	7.2%	11.2%
無回答	4.0%	4.4%
回答数	704	725

上位3項目

⑤グループや団体などでの地域活動への参加状況

- 「参加していない」が男女ともに最も多く、男性 76.9%、女性 77.6%であった。
○「参加している」と回答した割合は、男性の方がやや高かった。

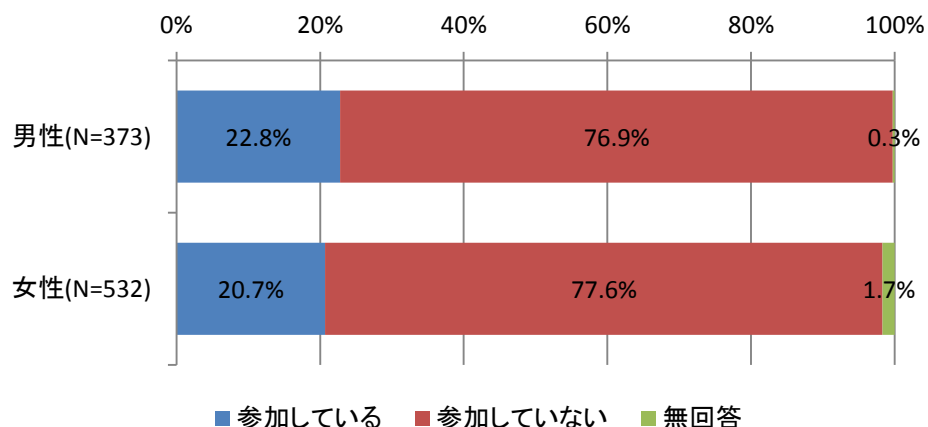


図 2 6 グループや団体などでの地域活動への参加状況

⑥市民交流センターの利用意向

- 男性では「どちらかという、利用しない(行かない)と思う」が 33.2%で最も多く、女性では「どちらかという、利用してみたい(行ってみたい)」が 33.3%で最も多く、男女間で回答の差がみられる。
○女性は過半数(52.1%)が利用したい側に回答しているが、男性は利用しない側の回答が多い(45.0%)。

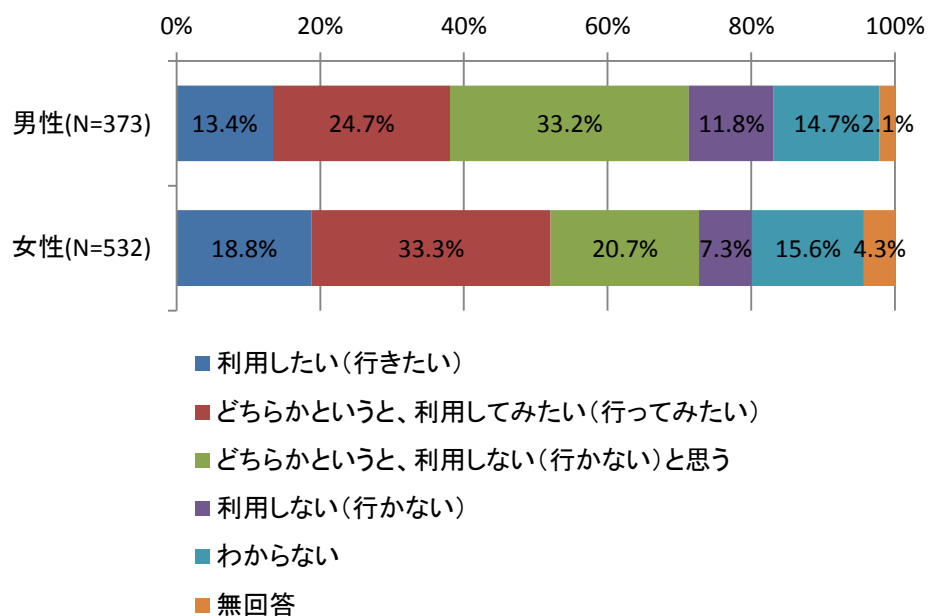


図 2 7 市民交流センターの利用意向

⑦市民交流センターで利用したい諸室

- 無回答を除くと、男女ともに「ふれあいカフェ」が最も多く、男性 23.3%、女性 37.2%であった。
- 男女ともに「多目的ホール」「軽運動スタジオ」「情報提供コーナー」「オープンスペース」へも回答が多かった。

表 6 市民センターで利用したい諸室

	男性 (N=373)	女性 (N=532)
防災展示学習(体験)室	13.9%	14.1%
多目的ホール	17.7%	22.9%
視聴覚(OA)室	7.2%	7.1%
音楽スタジオ	8.6%	9.6%
軽運動スタジオ	16.9%	30.5%
オープンスペース	16.1%	21.2%
情報提供コーナー	16.9%	19.2%
子どもふれあいコーナー	4.3%	8.5%
ふれあいカフェ	23.3%	37.2%
和室	3.2%	9.4%
創作活動室	6.4%	18.2%
貸室(研修会議室)	9.4%	8.1%
無回答	54.4%	41.4%
回答数	740	1316

上位3項目

⑧市民交流センターでの利用内容（形態）

- 男性では「気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす」が 24.7%で最も多く、女性では「趣味や教養に関する教室や講座に参加」が 35.2%で最も多い。
- 男女ともに「気軽に立ち寄って、地域の人などと交流」や「多くの人が参加しやすい行事を行う」など、大人数での利用形態に回答が集まった。

表 7 市民交流センターでの利用内容

	男性 (N=373)	女性 (N=532)
グループや団体の会議や会合などで利用	16.1%	12.6%
気軽に立ち寄って、地域の人などと交流	18.8%	20.3%
気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす	24.7%	29.1%
趣味のサークル活動などで利用	16.6%	21.4%
子どもを遊ばせたり、親同士で交流	8.3%	13.7%
施設が主催する行事やイベントに参加	12.6%	23.9%
多くの人が参加しやすい行事などを行う	18.0%	21.8%
趣味や教養に関する教室や講座に参加	20.9%	35.2%
有償の教室や講座を開く	2.7%	3.4%
NPO法人などの活動拠点として利用する	2.1%	1.5%
その他	1.6%	1.9%
わからない、思いつかない	24.9%	12.8%
無回答	7.8%	6.6%
回答数	653	1086

上位3項目

⑨ 中心市街地へ出かける目的

○「最寄品(日用必需品等)の買い物」が男女ともに最も多く、男性 60.6%、女性 67.9%であった。
○次に多いのは「飲食(外食)のため」で、男性 38.6%、女性 34.8%であった。

表 8 中心市街地へ出かける目的

	男性 (N=373)	女性 (N=532)
最寄品(日用必需品等)の買い物	60.6%	67.9%
買回り品(装身具、ハンドバッグ等)の買い物	5.6%	10.3%
飲食(外食)のため	38.6%	34.8%
遊び・娯楽のため	18.0%	5.1%
ウィンドウショッピング、ぶらぶら散歩のため	7.0%	7.5%
友人・知人に会いに行くため	7.2%	12.6%
イベント、祭りなどの催し物の見物のため	18.5%	21.4%
趣味や習い事のため	1.3%	3.0%
公共機関への用事	24.9%	23.1%
通勤・通学のため	10.2%	11.7%
通院のため	23.9%	31.6%
あまり出かけない	8.8%	8.6%
その他	1.1%	2.4%
無回答	3.8%	2.6%
回答数	856	1291

上位3項目

⑩ 中心市街地を訪れる頻度

○男女ともに「週に1～2回」が最も多く、男性 37.0%、女性 41.4%であった。
○次に多いのは「月に1～2回」で、男性 22.8%、女性 24.8%であった。

表 9 中心市街地を訪れる頻度

	男性 (N=373)	女性 (N=532)
ほぼ毎日	21.4%	19.0%
週に1～2回	37.0%	41.4%
月に1～2回	22.8%	24.8%
2～3ヶ月に1回	4.3%	4.7%
年に数回	5.6%	3.0%
ほとんど行かない	5.1%	3.8%
無回答	3.8%	3.4%
回答数	373	532

上位3項目

⑪ 中心市街地に出かけてみたくなる仕掛け

- 男女ともに「駐車場の整備」が最も多く、男性 53.1%、女性 44.9%であった。
- 次に多かったのは男女ともに「魅力ある立ち寄り施設」で、男性 35.4%、女性 38.2%であり、
「歩行者が安心して歩ける空間の整備」「休める場所(小さな公園など)の整備」が続いた。
- 項目間の回答割合で、男女差はあまり見られなかった。

表 10 中心市街地に出かけてみたくなる仕掛け

	男性 (N=373)	女性 (N=532)
公共交通機関の利便性の向上	19.8%	24.1%
駐車場の整備	53.1%	44.9%
歩行者が安心して歩ける空間の整備	30.0%	33.6%
歩道などのバリアフリー	8.3%	12.0%
駐輪場の整備	3.8%	4.3%
レンタサイクル(貸自転車)の導入	4.3%	1.9%
休める場所(小さな公園など)の整備	24.4%	31.0%
統一感のある街並み	12.1%	13.0%
イベントや散策ガイドなどの導入	8.6%	10.3%
イベントの開催	15.5%	16.0%
商店街での共通商品券などの導入	4.8%	6.6%
魅力ある立ち寄り施設	35.4%	38.2%
歴史や文化、観光資源の発掘	7.2%	4.5%
夜も楽しめる環境の創出	18.0%	10.2%
その他	3.5%	2.6%
無回答	5.1%	3.9%
回答数	947	1368

 上位3項目

⑫現庁舎（本庁舎・分庁舎）の跡地活用

<本庁舎>

【レクリエーションやスポーツができる場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 23.1%、女性 27.1%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「期待する」で、男性 14.7%、女性 18.0%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

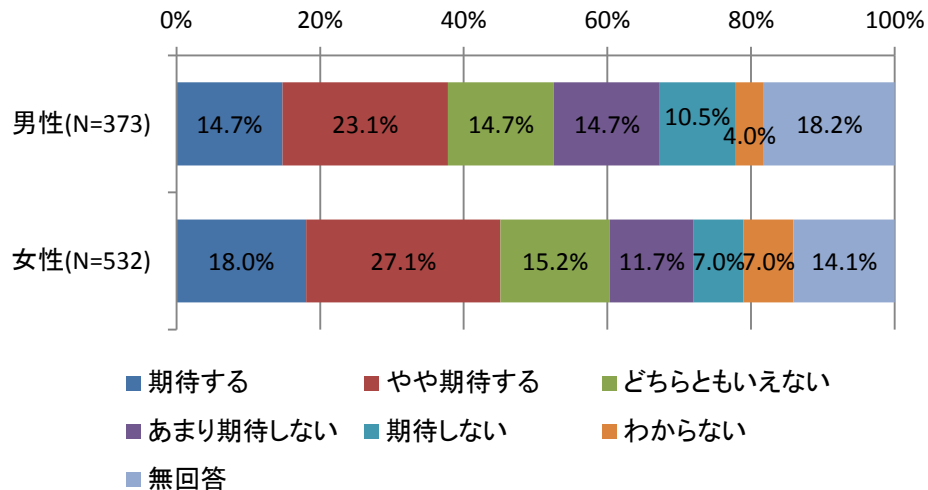


図 2 8 レクリエーションやスポーツができる場(性別)

【歴史や文化、芸術などを伝えられる場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 26.5%、女性 30.5%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「どちらともいえない」で、男性 19.6%、女性 19.7%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

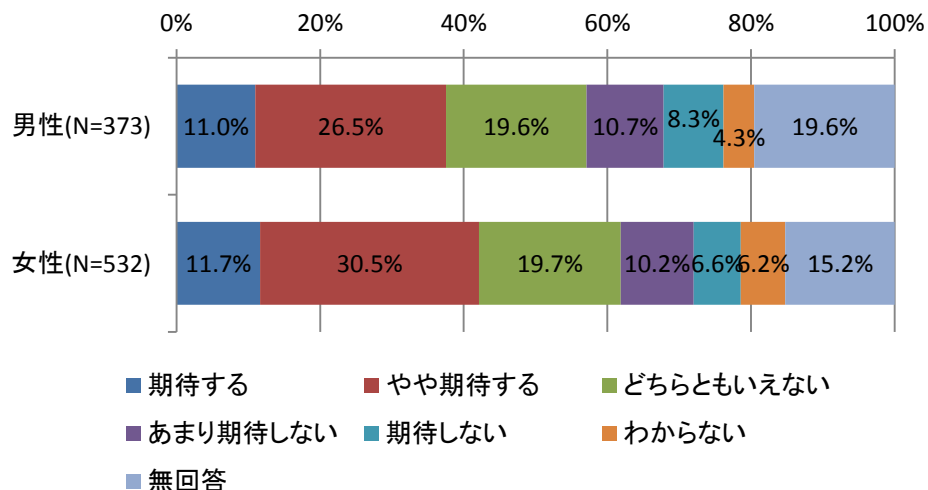


図 2 9 歴史や文化、芸術などを伝えられる場(性別)

【市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 28.4%、女性 32.7%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「どちらともいえない」で、男性 19.8%、女性 21.4%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

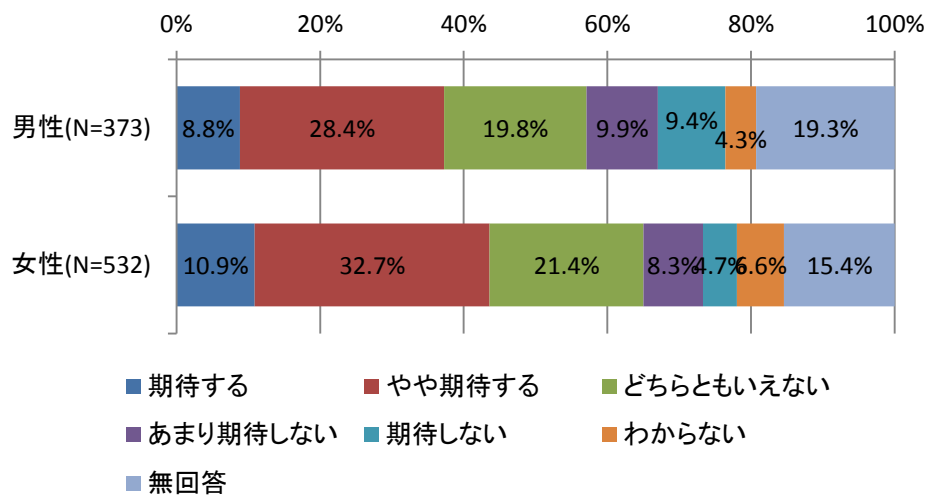


図 3 0 市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場(性別)

【子育てや高齢者などを支援する場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 26.8%、女性 31.0%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「期待する」で、男性 16.6%、女性 22.0%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

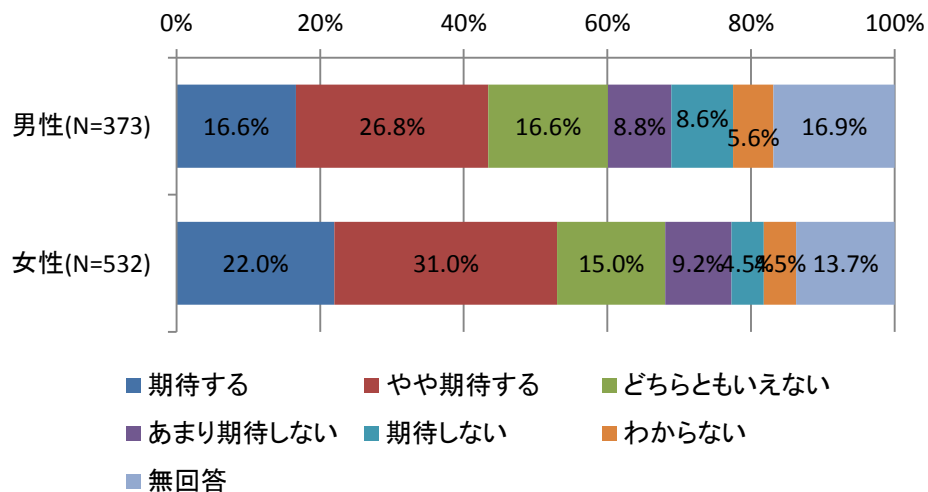


図 3 1 子育てや高齢者などを支援する場(性別)

【観光案内などの情報提供や物産販売などができる場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 29.8%、女性 36.1%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「期待する」で、男性 19.0%、女性 20.7%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

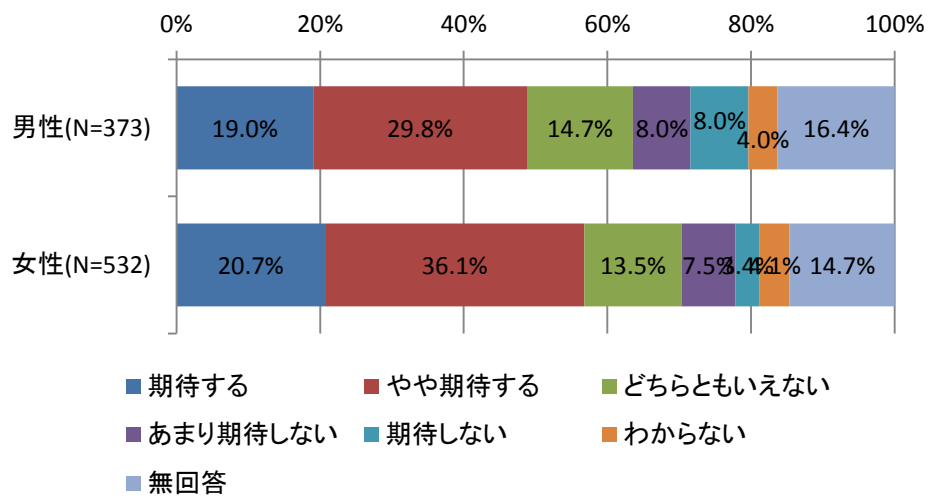


図 3 2 観光案内などの情報提供や物産販売などができる場(性別)

【市民や観光客のための市営駐車場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 26.3%、女性 27.1%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「期待する」で、男性 23.1%、女性 24.1%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が約過半数を占めた。

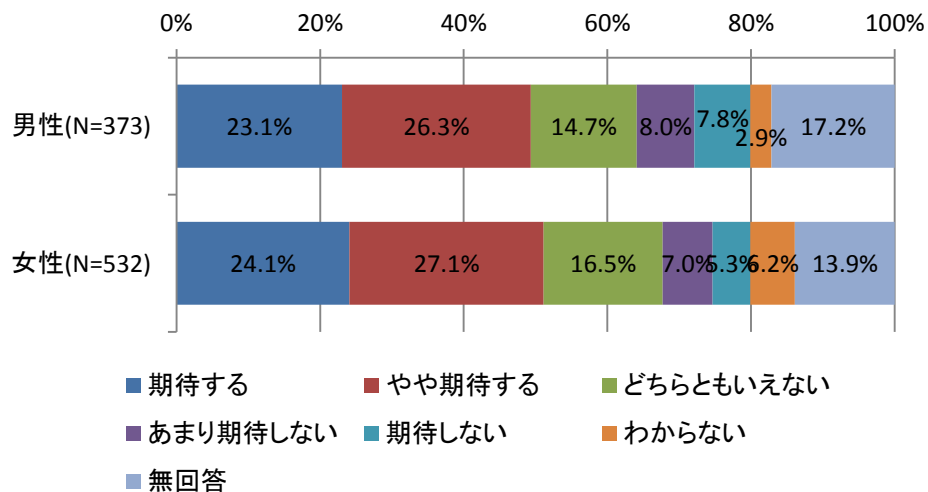


図 3 3 市民や観光客のための市営駐車場(性別)

【誰でも、いつでも憩える公園や広場】

- 男性は「やや期待する」が最も多く 26.8%、女性は「期待する」で 29.5%であった。
 ○次に多かったのは、男性が「期待する」で 23.3%、女性が「やや期待する」で 28.9%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が過半数を超えている。

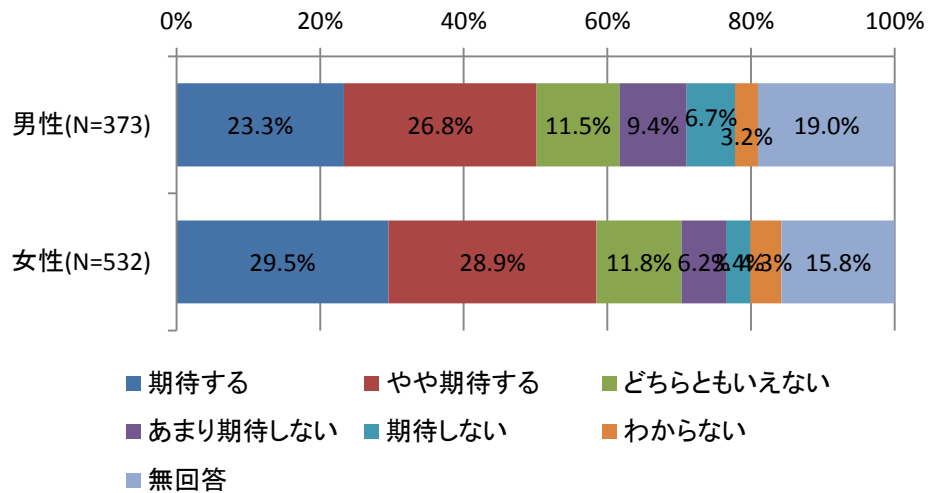


図 3 4 誰でも、いつでも憩える公園や広場(性別)

<分庁舎>

【レクリエーションやスポーツができる場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 18.5%、女性 21.4%であった。
 ○次に多かったのは、男性は「どちらともいえない」で 13.9%、女性は「期待する」で 15.4%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

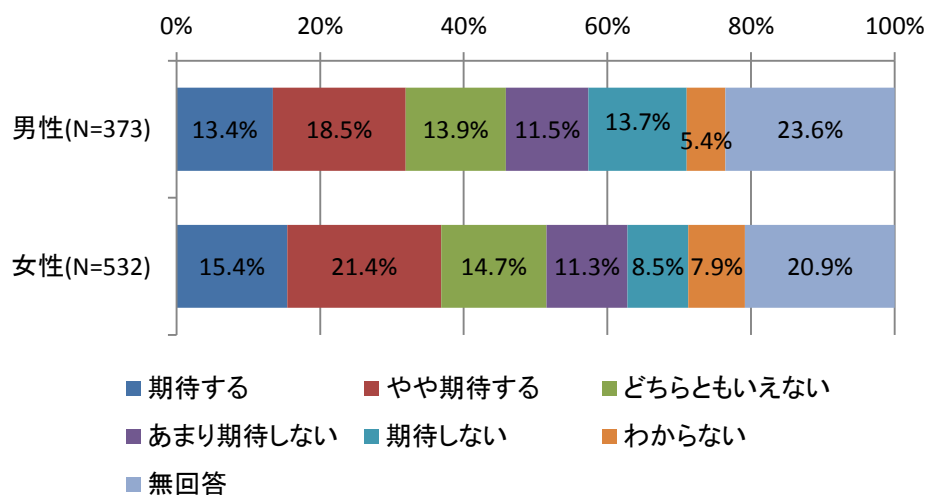


図 3 5 レクリエーションやスポーツができる場(性別)

【歴史や文化、芸術などを伝えられる場】

○男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 25.5%、女性 28.6%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「どちらともいえない」で、男性 16.1%、女性 17.5%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

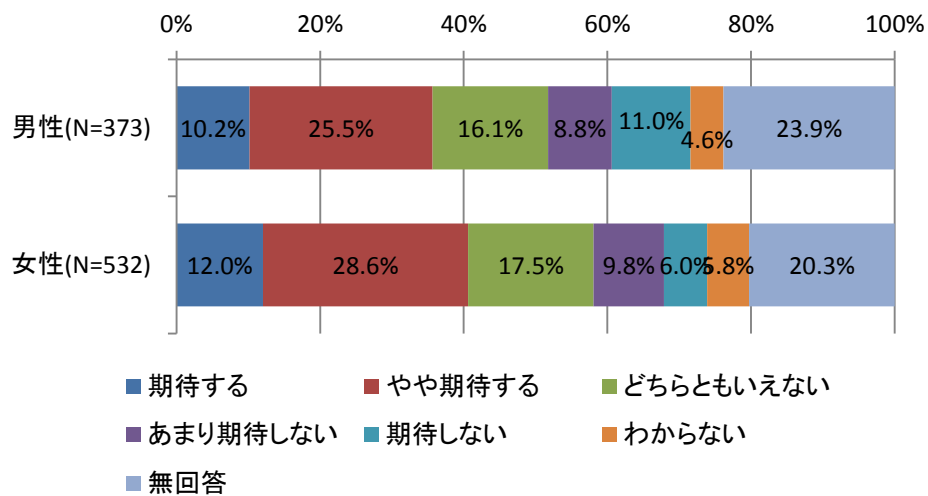


図 3 6 歴史や文化、芸術などを伝えられる場(性別)

【市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場】

○男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 23.6%、女性 30.6%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「どちらともいえない」で、男性 17.4%、女性 15.6%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

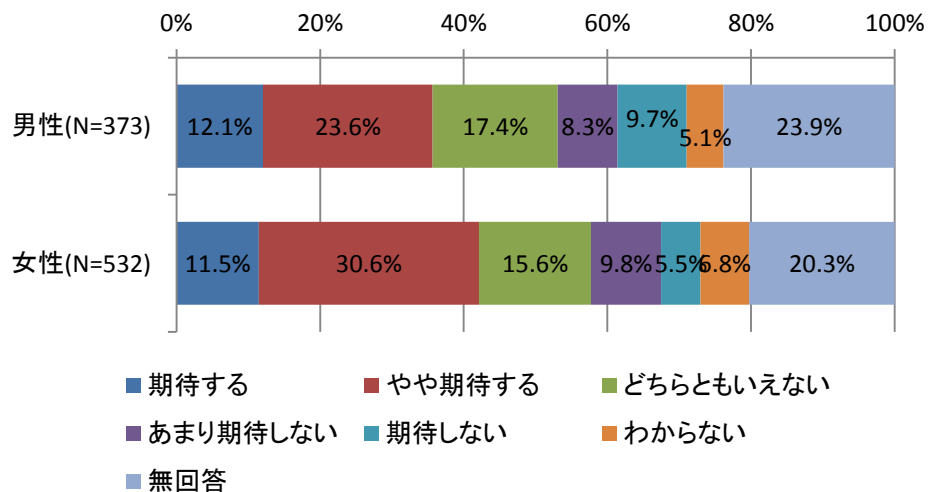


図 3 7 市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場(性別)

【子育てや高齢者などを支援する場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 23.6%、女性 27.8%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「期待する」で、男性 15.3%、女性 19.0%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

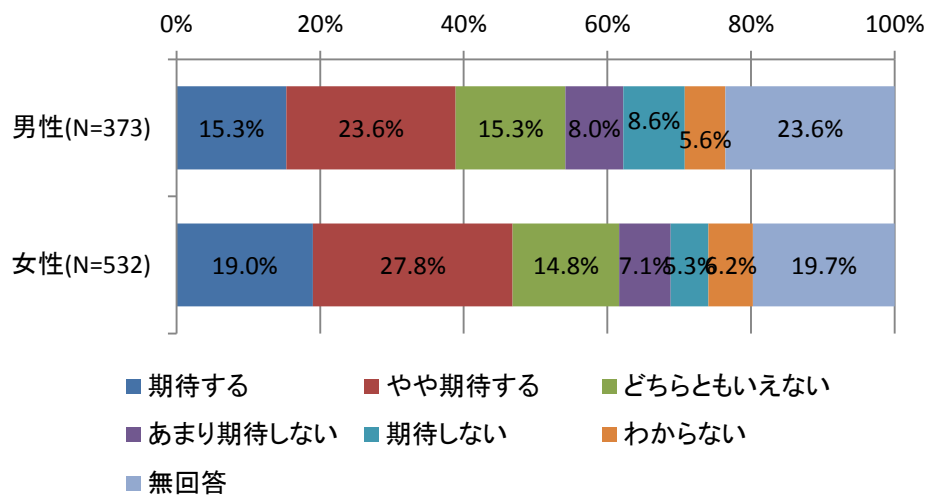


図 3 8 子育てや高齢者などを支援する場(性別)

【観光案内などの情報提供や物産販売などができる場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 19.6%、女性 26.3%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「どちらともいえない」で、男性 18.5%、女性 16.9%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

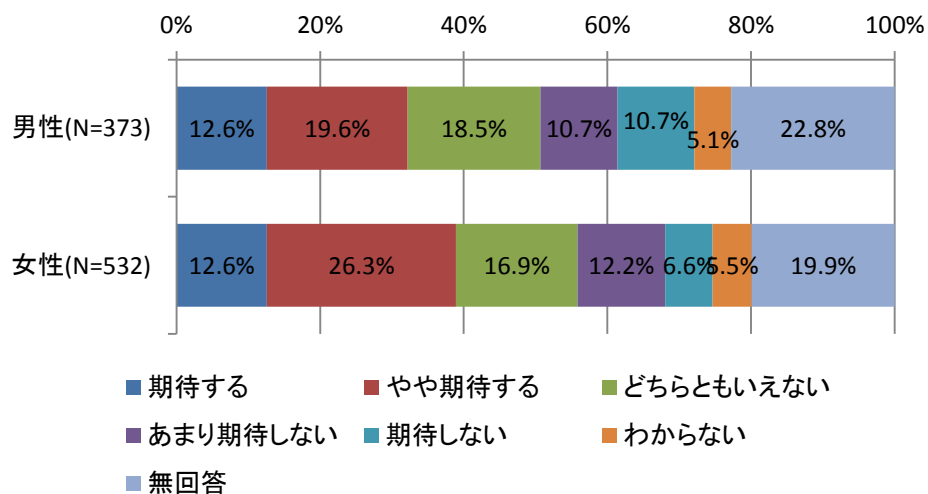


図 3 9 観光案内などの情報提供や物産販売などができる場(性別)

【市民や観光客のための市営駐車場】

- 男女ともに「やや期待する」が最も多く、男性 18.5%、女性 24.2%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「期待する」で、男性 18.5%、女性 19.2%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

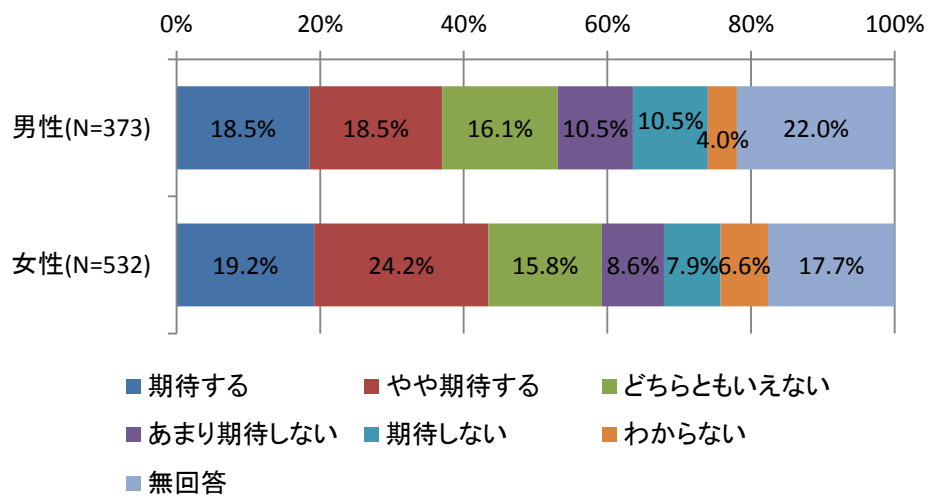


図 4 0 市民や観光客のための市営駐車場(性別)

【誰でも、いつでも憩える公園や広場】

- 男性は「やや期待する」が最も多く 20.4%、女性は「期待する」で 23.9%であった。
 ○次に多かったのは男女ともに「期待する」で、男性 16.4%、女性 20.3%であった。
 ○「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

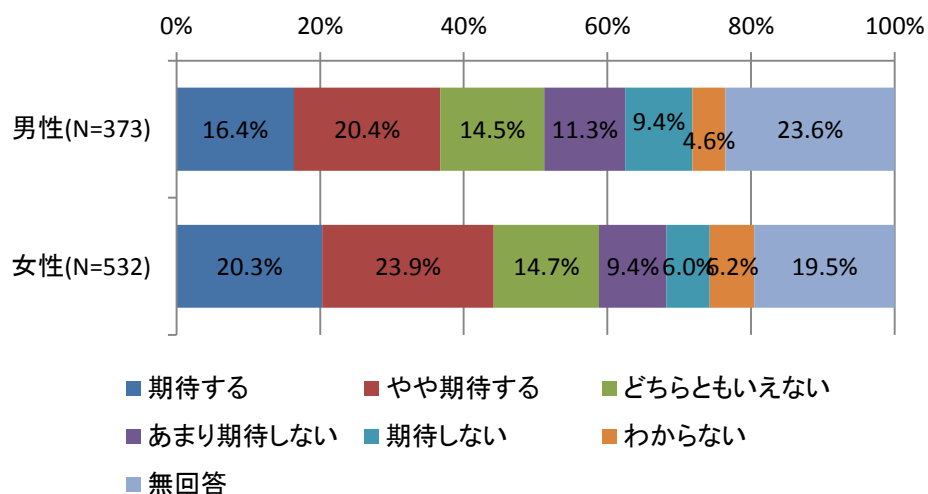


図 4 1 誰でも、いつでも憩える公園や広場(性別)

3) 調査結果（年齢によるクロス集計）

①整備計画の認知度

○年齢別でみると20歳未満の約7割が「今回のアンケートの資料で知った」と回答しているほかは、すべての年代で6割以上が「知っている」と回答している。年代が高くなるにつれて、認知度は高くなっている。

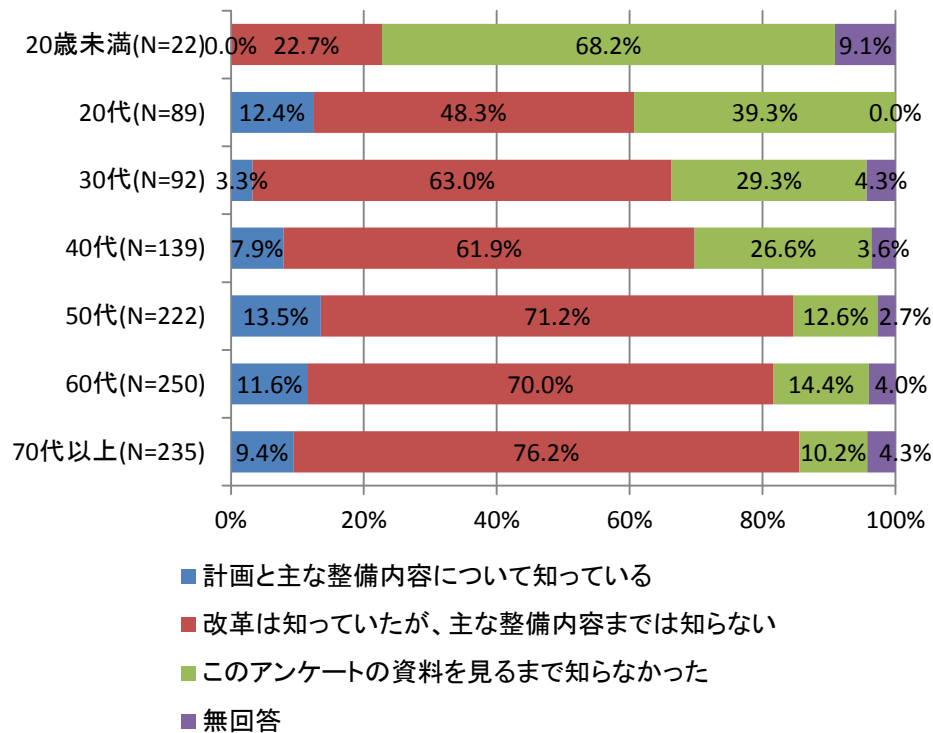


図4-2 整備計画の認知度

②整備計画を知った方法

○20歳未満、30代以外では「市の広報」が最も多く、20歳未満、30代では「クチコミ」が最も多い。

「クチコミ」は、20歳未満、30代以外の年代では2番目に多い。

○「新聞、エフエムなどの報道」や「市議会の広報、市政報告など」でも情報を得ている。

表1-1 年齢別整備計画を知った方法

	20歳未満 (N=22)	20代 (N=89)	30代 (N=92)	40代 (N=139)	50代 (N=222)	60代 (N=250)	70代以上 (N=235)
市の広報	0.0%	27.0%	30.4%	37.4%	42.3%	47.6%	50.6%
市のホームページ、フェイスブック	0.0%	3.4%	1.1%	2.2%	3.2%	2.4%	2.1%
市民説明会、出前説明会	4.5%	0.0%	0.0%	2.2%	0.9%	2.8%	1.7%
市の施設の配架、配布物	0.0%	2.2%	0.0%	3.6%	7.2%	4.0%	3.0%
新聞、エフエムなどの報道	4.5%	6.7%	6.5%	12.2%	16.2%	14.4%	10.2%
クチコミ(人から聞いて)	22.7%	27.0%	39.1%	33.8%	41.0%	32.4%	34.0%
市議会の広報、市政報告など	0.0%	3.4%	4.3%	7.2%	9.5%	11.2%	14.9%
その他	0.0%	2.2%	1.1%	0.0%	0.5%	0.4%	0.0%
無回答	72.7%	43.8%	35.9%	30.2%	18.9%	23.2%	18.7%
回答数	23	103	109	179	310	346	318

上位3項目

③整備計画への関心度

- 20 歳未満以外では「関心がある」が最も多く 2~3 割台の回答を得ており、特に 70 代以上は 37.9%であった。
- 「あまり関心がない」は、20 歳未満では最も多い。

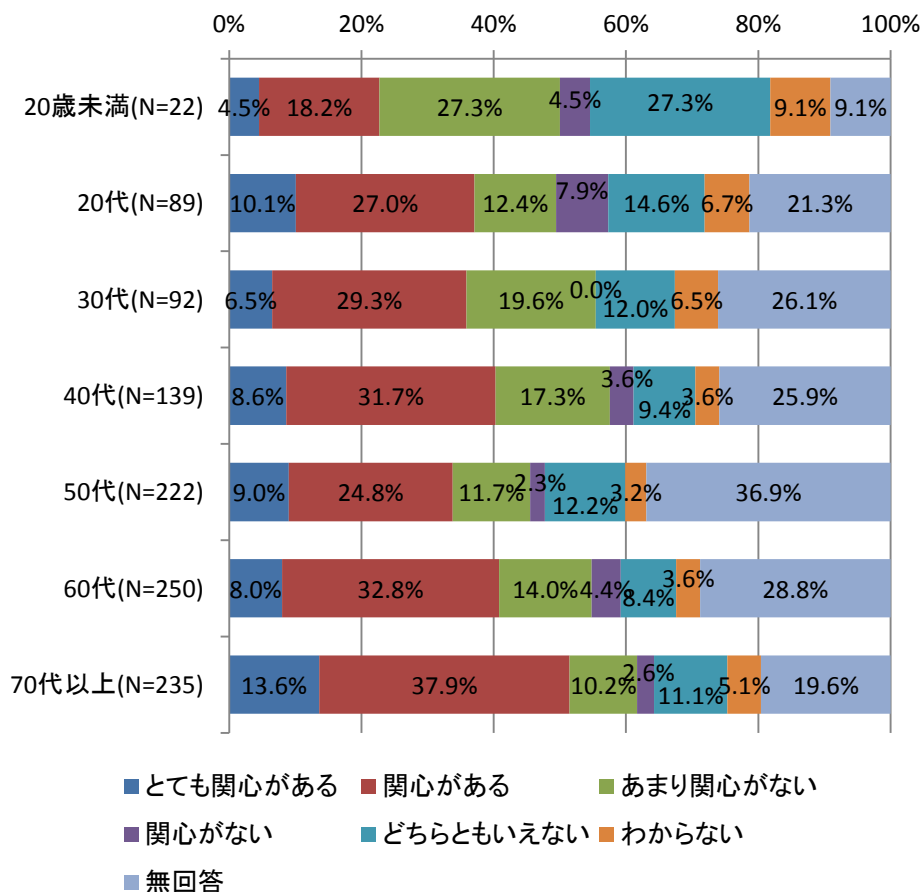


図 4 3 年齢別整備計画への関心度

④交通手段

- 現在の交通手段は全年代で「自動車(自分で運転)」が最も多く、20代から50代では7割以上の回答を得た。「自動車(家族等の送迎)」も30代、50代、70代以上を除くと2番目に多い。
- 現在の交通手段では50代、70代以上で「路線バス」という回答が2番目に多くなっている。
- 施設整備後も「自動車(自分で運転)」が最も多いが、40代では現在よりも8.7%低下し、路線バス利用が2.2%増加している。
- 整備後は、50代以外では路線バス利用が増加している。
- 現在の交通手段は前回と比較しても傾向に大きな差はないが、50代の「路線バス」の回答数が前回の2.4%から、今回は9.9%になった。
- 整備後は前回は「自転車」や「徒歩」の割合が多かったが、今回はやや低くなっている。

表 1 2 年齢別現在の本庁舎までの交通手段（今回）

	20歳未満 (N=22)	20代 (N=89)	30代 (N=92)	40代 (N=139)	50代 (N=222)	60代 (N=250)	70代以上 (N=235)
自動車(自分で運転)	50.0%	74.2%	70.7%	80.6%	73.4%	56.8%	46.8%
自動車(家族等の送迎)	22.7%	14.6%	5.4%	5.0%	7.7%	16.0%	12.8%
タクシー	0.0%	0.0%	1.1%	0.7%	0.5%	0.4%	3.0%
路線バス	9.1%	4.5%	3.3%	5.0%	9.9%	11.2%	19.6%
鉄道(JR・三陸鉄道)	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.8%	0.4%
オートバイ	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.5%	1.6%	2.1%
自転車	4.5%	2.2%	9.8%	5.0%	4.5%	5.6%	8.1%
徒歩	4.5%	4.5%	7.6%	2.9%	1.8%	6.0%	5.1%
無回答	4.5%	0.0%	2.2%	0.0%	0.5%	1.6%	2.1%
回答数	22	89	92	139	222	250	235

上位3項目

表 1 3 年齢別施設整備後の交通手段（今回）

	20歳未満 (N=22)	20代 (N=89)	30代 (N=92)	40代 (N=139)	50代 (N=222)	60代 (N=250)	70代以上 (N=235)
自動車(自分で運転)	59.1%	75.3%	70.7%	71.9%	72.1%	56.0%	38.7%
自動車(家族等の送迎)	9.1%	10.1%	3.3%	5.8%	5.9%	11.2%	10.2%
タクシー	0.0%	0.0%	1.1%	0.7%	0.5%	0.4%	2.1%
路線バス	13.6%	4.5%	3.3%	7.2%	9.0%	12.8%	24.7%
鉄道(JR・三陸鉄道)	4.5%	1.1%	1.1%	0.7%	2.7%	2.4%	2.6%
オートバイ	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.5%	1.6%	2.1%
自転車	4.5%	0.0%	7.6%	5.8%	3.2%	4.8%	8.9%
徒歩	4.5%	9.0%	12.0%	7.2%	4.5%	9.6%	8.9%
無回答	4.5%	0.0%	1.1%	0.0%	1.8%	1.2%	1.7%
回答数	22	89	92	139	222	250	235

上位3項目

表 1 4 年齢別現在の本庁舎までの交通手段（前回）

	20歳未満 (N=10)	20代 (N=64)	30代 (N=139)	40代 (N=203)	50代 (N=297)	60代 (N=460)	70代以上 (N=378)
自動車(自分で運転)	30.0%	73.4%	75.5%	75.9%	71.7%	63.5%	48.4%
自動車(家族等の送迎)	0.0%	9.4%	7.9%	7.4%	10.1%	8.5%	10.3%
タクシー	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%	2.9%
路線バス	0.0%	1.6%	0.0%	2.5%	2.4%	8.3%	13.2%
鉄道(JR・三陸鉄道)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.3%
オートバイ	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	1.0%	1.1%	2.9%
自転車	0.0%	1.6%	2.9%	4.9%	4.7%	6.7%	6.9%
徒歩	0.0%	3.1%	7.9%	4.9%	3.7%	5.2%	8.5%
無回答	70.0%	9.4%	5.0%	4.4%	5.7%	5.9%	6.6%
回答数	10	64	139	203	297	460	378



 上位3項目

表 1 5 年齢別施設整備後の交通手段（前回）

	20歳未満 (N=10)	20代 (N=64)	30代 (N=139)	40代 (N=203)	50代 (N=297)	60代 (N=460)	70代以上 (N=378)
自動車(自分で運転)	30.0%	67.2%	69.8%	74.4%	69.0%	58.3%	41.8%
自動車(家族等の送迎)	0.0%	6.3%	5.8%	1.5%	5.7%	6.1%	7.7%
タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	2.9%
路線バス	30.0%	6.3%	0.0%	3.0%	5.4%	10.0%	19.3%
鉄道(JR・三陸鉄道)	0.0%	0.0%	2.2%	1.0%	1.7%	4.1%	2.4%
オートバイ	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	1.3%	1.1%	1.6%
自転車	10.0%	7.8%	7.2%	6.9%	7.1%	7.8%	6.6%
徒歩	10.0%	6.3%	10.1%	9.4%	6.7%	8.7%	12.4%
無回答	20.0%	6.3%	4.3%	3.9%	3.0%	3.5%	5.3%
回答数	10	64	139	203	297	460	378

 上位3項目

⑤グループや団体などでの地域活動への参加状況

○すべての年代で「参加していない」が6割以上であった。特に、20歳未満では参加していないが100%であった。
○年代が上がるにつれて「参加している」への回答割合が高くなっている。

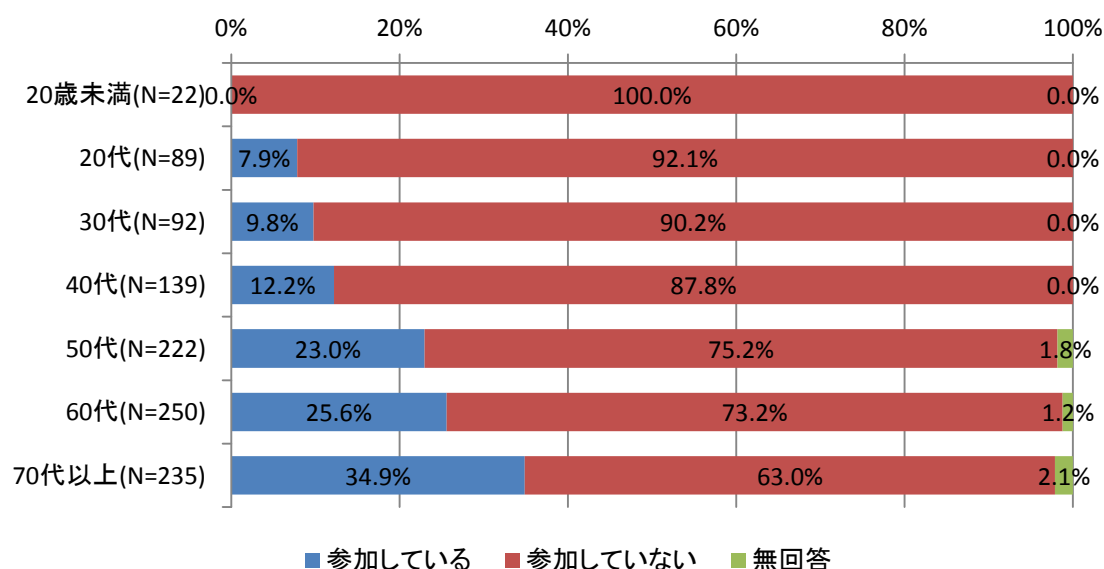


図 4 4 年齢別グループや団体などでの地域活動への参加状況

⑥市民交流センターの利用意向

○20歳未満以外では「どちらかという、利用してみたい(行ってみいたい)」が最も多く、3割前後の回答を得ている。
○20歳未満では「どちらかという、利用しない(行かない)」と思う」が最も多く、45.5%の回答であった。

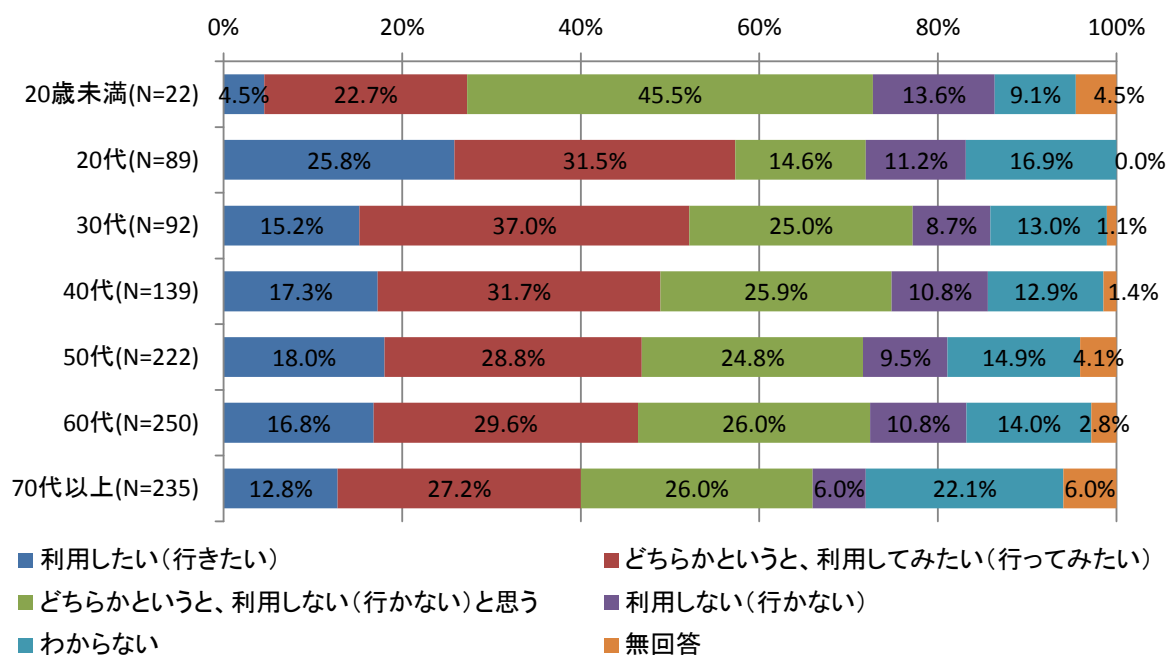


図 4 5 年齢別市民交流センターの利用意向

⑦市民交流センターで利用したい諸室

- 無回答を除くと、20歳未満以外のすべての年代で「ふれあいカフェ」が最も多く、20歳未満では「オープンスペース」が最も多い。
- 「多目的ホール」や「オープンスペース」も比較的多くの回答を得た。

表 16 年齢別市民交流センターで利用したい諸室

	20歳未満 (N=22)	20代 (N=89)	30代 (N=92)	40代 (N=139)	50代 (N=222)	60代 (N=250)	70代以上 (N=235)
防災展示学習(体験)室	9.1%	9.0%	12.0%	15.8%	13.5%	15.2%	14.5%
多目的ホール	13.6%	10.1%	25.0%	17.3%	24.3%	21.2%	21.3%
視聴覚(OA)室	0.0%	5.6%	9.8%	6.5%	9.0%	6.4%	4.7%
音楽スタジオ	13.6%	11.2%	12.0%	7.9%	10.4%	10.0%	8.5%
軽運動スタジオ	9.1%	28.1%	22.8%	28.1%	24.3%	24.0%	25.1%
オープンスペース	27.3%	27.0%	31.5%	19.4%	18.5%	15.6%	11.1%
情報提供コーナー	4.5%	22.5%	20.7%	21.6%	19.8%	17.2%	12.3%
子どもふれあいコーナー	4.5%	19.1%	20.7%	7.2%	4.1%	3.2%	1.3%
ふれあいカフェ	22.7%	42.7%	34.8%	36.7%	31.1%	28.8%	25.1%
和室	4.5%	5.6%	6.5%	7.2%	7.2%	6.4%	7.7%
創作活動室	9.1%	15.7%	15.2%	12.9%	18.9%	16.8%	4.3%
貸室(研修会議室)	0.0%	0.0%	10.9%	6.5%	14.0%	8.0%	6.0%
無回答	68.2%	39.3%	41.3%	45.3%	48.6%	47.6%	48.9%
回答数	41	210	242	323	541	551	448

上位3項目

⑧市民交流センターでの利用内容(形態)

- 20代、40代、50代では「趣味や教養に関する教室や講座に参加」が最も多い。
- 20歳未満、30代、60代では「気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす」が最も多い。
- 「グループや団体の会議や会合などで利用」「趣味のサークル活動などで利用」「多くの人が参加しやすい行事などを行う」も多くの回答を得た。
- 20代、30代では「子どもを遊ばせたり、親同士で交流」が多くの回答を得た。

表 17 年齢別市民交流センターでの利用内容(形態)

	20歳未満 (N=22)	20代 (N=89)	30代 (N=92)	40代 (N=139)	50代 (N=222)	60代 (N=250)	70代以上 (N=235)
グループや団体の会議や会合などで利用	13.6%	10.1%	15.2%	15.1%	17.6%	12.0%	9.4%
気軽に立ち寄って、地域の人などと交流	13.6%	18.0%	13.0%	11.5%	15.3%	23.2%	32.8%
気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす	50.0%	29.2%	42.4%	23.0%	27.5%	27.6%	19.6%
趣味のサークル活動などで利用	18.2%	15.7%	19.6%	19.4%	16.7%	21.2%	20.0%
子どもを遊ばせたり、親同士で交流	18.2%	24.7%	38.0%	10.1%	8.6%	4.4%	1.7%
施設が主催する行事やイベントに参加	4.5%	15.7%	14.1%	18.7%	24.3%	24.8%	14.5%
多くの人が参加しやすい行事などを行う	22.7%	18.0%	19.6%	15.8%	20.3%	20.4%	23.8%
趣味や教養に関する教室や講座に参加	9.1%	33.7%	38.0%	31.7%	35.1%	26.8%	19.6%
有償の教室や講座を開く	0.0%	1.1%	1.1%	3.6%	5.9%	4.0%	0.9%
NPO法人などの活動拠点として利用する	0.0%	3.4%	2.2%	2.2%	3.2%	0.8%	1.3%
その他	0.0%	3.4%	1.1%	5.0%	0.5%	1.2%	2.1%
わからない、思いつかない	22.7%	14.6%	9.8%	21.6%	15.8%	18.8%	21.7%
無回答	0.0%	3.4%	2.2%	4.3%	7.2%	9.2%	11.5%
回答数	38	170	199	253	439	486	420

上位3項目

⑨中心市街地へ出かける目的

○すべての年代で「最寄品(日用必需品等)の買い物」が最も多く、5割以上の回答を得た。
○20歳未満、20代では「遊び・娯楽のため」、30代から50代では「飲食(外食)のため」、60代以上では「通院のため」がそれぞれ2番目に多く、年代ごとの違いがみられた。

表18 年齢別中心市街地へ出かける目的

	20歳未満 (N=22)	20代 (N=89)	30代 (N=92)	40代 (N=139)	50代 (N=222)	60代 (N=250)	70代以上 (N=235)
最寄品(日用必需品等)の買い物	50.0%	59.6%	63.0%	59.7%	67.6%	66.4%	67.7%
買回り品(装身具、ハンドバッグ等)の買い物	13.6%	14.6%	14.1%	11.5%	8.1%	5.6%	3.8%
飲食(外食)のため	31.8%	46.1%	53.3%	44.6%	35.6%	30.0%	24.3%
遊び・娯楽のため	40.9%	30.3%	12.0%	12.9%	5.9%	5.2%	6.0%
ウィンドウショッピング、ぶらぶら散歩のため	18.2%	11.2%	6.5%	0.7%	5.4%	9.2%	9.4%
友人・知人に会いに行くため	18.2%	10.1%	4.3%	6.5%	11.3%	10.8%	13.2%
イベント、祭りなどの催し物の見物のため	9.1%	15.7%	21.7%	24.5%	16.7%	24.0%	20.9%
趣味や習い事のため	0.0%	2.2%	2.2%	1.4%	1.8%	2.4%	4.7%
公共機関への用事	4.5%	14.6%	23.9%	16.5%	29.7%	26.4%	22.6%
通勤・通学のため	13.6%	20.2%	12.0%	20.1%	10.4%	6.8%	2.1%
通院のため	4.5%	10.1%	10.9%	23.0%	22.5%	41.6%	50.6%
あまり出かけない	13.6%	9.0%	10.9%	8.6%	8.6%	9.2%	10.6%
その他	4.5%	1.1%	5.4%	3.6%	1.4%	1.2%	1.7%
無回答	0.0%	3.4%	1.1%	1.4%	1.8%	2.0%	5.1%
回答数	49	221	222	327	503	602	570

上位3項目

⑩中心市街地を訪れる頻度

○すべての年代で「週に1～2回」が最も多い。
○「ほぼ毎日」と回答した人も多かった。
○各年代の2割以上が「月に1～2回」以上の頻度で中心市街地を訪れている。

表19 年齢別中心市街地を訪れる頻度

	20歳未満 (N=22)	20代 (N=89)	30代 (N=92)	40代 (N=139)	50代 (N=222)	60代 (N=250)	70代以上 (N=235)
ほぼ毎日	22.7%	25.8%	25.0%	26.6%	19.8%	16.4%	8.5%
週に1～2回	36.4%	36.0%	40.2%	33.8%	41.9%	38.0%	50.6%
月に1～2回	18.2%	18.0%	22.8%	21.6%	23.0%	28.0%	28.1%
2～3ヶ月に1回	4.5%	5.6%	6.5%	2.2%	3.6%	6.0%	3.4%
年に数回	0.0%	3.4%	0.0%	7.9%	4.1%	4.4%	2.6%
ほとんど行かない	9.1%	9.0%	3.3%	5.0%	4.5%	3.2%	3.0%
無回答	9.1%	2.2%	2.2%	2.9%	3.2%	4.0%	3.8%
回答数	22	89	92	139	222	250	235

上位3項目

⑪中心市街地に出かけてみたくなる仕掛け

- 20代から60代で「駐車場の整備」が最も多くなった。特に40代では55.4%の回答があった。
- 20歳未満では「公共交通機関の利便性の向上」が最も多く、70代以上では「歩行者が安心して歩ける空間の整備」が最も多かった。
- 「公共交通機関の利便性の向上」「魅力ある立ち寄り施設」「歩行者が安心して歩ける空間」も多くの年代の回答があった。

表20 年齢別中心市街地に出かけてみたくなる仕掛け

	20歳未満 (N=22)	20代 (N=89)	30代 (N=92)	40代 (N=139)	50代 (N=222)	60代 (N=250)	70代以上 (N=235)
公共交通機関の利便性の向上	40.9%	18.0%	21.7%	21.6%	23.0%	22.0%	24.3%
駐車場の整備	31.8%	50.6%	46.7%	55.4%	51.8%	44.0%	37.0%
歩行者が安心して歩ける空間の整備	27.3%	20.2%	30.4%	26.6%	31.5%	33.2%	44.7%
歩道などのバリアフリー	4.5%	7.9%	7.6%	7.2%	9.5%	11.6%	17.4%
駐輪場の整備	4.5%	0.0%	7.6%	3.6%	4.5%	5.6%	5.1%
レンタサイクル(貸自転車)の導入	9.1%	2.2%	2.2%	2.2%	2.7%	3.2%	3.0%
休める場所(小さな公園など)の整備	22.7%	27.0%	28.3%	24.5%	24.8%	31.2%	34.5%
統一感のある街並み	9.1%	16.9%	9.8%	7.9%	14.9%	16.0%	12.3%
イベントや散策ガイドなどの導入	9.1%	3.4%	5.4%	10.1%	9.5%	11.6%	10.2%
イベントの開催	22.7%	32.6%	20.7%	21.6%	12.2%	11.6%	8.5%
商店街での共通商品券などの導入	9.1%	7.9%	1.1%	2.9%	5.9%	6.0%	8.1%
魅力ある立ち寄り施設	22.7%	32.6%	43.5%	36.7%	43.7%	35.2%	31.5%
歴史や文化、観光資源の発掘	4.5%	3.4%	6.5%	2.9%	5.0%	6.4%	7.2%
夜も楽しめる環境の創出	22.7%	28.1%	27.2%	22.3%	9.5%	6.4%	3.0%
その他	0.0%	9.0%	4.3%	2.2%	2.7%	3.2%	0.9%
無回答	4.5%	2.2%	1.1%	4.3%	5.9%	6.4%	6.4%
回答数	54	233	243	350	570	634	597

上位3項目

⑫現庁舎（本庁舎・分庁舎）の跡地活用

<本庁舎>

【レクリエーションやスポーツができる場】

- 40代以外では「やや期待する」、40代では「期待する」が最も多くなった。
- 全体的に「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

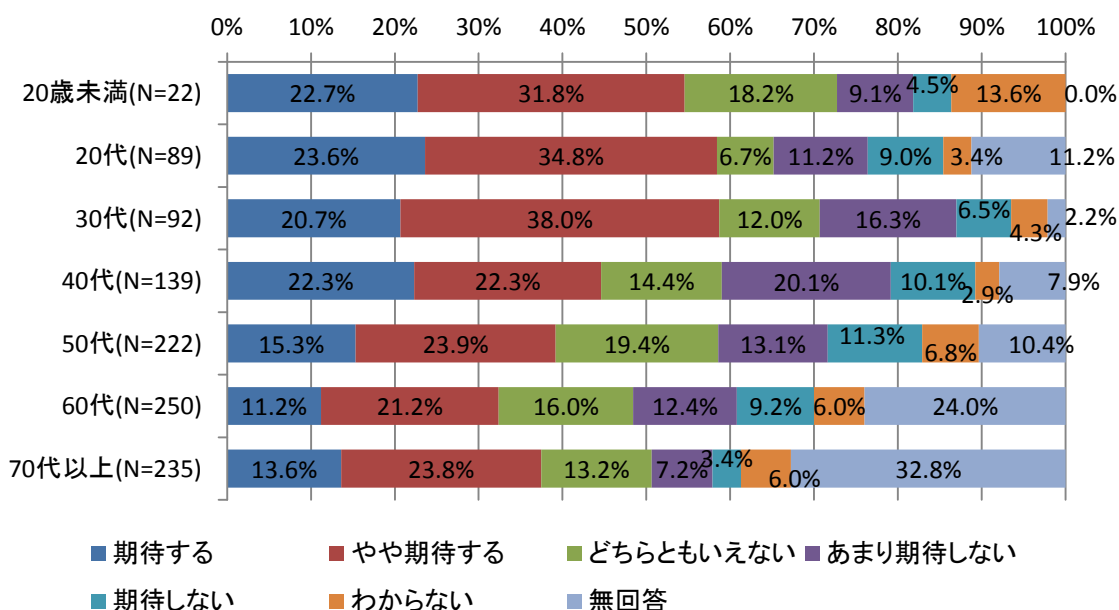


図46 レクリエーションやスポーツができる場(年齢)

【歴史や文化、芸術などを伝えられる場】

○すべての年代で「やや期待する」が最も多く、最もその割合が高い30代では37.0%であった。
○すべての年代で「どちらともいえない」が次いで多い。

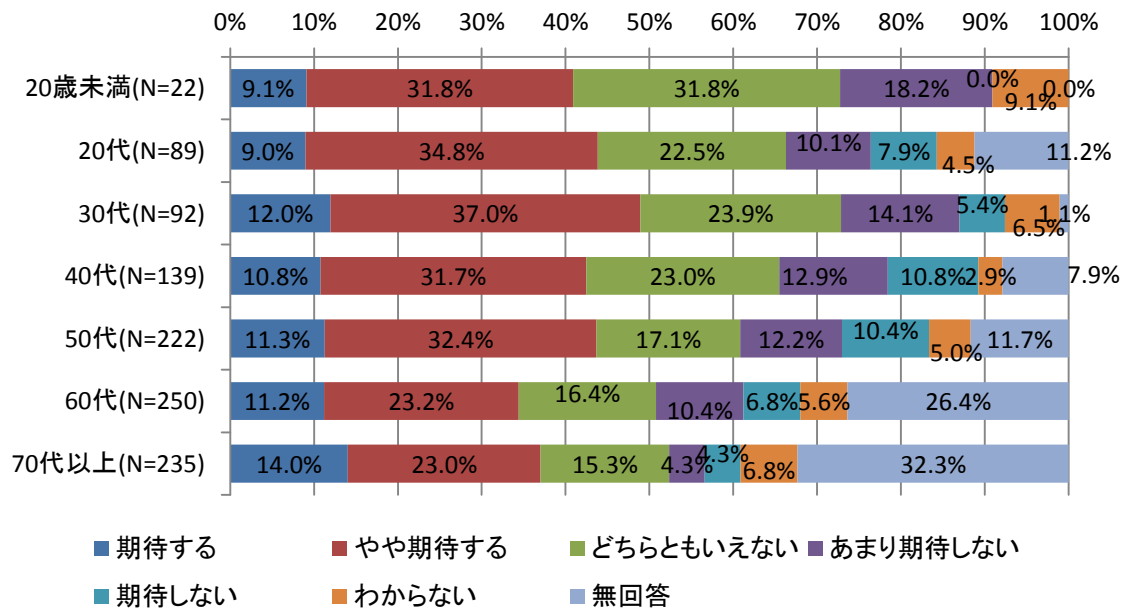


図 4 7 歴史や文化、芸術などを伝えられる場(年齢)

【市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場】

○20代以上では「やや期待する」が最も多く、20歳未満では「どちらともいえない」が最も多い。
○全体的に「あまり期待しない」「期待しない」の割合は少ない。

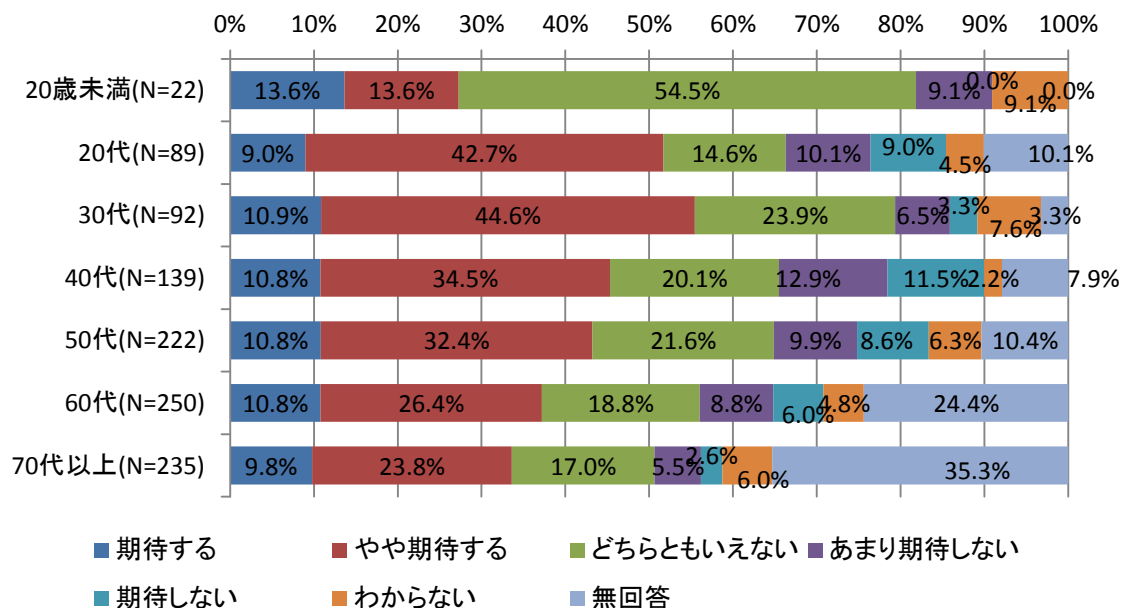


図 4 8 市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場(年齢)

【子育てや高齢者などを支援する場】

○20代以上では「やや期待する」が最も多く、20歳未満では「期待する」が最も多い。
○20代以上で「期待する」「やや期待する」の割合が4割を超えた。

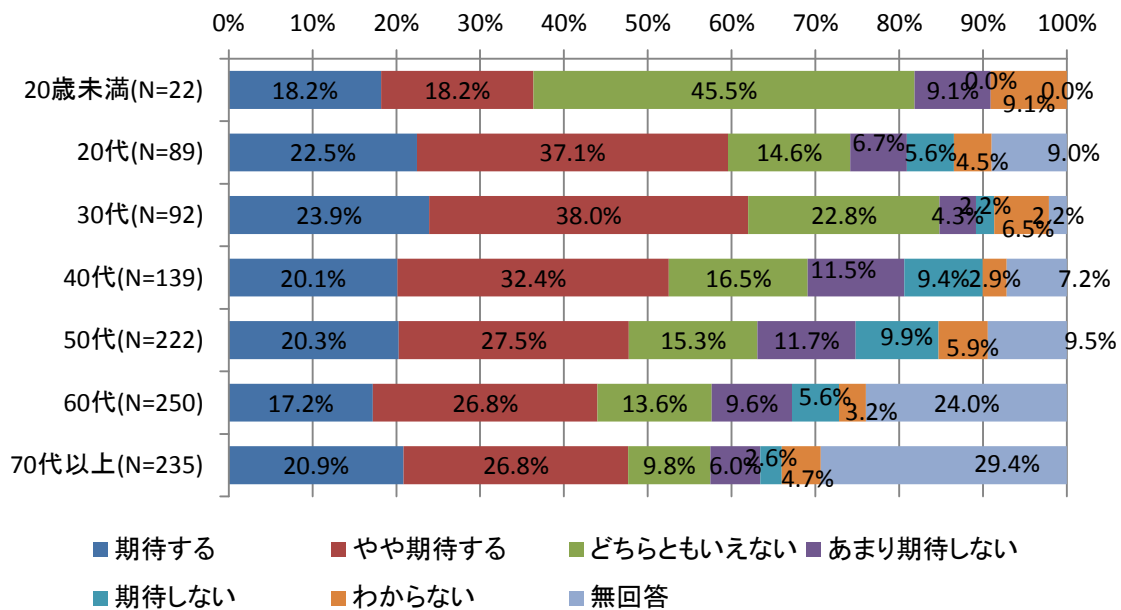


図 4 9 子育てや高齢者などを支援する場(年齢)

【観光案内などの情報提供や物産販売などができる場】

○20代以上で「やや期待する」が最も多く、20歳未満では「どちらともいえない」が最も多い。
○全体的に「あまり期待しない」「期待しない」の割合が少ない。

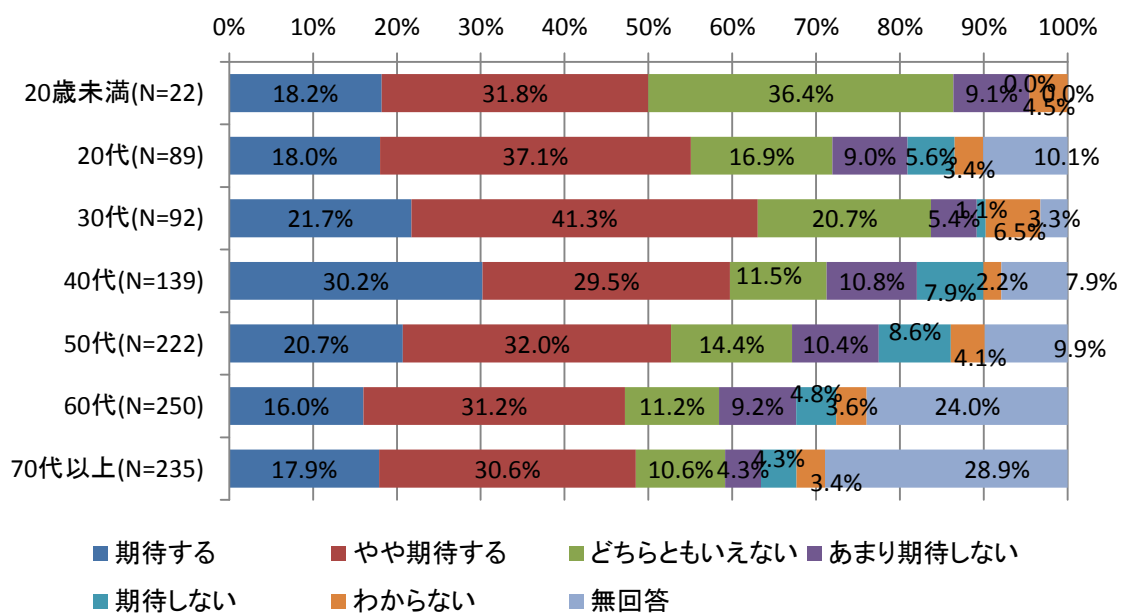


図 5 0 観光案内などの情報提供や物産販売などができる場(年齢)

【市民や観光客のための市営駐車場】

○20代、40代以上では「やや期待する」が最も多く、20歳未満では「どちらともいえない」、30代では「期待する」がそれぞれ最も多い。
○全体的に「期待する」「やや期待する」の割合が4割を超えている。

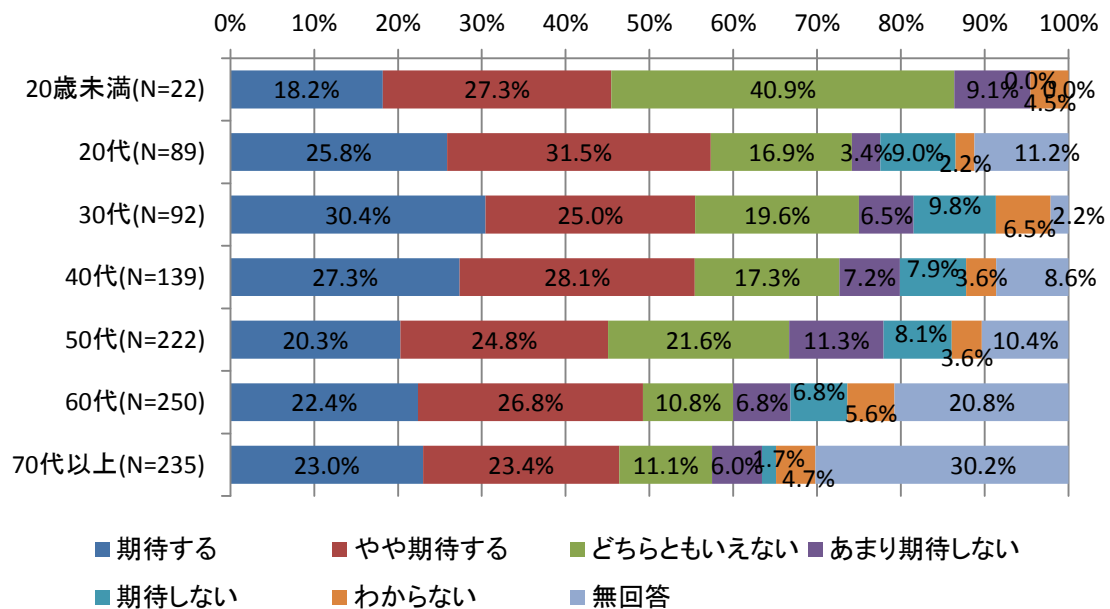


図5-1 市民や観光客のための市営駐車場(年齢)

【誰でも、いつでも憩える公園や広場】

○30代以下、50代では「期待する」が最も多く、40代、50代では「やや期待する」が最も多い。
○60代以下で「期待する」「やや期待する」の割合が5割を超えた。

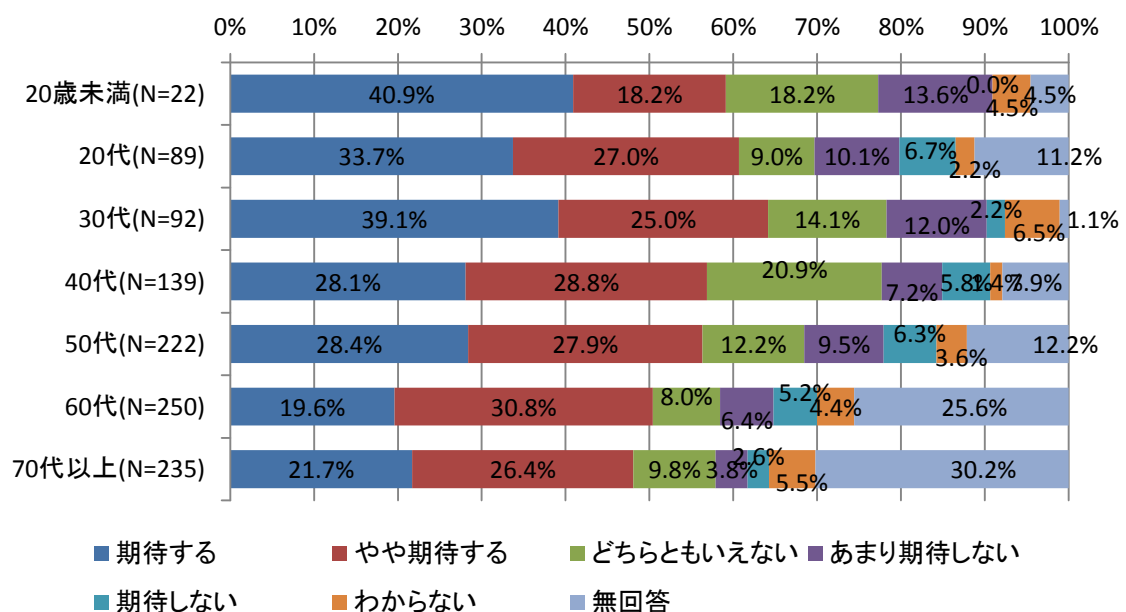


図5-2 誰でも、いつでも憩える公園や広場(年齢)

<分庁舎>

【レクリエーションやスポーツができる場】

- すべての年代で「やや期待する」が最も多い。
○全体的に「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

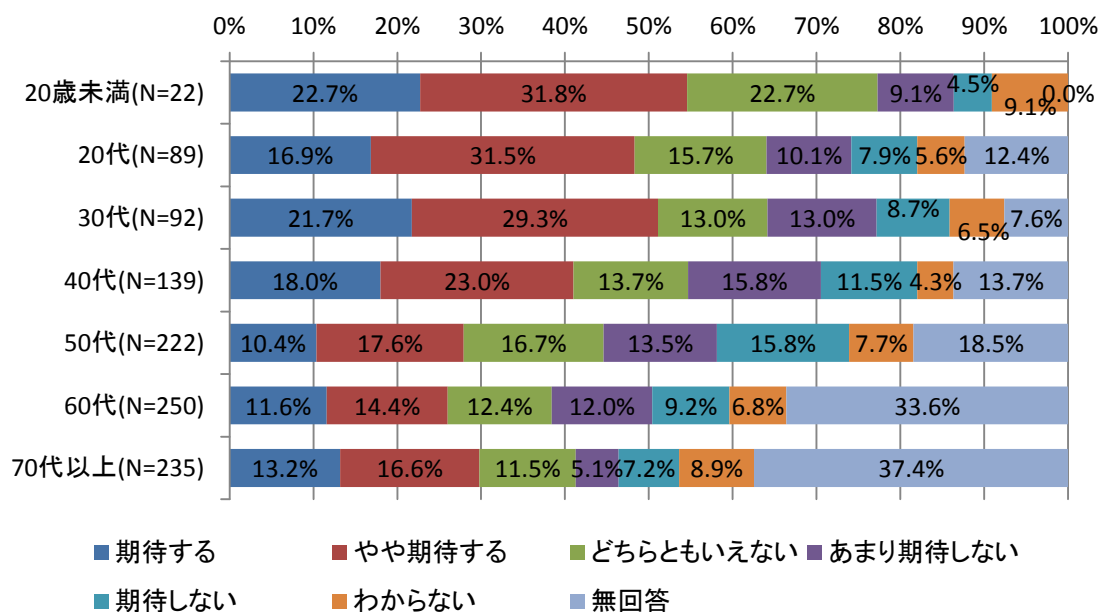


図 5 3 レクリエーションやスポーツができる場(年齢)

【歴史や文化、芸術などを伝えられる場】

- 20 代以上で「やや期待する」が最も多く、20 歳未満では「どちらともいえない」が最も多い。
○20 代以上で次に多いのは「どちらともいえない」で、20 歳以上では「やや期待する」であった。

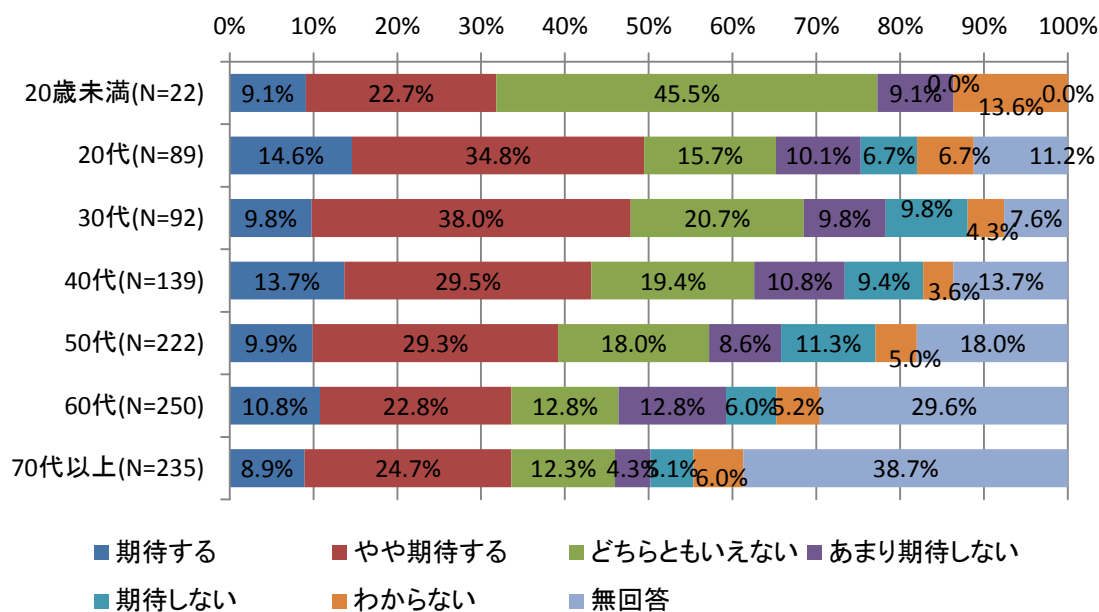


図 5 4 歴史や文化、芸術などを伝えられる場(年齢)

【市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場】

○20代以上で「やや期待する」が最も多く、20歳未満では「どちらともいえない」が最も多い。
○すべての年代で「期待する」「やや期待する」の割合が多い。

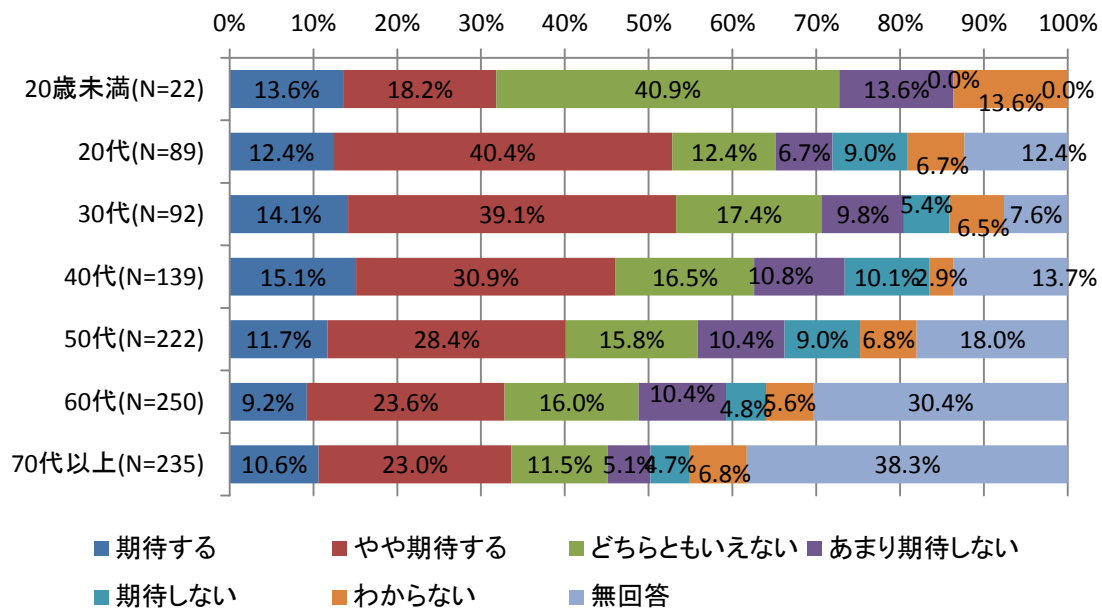


図5-5 市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場(年齢)

【子育てや高齢者などを支援する場】

○20代以上では「やや期待する」が最も多く、20歳未満では「どちらともいえない」が最も多い。
○20代から50代で「期待する」「やや期待する」の割合が4割を超えた。

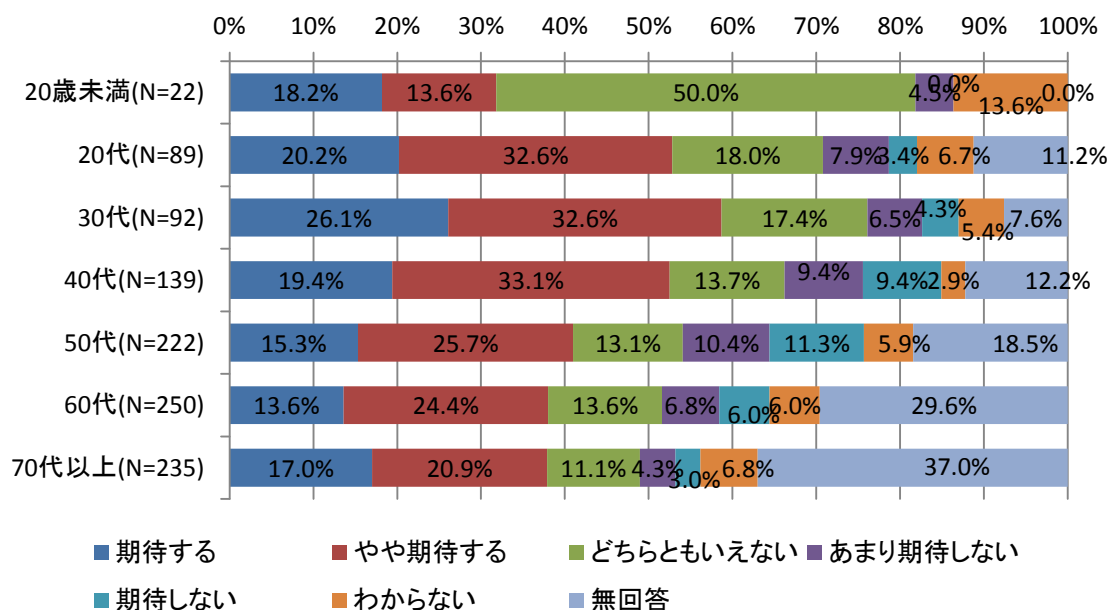


図5-6 子育てや高齢者などを支援する場(年齢)

【観光案内などの情報提供や物産販売などができる場】

○すべての年代で「やや期待する」が最も多かったが、年代が上がるにつれて減少している。
○全体的に「あまり期待しない」「期待しない」の割合が少ない。

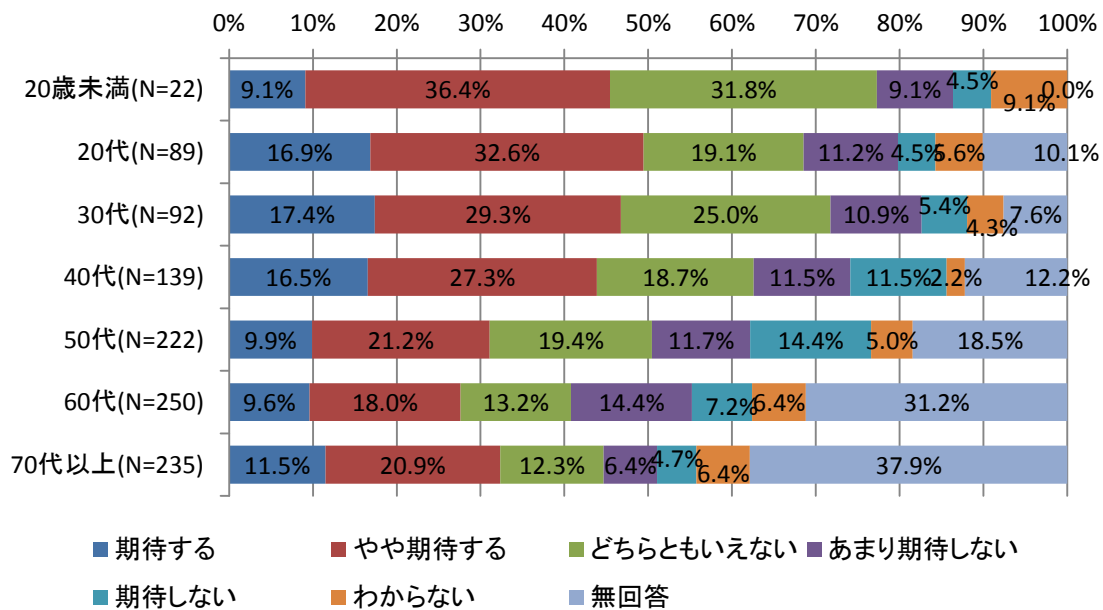


図 5 7 観光案内などの情報提供や物産販売などができる場(年齢)

【市民や観光客のための市営駐車場】

○20 歳未満は「どちらともいえない」が最も多く、20 代、40 代から 60 代では「やや期待する」、30 代、70 代以上では「期待する」がそれぞれ最も多い。
○50 代以下では「期待する」「やや期待する」の割合が 4 割を超えている。

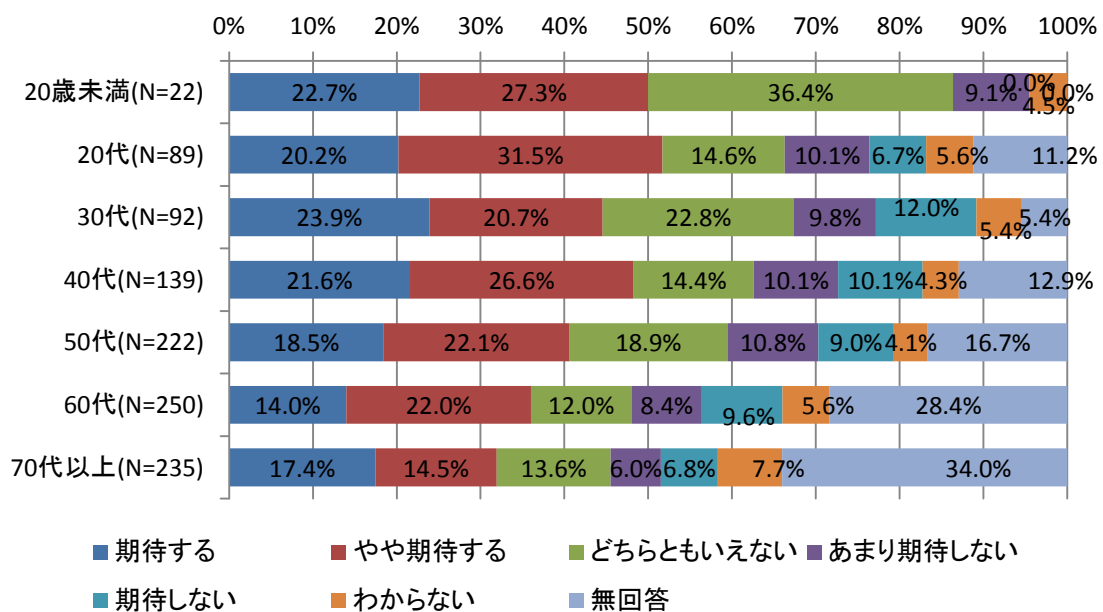


図 5 8 市民や観光客のための市営駐車場(年齢)

【誰でも、いつでも憩える公園や広場】

- 20 歳未満、30 代では「期待する」が最も多く、特に 20 歳未満では 45.5%であった。
- 20 代、40 代以上では「やや期待する」が最も多い。
- すべての年代で「期待する」「やや期待する」の割合が 3 割を超えた。

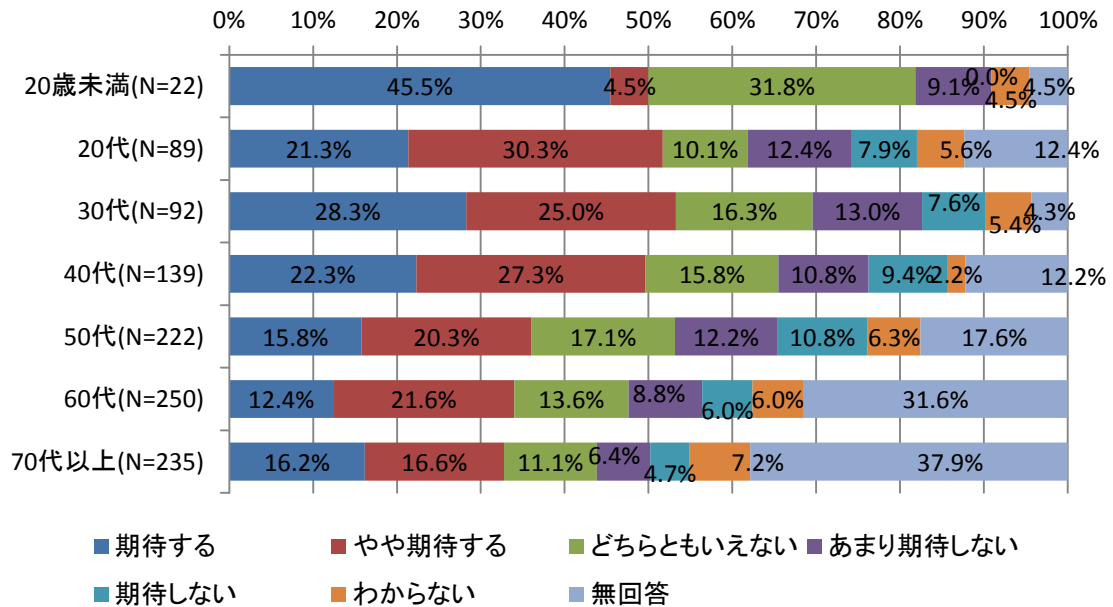


図 5 9 誰でも、いつでも憩える公園や広場(年齢)

4) 調査結果（住まいによるクロス集計）

①市役所への来訪頻度

○「年に数回程度」がどの地区でも最も多い。
○次に多いのは「月に1、2回程度」「年1回程度」となった。

表 2 1 住まい別市役所への来訪頻度

	宮古地区 (N=644)	崎山地区 (N=45)	津軽石地区 (N=78)	重茂地区 (N=18)	花輪地区 (N=42)	田老地区 (N=68)	新里地区 (N=81)	川井地区 (N=65)
ほぼ毎日	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
週に2、3回程度	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
週に1回程度	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	1.5%
月に1、2回程度	11.5%	17.8%	15.4%	11.1%	2.4%	25.0%	12.3%	26.2%
年に数回程度	48.9%	53.3%	37.2%	72.2%	52.4%	42.6%	51.9%	50.8%
年1回程度	14.9%	24.4%	24.4%	0.0%	11.9%	13.2%	17.3%	10.8%
数年に1回程度	9.6%	2.2%	15.4%	5.6%	14.3%	7.4%	6.2%	4.6%
ほとんど行かない	12.0%	2.2%	7.7%	11.1%	14.3%	11.8%	7.4%	3.1%
無回答	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	1.5%
回答数	644	45	78	18	42	68	81	65

上位3項目

②整備計画の認知度

○今回の調査では「計画のことは知っていた(聞いていた)が、主な整備内容は知らない」がどの地区でも最も多い。

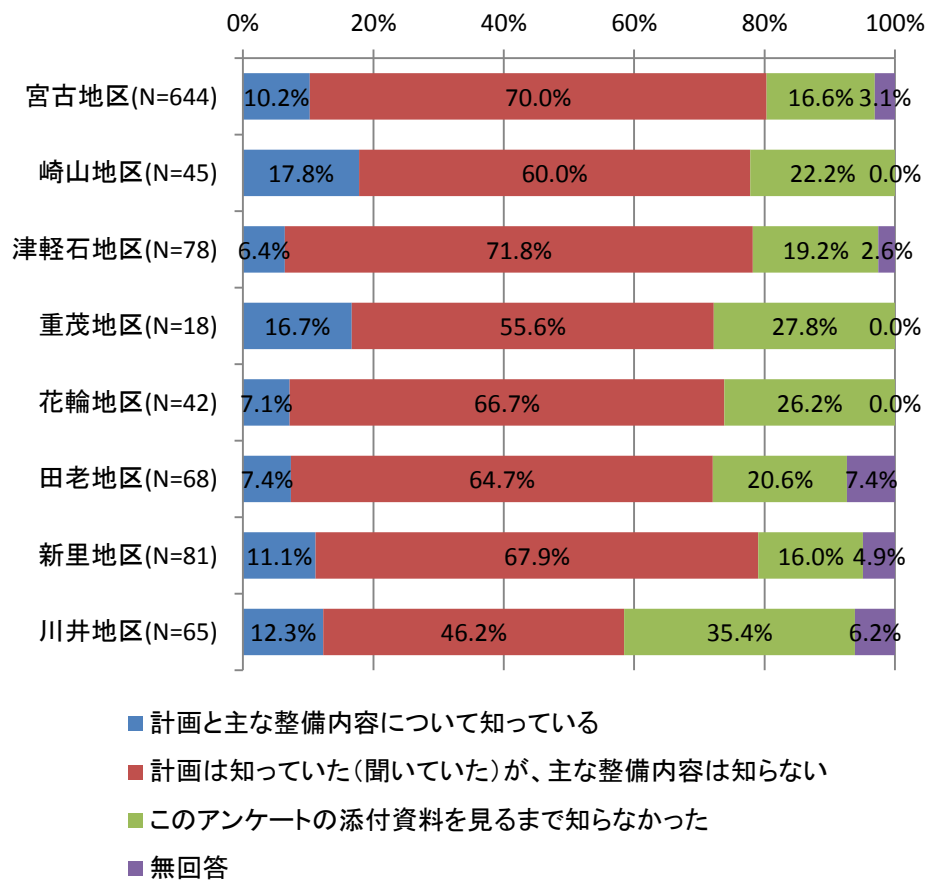


図 6 0 住まい別整備計画の認知度

③整備計画を知った方法

- 花輪以外の地区では「市の広報」が最も多く、「クチコミ」が2番目に多い。
- 「新聞、エフエムなどの報道」や「市議会の広報、市政報告など」でも情報を得ている。

表 2 2 住まい別整備計画を知った方法

	宮古地区 (N=644)	崎山地区 (N=45)	津軽石地区 (N=78)	重茂地区 (N=18)	花輪地区 (N=42)	田老地区 (N=68)	新里地区 (N=81)	川井地区 (N=65)
市の広報	41.9%	44.4%	41.0%	33.3%	33.3%	42.6%	46.9%	41.5%
市のホームページ、フェイスブック	1.7%	2.2%	0.0%	5.6%	2.4%	1.5%	8.6%	3.1%
市民説明会、出前説明会	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	3.7%	0.0%
市の施設の配架、配布物	3.7%	4.4%	3.8%	0.0%	2.4%	1.5%	4.9%	6.2%
新聞、エフエムなどの報道	11.5%	15.6%	17.9%	16.7%	16.7%	4.4%	11.1%	13.8%
クチコミ(人から聞いて)	38.0%	26.7%	35.9%	27.8%	42.9%	22.1%	35.8%	15.4%
市議会の広報、市政報告など	9.0%	6.7%	5.1%	16.7%	14.3%	10.3%	16.0%	10.8%
その他	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
無回答	23.4%	24.4%	28.2%	27.8%	26.2%	35.3%	19.8%	43.1%
回答数	850	56	103	23	58	82	119	87

上位3項目

④整備計画への関心度

- 全体的に「関心がある」が最も多く 2~3 割の回答を得ており、特に重茂地区は 55.6%であった。
- 「あまり関心がない」は重茂以外の地区では 2 番目に回答が多い。

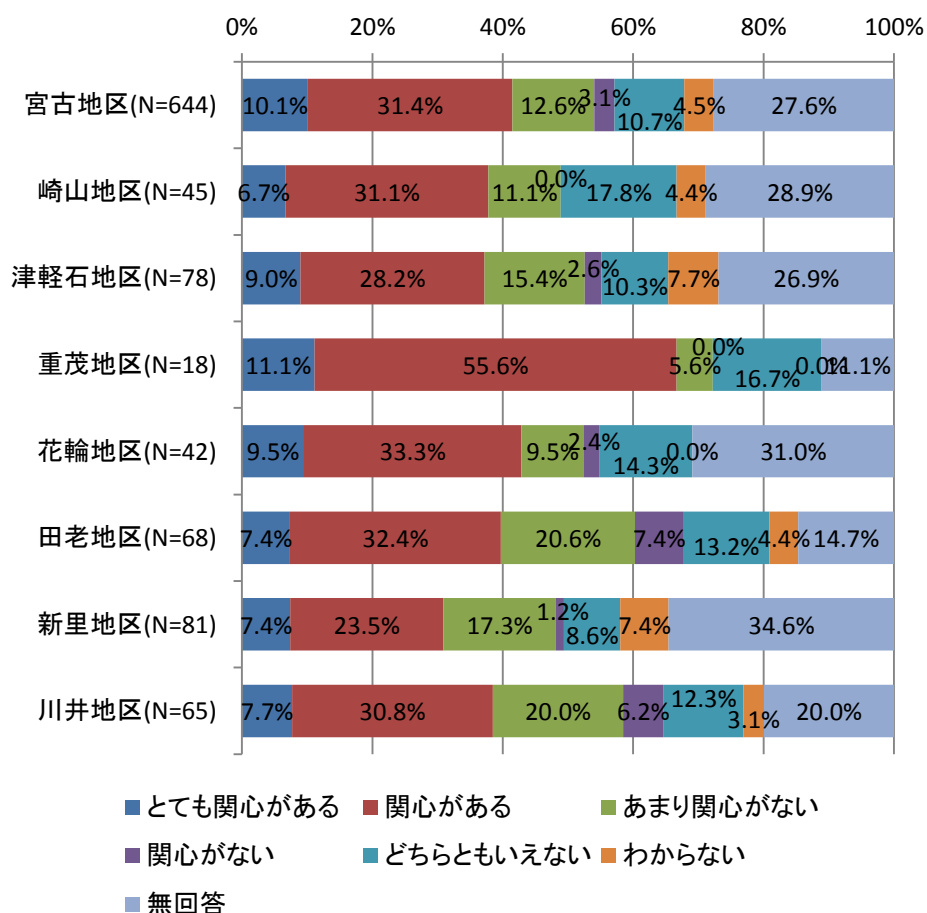


図 6 1 住まい別整備計画への関心度

⑤交通手段

- 現在の交通手段は全体的に「自動車(自分で運転)」が最も多く、重茂や花輪、新里、川井では7割以上の回答が得られた。田老地区は58.8%で他の地区よりも回答割合は低かった。
- 現在の交通手段では崎山や田老、新里で「路線バス」という回答が2番目に多くなっている。
- 施設整備後も「自動車(自分で運転)」が最も多いが、宮古地区は現在よりも3.6%低下し、路線バス利用が2.5%増加している。
- 整備後は全体的に路線バス利用が増加している。
- 前回調査と比較すると、現在も施設整備後も交通手段は今回と前回の結果に大きな変化はなかった。

表2-3 住まい別現在の本庁舎までの交通手段（今回）

	宮古地区 (N=644)	崎山地区 (N=45)	津軽石地区 (N=78)	重茂地区 (N=18)	花輪地区 (N=42)	田老地区 (N=68)	新里地区 (N=81)	川井地区 (N=65)
自動車(自分で運転)	60.4%	62.2%	67.9%	77.8%	73.8%	58.8%	71.6%	81.5%
自動車(家族等の送迎)	10.4%	17.8%	16.7%	16.7%	16.7%	11.8%	11.1%	4.6%
タクシー	1.6%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
路線バス	8.4%	17.8%	11.5%	5.6%	7.1%	22.1%	16.0%	6.2%
鉄道(JR・三陸鉄道)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	1.2%	4.6%
オートバイ	1.6%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自転車	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
徒歩	7.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
無回答	1.2%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	3.1%
回答数	644	45	78	18	42	68	81	65

上位3項目

表2-4 住まい別施設整備後の交通手段（今回）

	宮古地区 (N=644)	崎山地区 (N=45)	津軽石地区 (N=78)	重茂地区 (N=18)	花輪地区 (N=42)	田老地区 (N=68)	新里地区 (N=81)	川井地区 (N=65)
自動車(自分で運転)	56.8%	55.6%	67.9%	77.8%	71.4%	54.4%	74.1%	75.4%
自動車(家族等の送迎)	7.1%	15.6%	14.1%	11.1%	11.9%	11.8%	7.4%	3.1%
タクシー	1.1%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
路線バス	10.9%	24.4%	10.3%	11.1%	11.9%	17.6%	16.0%	6.2%
鉄道(JR・三陸鉄道)	0.5%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	11.8%	2.5%	9.2%
オートバイ	1.6%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自転車	8.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
徒歩	12.7%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
無回答	0.9%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	4.6%
回答数	644	45	78	18	42	68	81	65

上位3項目

表 2 5 住まい別現在の本庁舎までの交通手段（前回）

	宮古地区 (N=1068)	崎山地区 (N=99)	津軽石地区 (N=85)	重茂地区 (N=13)	花輪地区 (N=48)	田老地区 (N=112)	新里地区 (N=66)	川井地区 (N=58)
自動車(自分で運転)	61.4%	65.7%	83.5%	76.9%	81.3%	69.6%	66.7%	58.6%
自動車(家族等の送迎)	8.9%	15.2%	8.2%	23.1%	8.3%	8.0%	6.1%	3.4%
タクシー	1.1%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	1.7%
路線バス	6.3%	14.1%	4.7%	0.0%	0.0%	8.9%	4.5%	5.2%
鉄道(JR・三陸鉄道)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	1.7%
オートバイ	1.5%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%
自転車	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.9%	0.0%	1.7%
徒歩	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	3.4%
無回答	5.1%	0.0%	3.5%	0.0%	8.3%	12.5%	13.6%	24.1%
回答数	1068	99	85	13	48	112	66	58

上位3項目

表 2 6 住まい別施設整備後の交通手段（前回）

	宮古地区 (N=1068)	崎山地区 (N=99)	津軽石地区 (N=85)	重茂地区 (N=13)	花輪地区 (N=48)	田老地区 (N=112)	新里地区 (N=66)	川井地区 (N=58)
自動車(自分で運転)	54.4%	67.7%	80.0%	76.9%	79.2%	65.2%	69.7%	70.7%
自動車(家族等の送迎)	5.5%	6.1%	8.2%	23.1%	10.4%	4.5%	3.0%	3.4%
タクシー	1.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
路線バス	8.6%	17.2%	5.9%	0.0%	10.4%	13.4%	10.6%	10.3%
鉄道(JR・三陸鉄道)	0.7%	3.0%	1.2%	0.0%	0.0%	12.5%	12.1%	8.6%
オートバイ	1.3%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%
自転車	10.1%	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%
徒歩	13.3%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	1.7%
無回答	5.0%	2.0%	3.5%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	5.2%
回答数	1068	99	85	13	48	112	66	58

上位3項目

⑥グループや団体などでの地域活動への参加状況

○すべての地区で「参加していない」が6割以上となった。

○宮古地区と花輪地区以外では、「参加している」が25%前後となった。

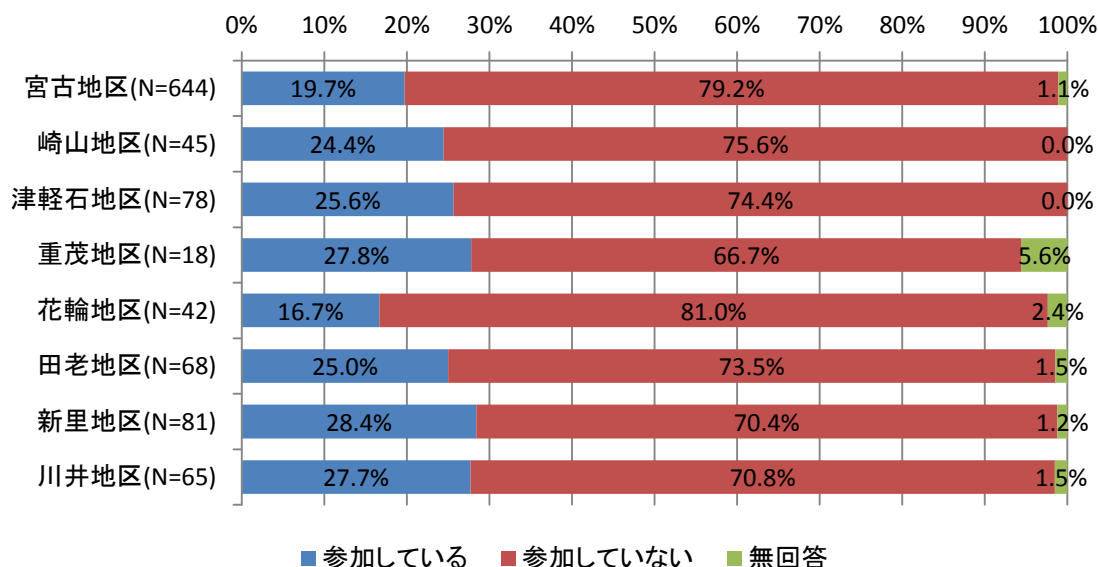


図 6 2 住まい別グループや団体などでの地域活動への参加状況

⑦市民交流センターの利用意向

○宮古、崎山、津軽石、新里では「どちらかという、利用してみたい(行ってみいたい)」が最も多く、3割前後の回答が得られた。

○重茂、花輪、田老、川井では「どちらかという、利用しない(行かない)」が最も多く、重茂と田老では3割以上の回答が得られた。

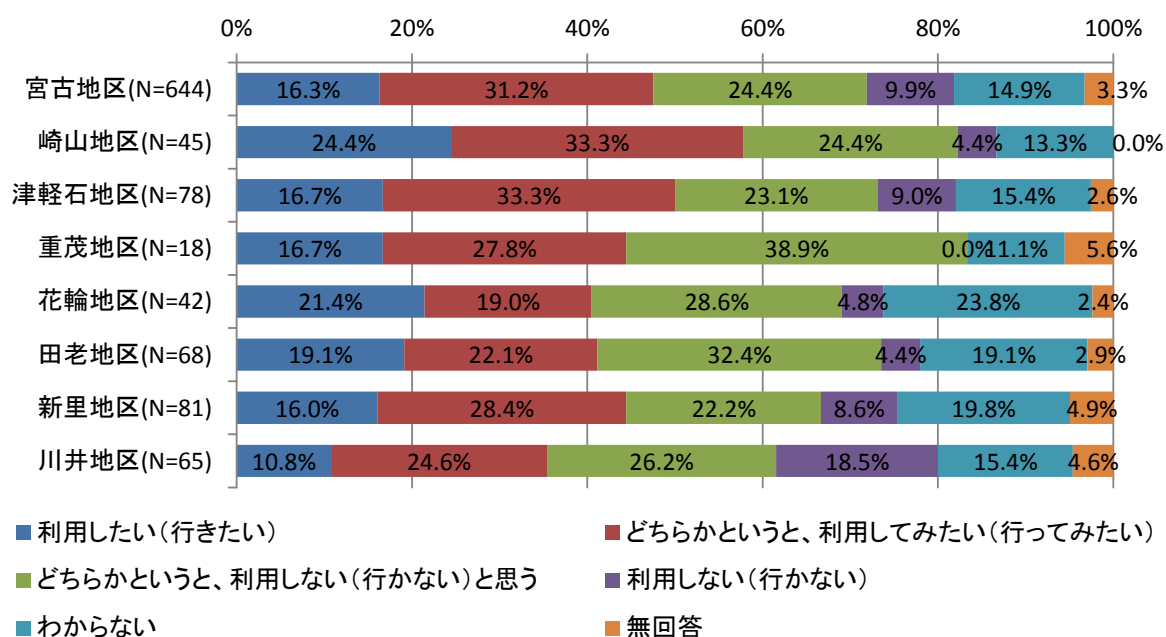


図 6 3 住まい別市民交流センターの利用意向

⑧市民交流センターで利用したい諸室

- 無回答を除くと、重茂と田老以外のすべての地区で「ふれあいカフェ」が最も多く、重茂と田老では「軽運動スタジオ」が最も多く、特に重茂では 44.4%の回答が得られた。
- 「多目的ホール」や「オープンスペース」も比較的多くの回答が得られた。

表 2 7 住まい別市民交流センターで利用したい諸室

	宮古地区 (N=644)	崎山地区 (N=45)	津軽石地区 (N=78)	重茂地区 (N=18)	花輪地区 (N=42)	田老地区 (N=68)	新里地区 (N=81)	川井地区 (N=65)
防災展示学習(体験)室	14.0%	22.2%	10.3%	0.0%	14.3%	8.8%	18.5%	16.9%
多目的ホール	21.0%	33.3%	21.8%	11.1%	14.3%	11.8%	21.0%	21.5%
視聴覚(OA)室	6.8%	6.7%	6.4%	11.1%	4.8%	4.4%	8.6%	7.7%
音楽スタジオ	10.2%	6.7%	5.1%	0.0%	7.1%	11.8%	12.3%	12.3%
軽運動スタジオ	25.5%	22.2%	25.6%	44.4%	21.4%	25.0%	19.8%	23.1%
オープンスペース	19.4%	26.7%	19.2%	33.3%	16.7%	14.7%	8.6%	12.3%
情報提供コーナー	18.3%	15.6%	12.8%	11.1%	16.7%	13.2%	19.8%	23.1%
子どもふれあいコーナー	6.1%	6.7%	10.3%	5.6%	9.5%	5.9%	6.2%	3.1%
ふれあいカフェ	31.8%	35.6%	37.2%	27.8%	31.0%	17.6%	29.6%	33.8%
和室	7.3%	8.9%	2.6%	5.6%	7.1%	2.9%	6.2%	9.2%
創作活動室	13.8%	13.3%	14.1%	5.6%	11.9%	10.3%	16.0%	13.8%
貸室(研修会議室)	8.5%	13.3%	3.8%	5.6%	14.3%	1.5%	11.1%	4.6%
無回答	45.0%	35.6%	44.9%	50.0%	61.9%	52.9%	48.1%	58.5%
回答数	1467	111	167	38	97	123	183	156

上位3項目

⑨市民交流センターでの利用内容(形態)

- 宮古、重茂、花輪、新里では「趣味や教養に関する教室や講座に参加」が最も多い。
- 「気軽に立ち寄って、地域の人などと交流」や「気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす」「趣味のサークル活動などで利用」も多くの回答が得られた。

表 2 8 住まい別市民交流センターでの利用内容(形態)

	宮古地区 (N=644)	崎山地区 (N=45)	津軽石地区 (N=78)	重茂地区 (N=18)	花輪地区 (N=42)	田老地区 (N=68)	新里地区 (N=81)	川井地区 (N=65)
グループや団体の会議や会合などで利用	13.5%	15.6%	9.0%	11.1%	21.4%	7.4%	19.8%	7.7%
気軽に立ち寄って、地域の人などと交流	19.6%	13.3%	25.6%	27.8%	23.8%	23.5%	18.5%	23.1%
気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす	29.0%	26.7%	24.4%	11.1%	16.7%	25.0%	23.5%	29.2%
趣味のサークル活動などで利用	20.0%	26.7%	15.4%	27.8%	16.7%	22.1%	17.3%	10.8%
子どもを遊ばせたり、親同士で交流	11.2%	6.7%	11.5%	11.1%	14.3%	7.4%	11.1%	3.1%
施設が主催する行事やイベントに参加	20.8%	17.8%	16.7%	11.1%	14.3%	20.6%	18.5%	13.8%
多くの人が参加しやすい行事などを行う	19.4%	24.4%	21.8%	16.7%	19.0%	16.2%	23.5%	23.1%
趣味や教養に関する教室や講座に参加	31.1%	22.2%	24.4%	27.8%	28.6%	22.1%	30.9%	24.6%
有償の教室や講座を開く	3.3%	2.2%	5.1%	0.0%	2.4%	4.4%	1.2%	1.5%
NPO法人などの活動拠点として利用する	1.9%	2.2%	5.1%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	2.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	1.2%	4.6%
わからない、思いつかない	16.8%	15.6%	17.9%	22.2%	14.3%	16.2%	22.2%	29.2%
無回答	6.8%	13.3%	2.6%	0.0%	21.4%	14.7%	4.9%	4.6%
回答数	1258	85	140	30	83	123	156	115

上位3項目

⑩中心市街地へ出かける目的

- すべての地区で「最寄品(日用必需品等)の買い物」が最も多く、特に重茂は83.3%であった。
○「飲食(外食)のため」や「通院のため」と回答した人も多くいた。

表 2 9 住まい別中心市街地へ出かける目的

	宮古地区 (N=644)	崎山地区 (N=45)	津軽石地区 (N=78)	重茂地区 (N=18)	花輪地区 (N=42)	田老地区 (N=68)	新里地区 (N=81)	川井地区 (N=65)
最寄品(日用必需品等)の買い物	62.1%	73.3%	75.6%	83.3%	50.0%	69.1%	77.8%	61.5%
買回り品(装身具、ハンドバッグ等)の買い物	7.9%	11.1%	3.8%	22.2%	11.9%	8.8%	11.1%	3.1%
飲食(外食)のため	38.5%	37.8%	35.9%	38.9%	28.6%	26.5%	33.3%	15.4%
遊び・娯楽のため	9.2%	6.7%	14.1%	22.2%	11.9%	10.3%	8.6%	10.8%
ウィンドウショッピング、ぶらぶら散歩のため	9.0%	2.2%	5.1%	5.6%	4.8%	5.9%	6.2%	4.6%
友人・知人に会いに行くため	10.2%	6.7%	9.0%	16.7%	7.1%	10.3%	8.6%	16.9%
イベント、祭りなどの催し物の見物のため	23.4%	24.4%	17.9%	5.6%	21.4%	10.3%	16.0%	9.2%
趣味や習い事のため	2.3%	2.2%	3.8%	5.6%	2.4%	0.0%	4.9%	1.5%
公共機関への用事	25.0%	31.1%	19.2%	27.8%	11.9%	20.6%	16.0%	26.2%
通勤・通学のため	11.6%	11.1%	9.0%	11.1%	9.5%	2.9%	6.2%	6.2%
通院のため	27.3%	35.6%	33.3%	33.3%	31.0%	38.2%	44.4%	33.8%
あまり出かけない	8.7%	2.2%	10.3%	0.0%	19.0%	7.4%	8.6%	21.5%
その他	2.8%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	3.1%
無回答	3.0%	4.4%	1.3%	0.0%	2.4%	5.9%	0.0%	3.1%
回答数	1553	112	187	49	89	147	197	141

上位3項目

⑪中心市街地を訪れる頻度

- 花輪と川井以外は「週に1～2回」が最も多く、花輪と川井では「月に1～2回」が最も多い。
○「ほぼ毎日」と回答した人も多かった。

表 3 0 住まい別中心市街地を訪れる頻度

	宮古地区 (N=644)	崎山地区 (N=45)	津軽石地区 (N=78)	重茂地区 (N=18)	花輪地区 (N=42)	田老地区 (N=68)	新里地区 (N=81)	川井地区 (N=65)
ほぼ毎日	22.2%	24.4%	10.3%	11.1%	26.2%	5.9%	11.1%	7.7%
週に1～2回	42.4%	42.2%	35.9%	55.6%	26.2%	51.5%	42.0%	27.7%
月に1～2回	20.2%	31.1%	35.9%	27.8%	28.6%	33.8%	28.4%	29.2%
2～3ヶ月に1回	4.7%	0.0%	1.3%	0.0%	4.8%	1.5%	7.4%	9.2%
年に数回	3.1%	2.2%	5.1%	0.0%	2.4%	2.9%	4.9%	12.3%
ほとんど行かない	3.6%	0.0%	5.1%	0.0%	9.5%	4.4%	4.9%	10.8%
無回答	3.9%	0.0%	6.4%	5.6%	2.4%	0.0%	1.2%	3.1%
回答数	644	45	78	18	42	68	81	65

上位3項目

5) 調査結果（市役所の利用目的と利用頻度・滞在時間のクロス集計）

①市役所への来訪頻度と来訪目的

○来訪目的は「証明(戸籍、住民票、印鑑登録など)」がすべての来訪頻度項目でも最も多く、「週に2、3回」と回答した人は100%となっている。

表3-1 市役所への来訪頻度と来訪目的

	ほぼ毎日 (N=5)	週に2、3回程度 (N=5)	週に1回程度 (N=13)	月に1、2回程度 (N=143)	年に数回程度 (N=516)	年1回程度 (N=165)	数年に1回程度 (N=97)	ほとんど行かない
証明(戸籍、住民票、印鑑登録など)	60.0%	100.0%	84.6%	78.3%	87.4%	78.8%	89.7%	71.4%
異動(転居、転入出、婚姻や出生など)	0.0%	0.0%	23.1%	18.9%	16.9%	8.5%	9.3%	11.6%
健康保険、年金	0.0%	0.0%	15.4%	24.5%	18.8%	16.4%	7.2%	7.1%
税金	0.0%	20.0%	38.5%	38.5%	27.9%	23.6%	3.1%	5.4%
介護、高齢、障がいサービス	20.0%	0.0%	15.4%	26.6%	9.3%	3.6%	3.1%	1.8%
子どもの保育(保育所、児童手当など)	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	11.6%	3.6%	1.0%	1.8%
家族の健康(健診、予防接種、相談など)	20.0%	0.0%	0.0%	8.4%	8.7%	5.5%	5.2%	1.8%
教育(学校、教育相談など)	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.6%	0.0%	0.9%
市営住宅(災害公営住宅)	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	3.7%	2.4%	1.0%	0.0%
建築確認、道路、都市計画	0.0%	0.0%	15.4%	14.7%	1.9%	0.6%	0.0%	0.0%
環境対策、廃棄物	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
住民相談(法律相談など)	0.0%	20.0%	7.7%	7.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
自治会や地域活動	0.0%	40.0%	0.0%	13.3%	5.4%	0.6%	0.0%	0.0%
商工・観光・農林水産業(仕事など)	0.0%	0.0%	7.7%	5.6%	2.3%	0.6%	0.0%	0.0%
議会や会議の傍聴	0.0%	20.0%	0.0%	2.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
展示物の観覧、配布物の受取	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	3.1%	0.0%	1.0%	0.9%
金融機関(キャッシュコーナーなど)	0.0%	20.0%	15.4%	16.1%	4.1%	3.0%	1.0%	0.9%
売店、食堂	0.0%	0.0%	7.7%	6.3%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%
その他	20.0%	0.0%	23.1%	9.1%	1.2%	1.2%	0.0%	5.4%
無回答	0.0%	0.0%	7.7%	1.4%	1.2%	4.2%	2.1%	14.3%
回答数	8	11	34	414	1086	254	120	138

上位3項目

②市役所での滞在時間と来訪目的

○来訪目的は「証明(戸籍、住民票、印鑑登録など)」がすべての滞在時間項目でも最も多く、「15~30分」と回答した人は86.3%となっている。

○すべての滞在時間項目の中で「健康保険、年金」「税金」と回答した人も多くいた。

表3-2 市役所での滞在時間と来訪目的

	15分未満 (N=406)	15~30分 (N=482)	30分~1時間 (N=122)	1時間以上 (N=18)
証明(戸籍、住民票、印鑑登録など)	84.7%	86.3%	79.5%	66.7%
異動(転居、転入出、婚姻や出生など)	9.6%	17.2%	23.0%	16.7%
健康保険、年金	11.8%	19.9%	23.0%	16.7%
税金	21.2%	25.3%	35.2%	5.6%
介護、高齢、障がいサービス	8.4%	10.8%	10.7%	5.6%
子どもの保育(保育所、児童手当など)	8.1%	6.0%	13.1%	5.6%
家族の健康(健診、予防接種、相談など)	5.4%	5.2%	14.8%	27.8%
教育(学校、教育相談など)	0.5%	0.8%	1.6%	0.0%
市営住宅(災害公営住宅)	2.0%	3.3%	6.6%	5.6%
建築確認、道路、都市計画	1.5%	4.1%	5.7%	5.6%
環境対策、廃棄物	1.2%	1.7%	0.8%	0.0%
住民相談(法律相談など)	1.5%	2.9%	2.5%	0.0%
自治会や地域活動	3.4%	4.6%	9.0%	16.7%
商工・観光・農林水産業(仕事など)	1.2%	2.3%	2.5%	11.1%
議会や会議の傍聴	0.5%	1.0%	0.0%	5.6%
展示物の観覧、配布物の受取	0.7%	2.7%	3.3%	0.0%
金融機関(キャッシュコーナーなど)	4.2%	5.4%	6.6%	5.6%
売店、食堂	1.0%	1.7%	4.1%	0.0%
その他	3.4%	1.5%	3.3%	5.6%
無回答	1.5%	3.1%	3.3%	0.0%
回答数	698	992	303	36

上位3項目

6) 調査結果（活動への参加状況と新施設利用意向のクロス集計）

①市民交流センターの利用意向と日頃の活動

○「その他」の活動をしている回答者を除き、「利用したい（行きたい）」「どちらかというと、利用してみたい（行ってみいたい）」を合わせた割合が最も多いのは、「友人や仲間との交流」をしている回答者で9割近くが利用意向を持っている。

○次いで、「文科系のサークル・趣味の活動」「ボランティア活動」「運動系のサークル・趣味の活動」となっている。

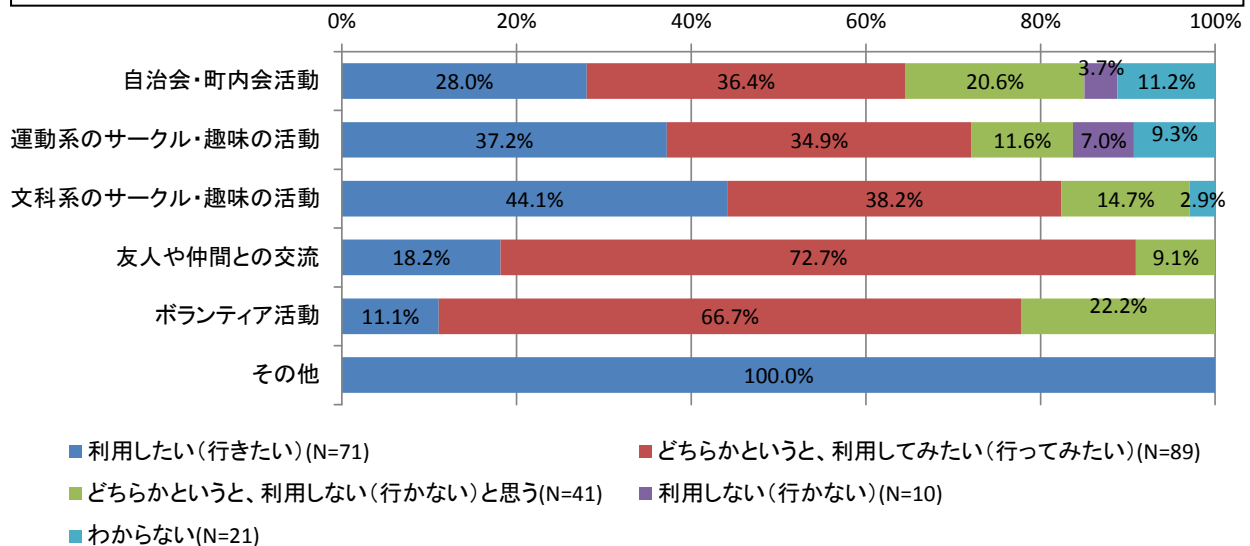


図 6 4 市民交流センターの利用意向と日頃の活動

②市民交流センターで利用したい諸室と日頃の活動

○すべての諸室項目で「自治会・町内会活動」が最も多く、4割を超えている。

○「軽運動スタジオ」では「運動系のサークル・趣味の活動」が23.3%となった。

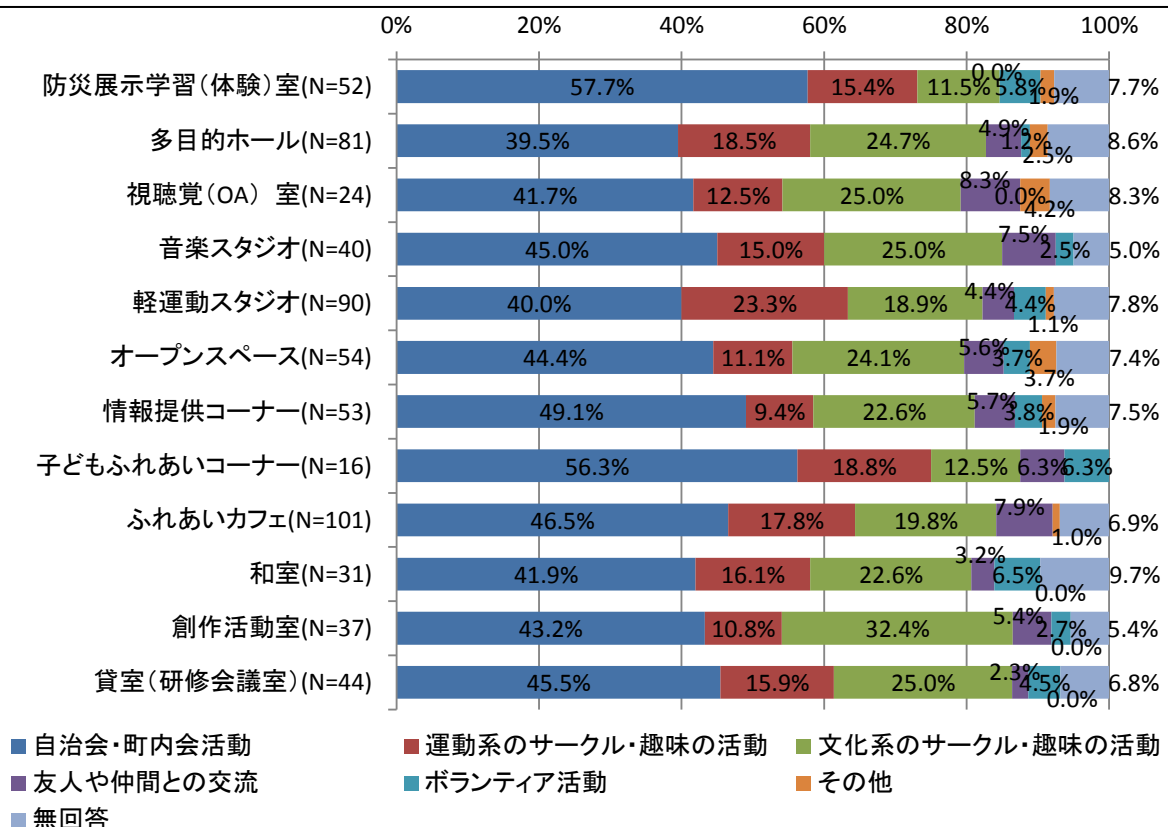


図 6 5 市民交流センターで利用したい諸室と日頃の活動

7) 調査結果（中心市街地への外出頻度と出掛けたいくなる仕掛けのクロス集計）

① 中心市街地への外出頻度と中心市街地へ出かけてみたくなる仕掛け

- 中心市街地への外出頻度がいずれのグループでも、「駐車場の整備」が1位となっている。
- 中心市街地への外出頻度が「ほぼ毎日」「週に1～2回」「月に1～2回」のグループは、いずれも、「魅力ある立ち寄り施設」「歩行者が安心して歩ける空間の整備」が2位、3位となっている。
- 「年に数回」のグループは、2位が「休める場所（小さな公園など）の整備」、3位が「歩行者が安心して歩ける空間の整備」となっている。「ほとんど行かない」グループは2位が「魅力ある立ち寄り施設」、3位が「休める場所（小さな公園など）の整備」となっている。

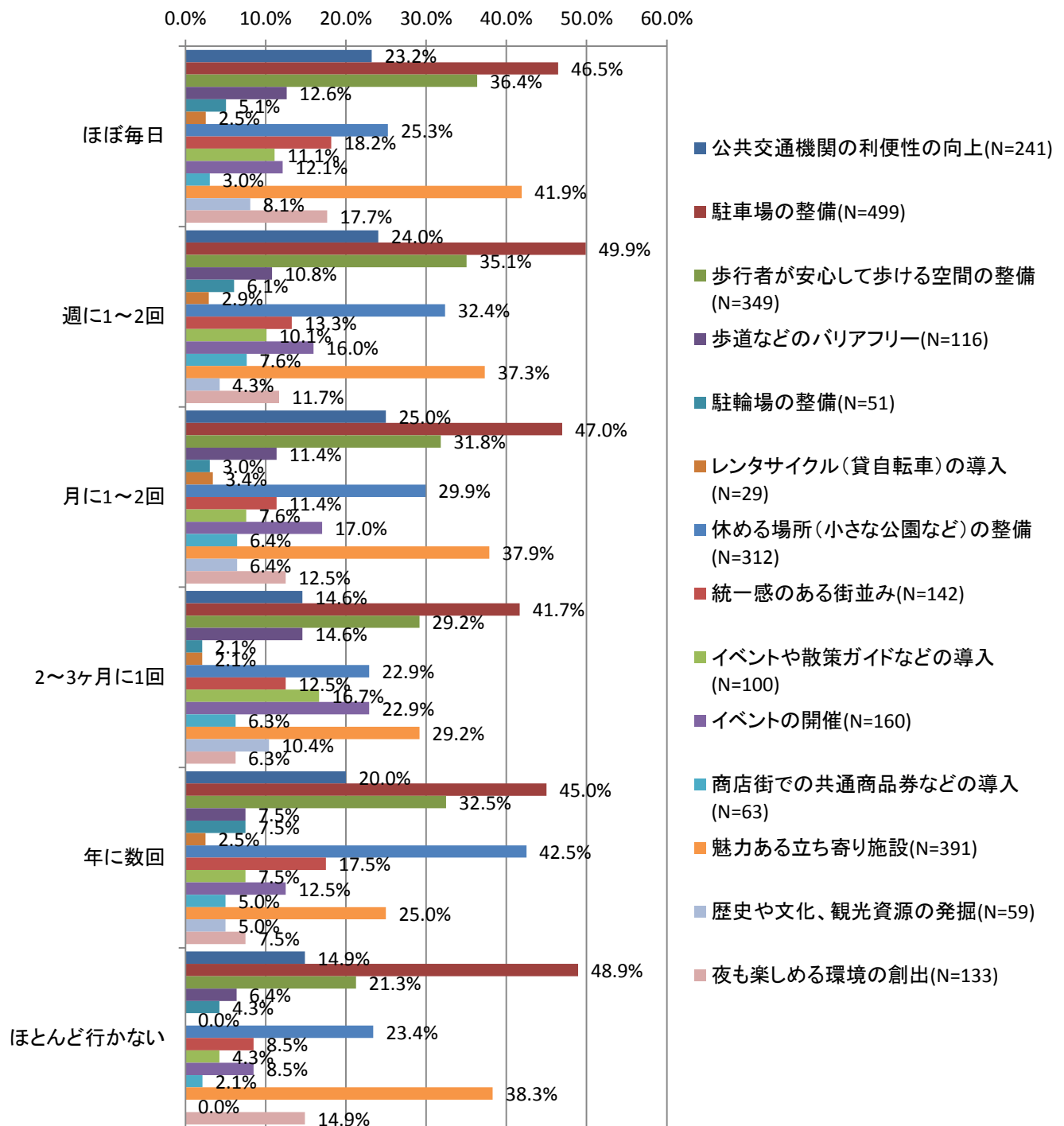


図 6 6 中心市街地への外出頻度と中心市街地へ出かけてみたくなる仕掛け

8) 調査結果（その他、自由記入の集計）

①市役所の利用目的の「その他」意見

○「仕事・会議」での利用が 31.3%で最も多く、「申請・申告」と「利用しない」が 25.0%で並んで 2 番目に多かった。

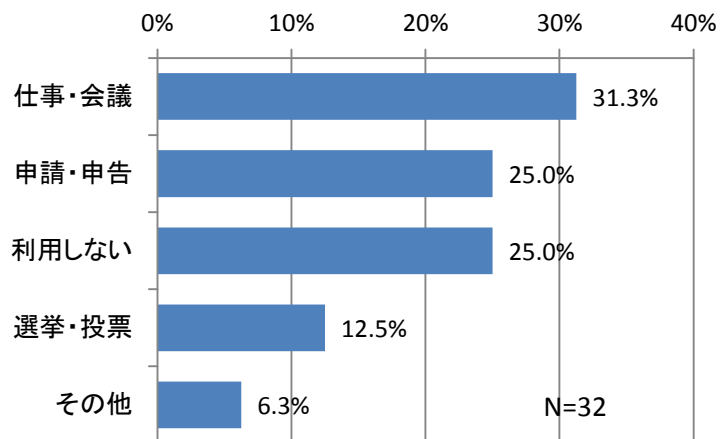


図 6 7 市役所の利用目的の「その他」意見

②整備計画を知った方法の「その他」意見

○「このアンケートで知った」が 75.0%、「テレビで知った」が 25.0%であった。

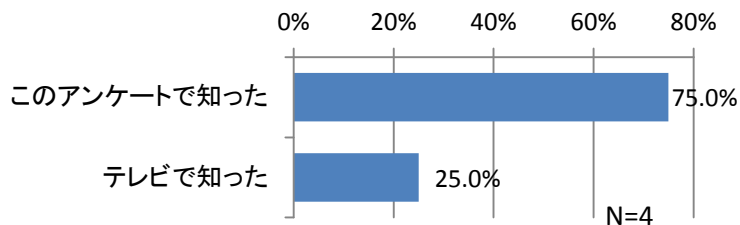


図 6 8 整備計画を知った方法の「その他」意見

③市民交流センターの利便性向上のための配慮事項の「その他」意見

○「十分な駐車スペースを設ける」が 25.0%で最も多く、「たくさんの人が交流できる」と「交通の便が良ければ利用する」が 16.7%で 2 番目に多い。

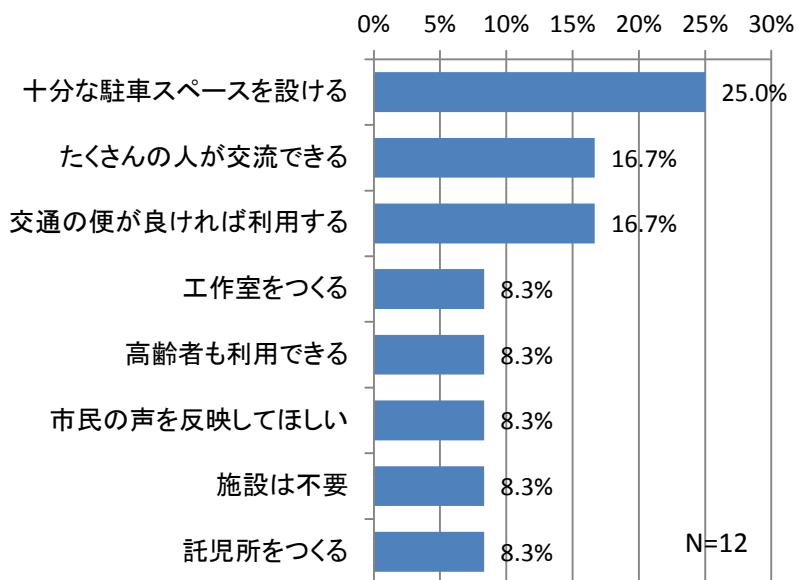


図 6 9 市民交流センターの利便性向上のための配慮事項の「その他」意見

④市民交流センターでの利用内容（形態）の「その他」意見

○「施設を利用しない」が 36.4%で最も多く、「街中での休憩に使用したい」と「買い物ができる」が 18.2%で 2 番目に多い。

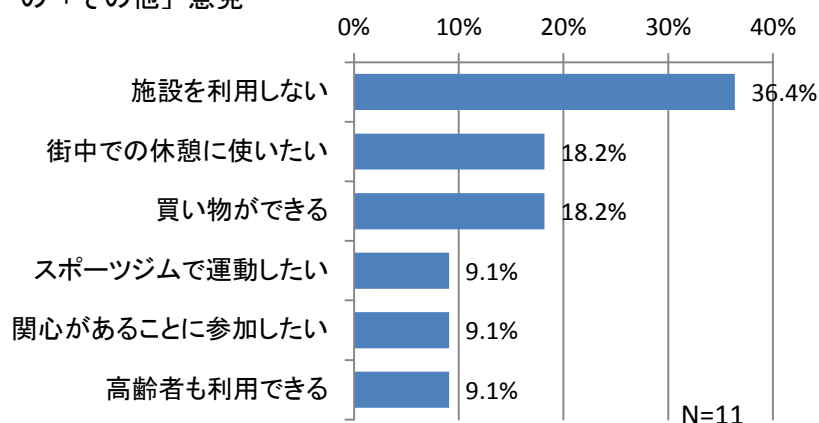


図 7 0 市民交流センターでの利用内容（形態）の「その他」意見

⑤中心市街地へ出かける目的の「その他」意見

○「銀行などの金融機関へ行く」が 36.0%で最も多く、「自宅がある」と「通院・買い物のため」が 20.0%で 2 番目に多い。

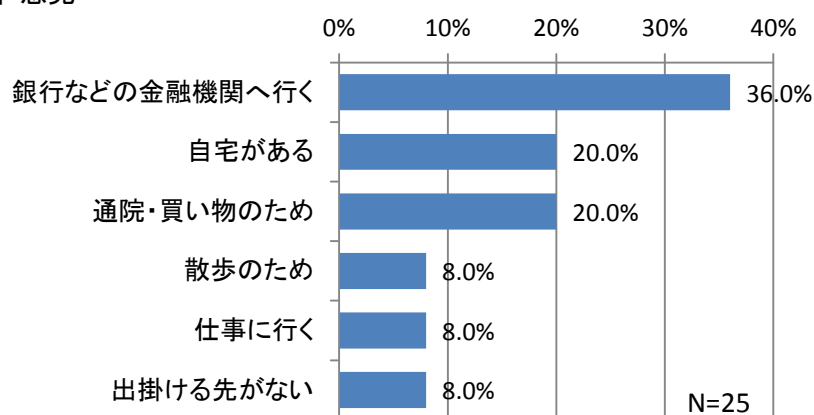


図 7 1 中心市街地へ出かける目的の「その他」意見

⑥中心市街地に出かけてみたくなる仕掛けの「その他」意見

○「商店街の整備・活性化」が 30.0%で最も多く、「大型商業施設や娯楽施設」が 26.0%で続いた。

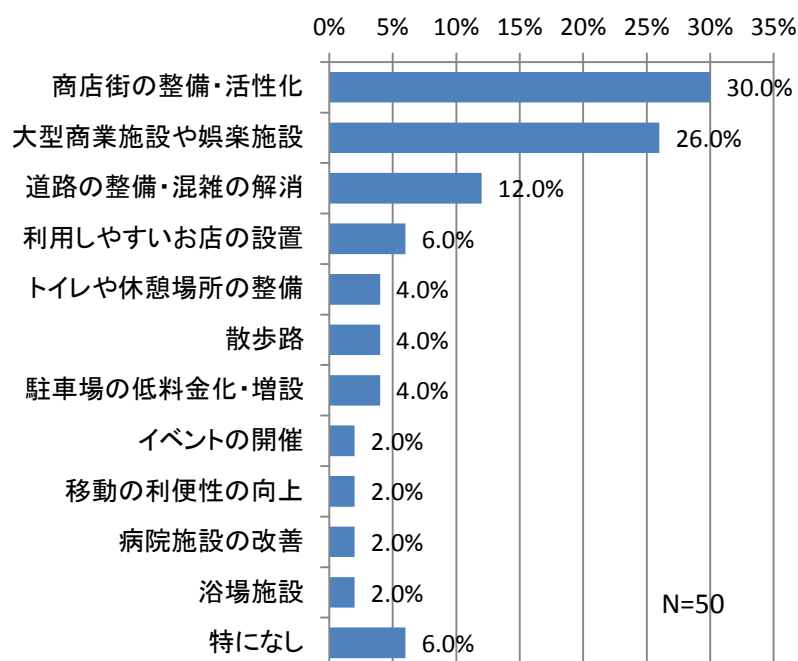


図 7 2 中心市街地に出かけてみたくなる仕掛けの「その他」意見

⑦「新施設」の整備についての意見・提案

【事業全体】

○「計画の慎重な検討を望む」が22.4%で最も多い。

○次に多かったのは、「安心安全な施設にしてほしい」、「計画通りに進めてほしい」、「防災に力を入れてほしい」が7.7%であった。

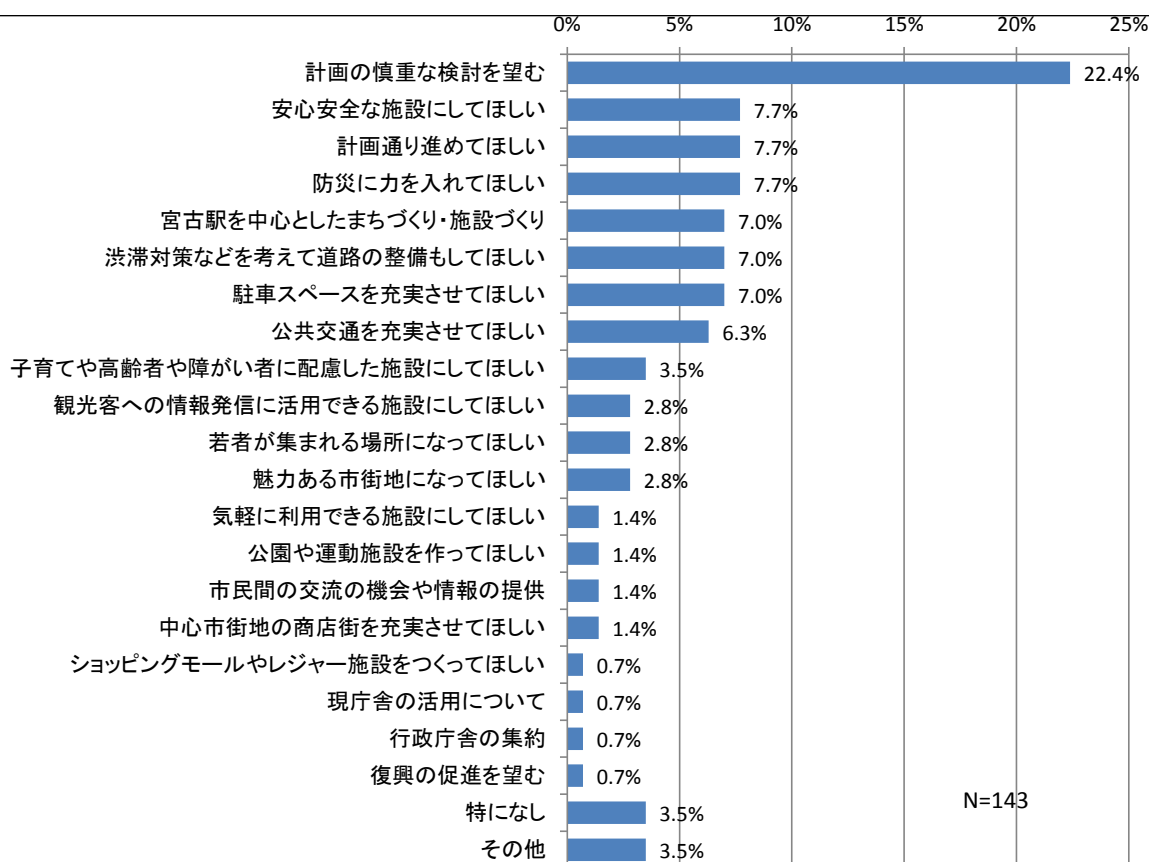


図 7 3 「新施設」の整備についての意見・提案（事業全体）

【市民交流センター（仮称）】

○「気軽に利用できる施設にしてほしい」が42.9%で最も多く、次いで「公園や運動施設を作してほしい」と「防災に力を入れてほしい」が8.6%で並んだ。

○「公共交通を充実させてほしい」と「詳しく計画を知りたい」が5.7%で3番目に多い。

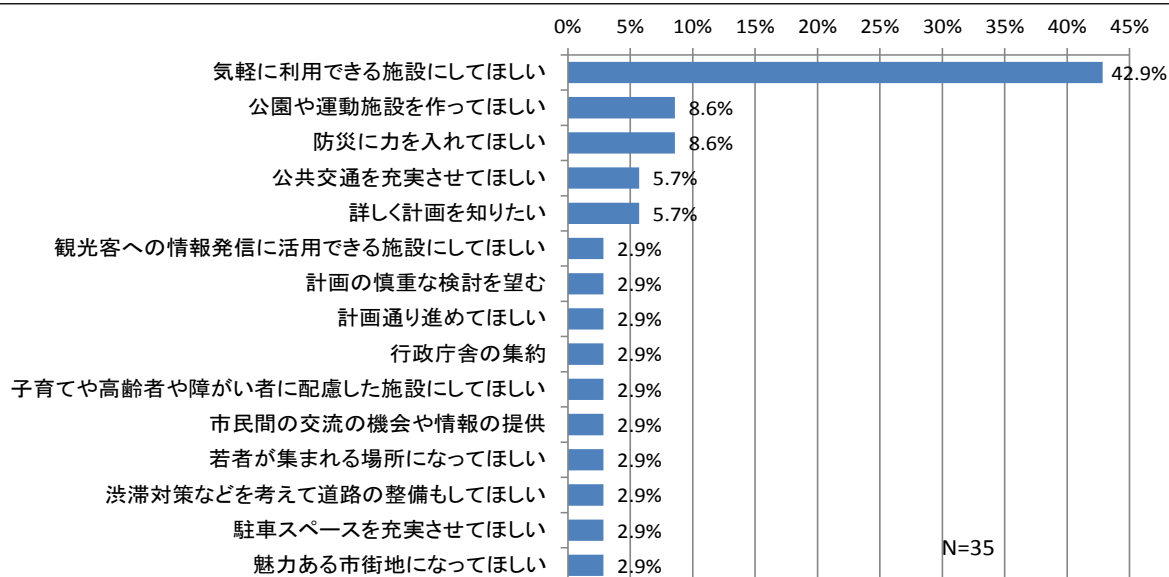


図 7 4 「新施設」の整備についての意見・提案（市民交流センター（仮称））

【中心市街地】

○「中心市街地の商店街を充実させてほしい」が18.3%で最も多く、次いで、「渋滞対策などを考えて道路の整備もしてほしい」と「駐車スペースを充実させてほしい」が17.1%であった。

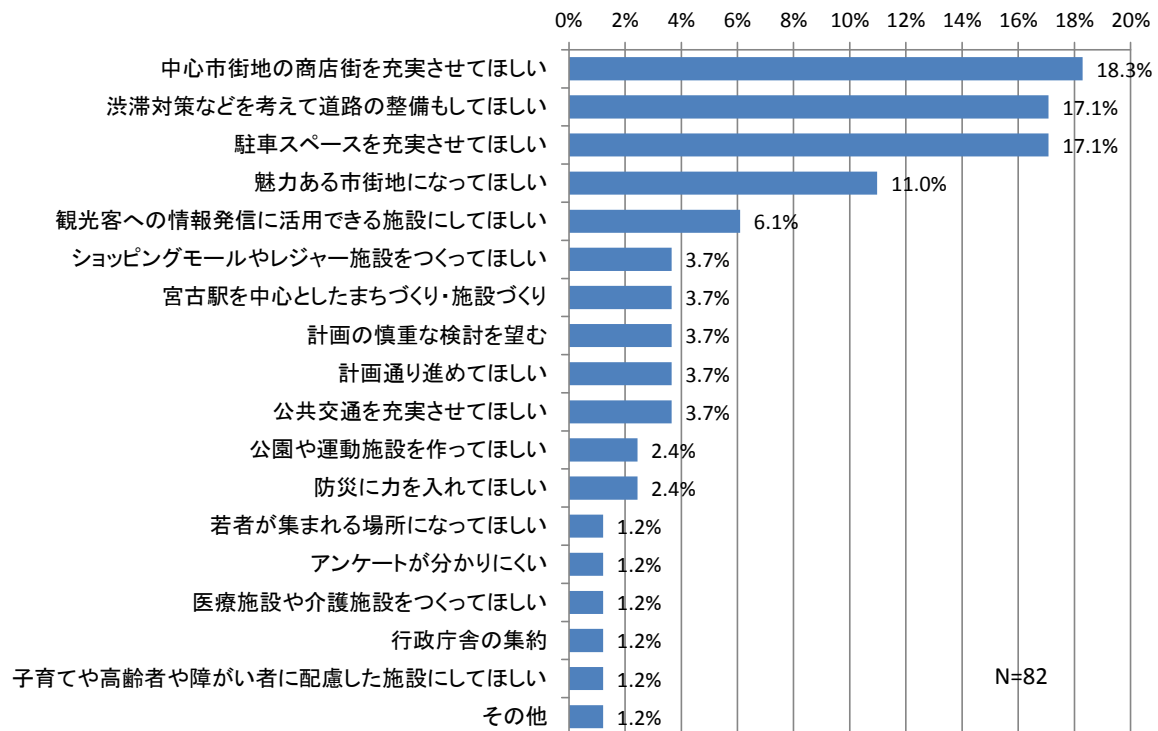


図 7 5 「新施設」の整備についての意見・提案（中心市街地）

【市庁舎跡地の利活用】

○「公園や運動施設を作してほしい」が19.5%で最も多く、次いで、「観光客への情報発信に活用できる施設にしてほしい」と「駐車スペースを充実させてほしい」が12.2%で並んだ。

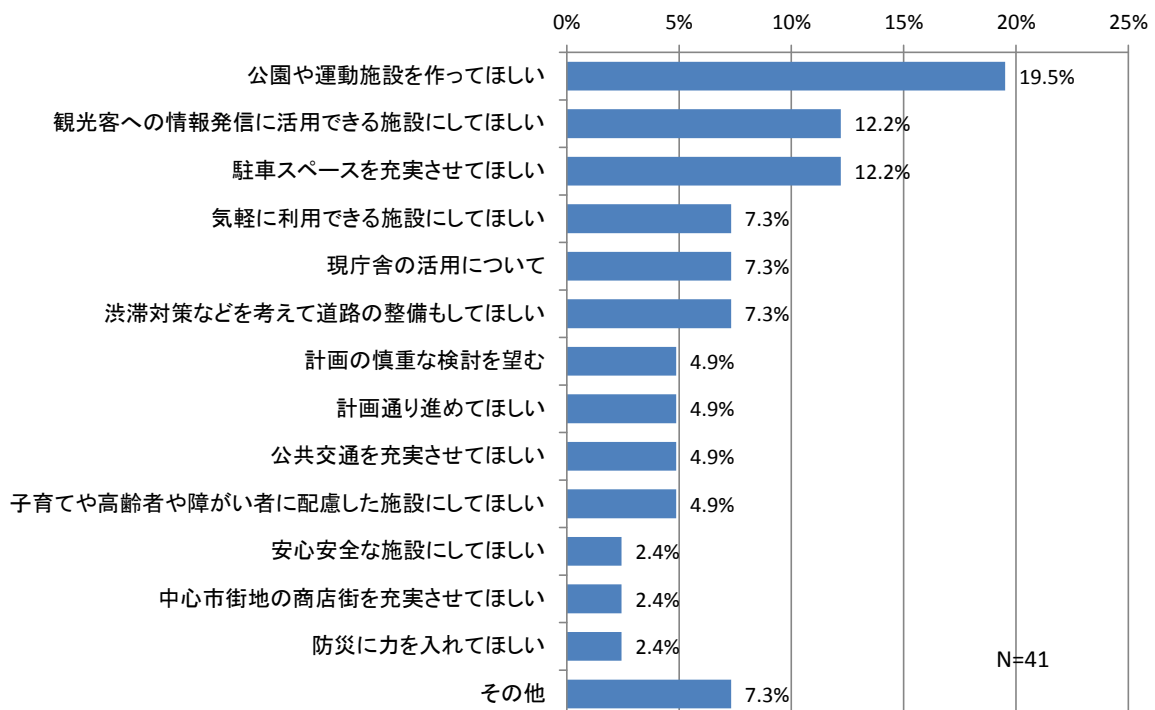


図 7 6 「新施設」の整備についての意見・提案（市庁舎跡地の利活用）

【その他】

- 「気軽に利用できる施設にしてほしい」が13.8%で最も多く、「計画の慎重な検討を望む」が10.3%で続いた。
- 「公共交通を充実させてほしい」が6.9%で3番目に多くなった。

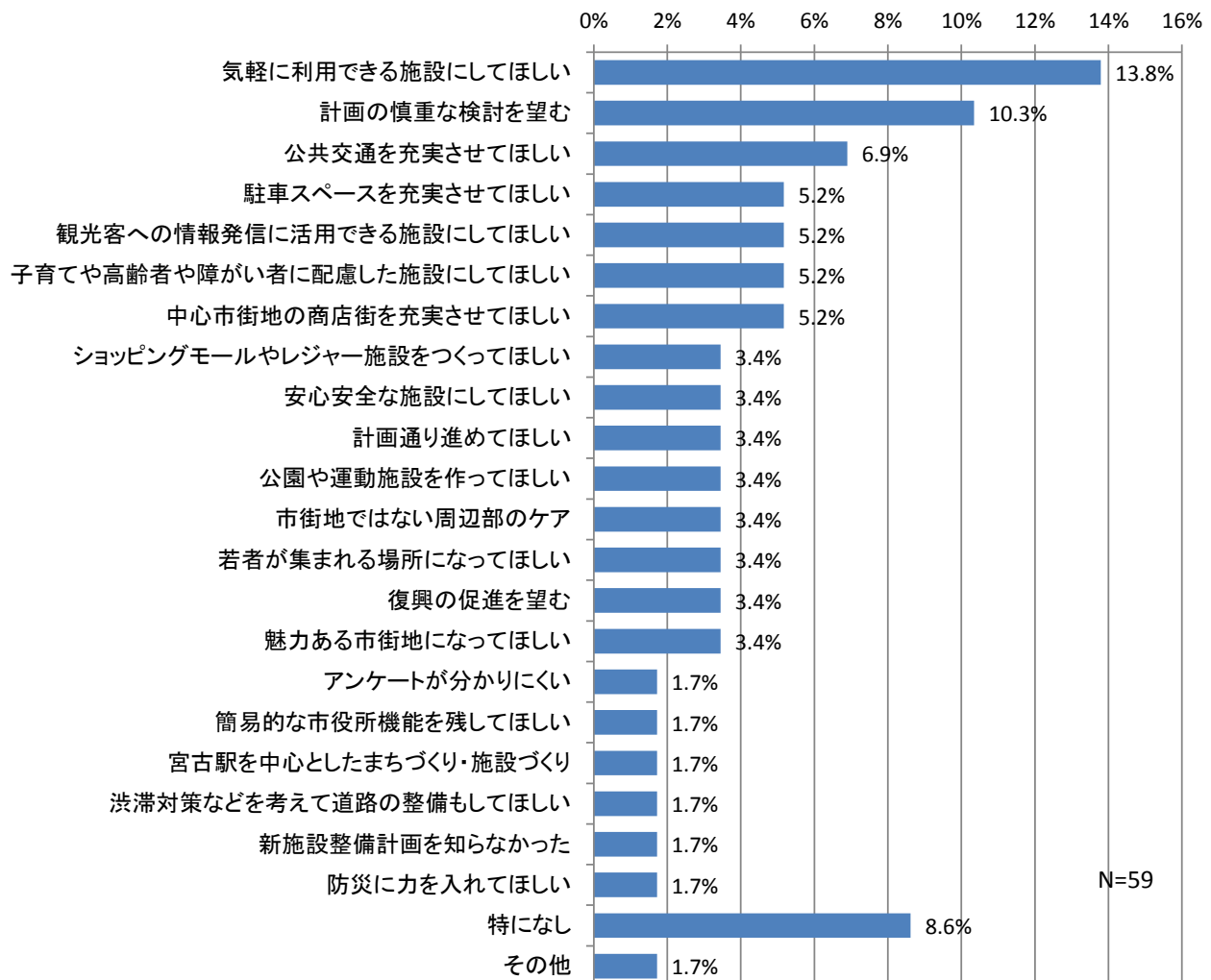


図 7 7 「新施設」の整備についての意見・提案（その他）

3. 資料編

1) 市民アンケート調査票

中心市街地拠点施設整備事業 ～アンケート調査のお願い～

日頃から、市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

市では、現在抱えているさまざまな課題を解決するため、宮古駅南側で次の施設（①、②、③）を集約した「災害時に市民を守るための役割を最大限発揮する施設」（地域防災拠点施設＝「新施設」）の整備を計画しています。

地域防災
拠点施設
「新施設」
として、お
聞きます

①防災・地域活力創出拠点施設～集い、学び、語らい、賑わう～
＊本アンケートでは「市民交流センター(仮称)」としてお聞きます。

②市本庁舎 ～安全・安心な暮らしを支える～

③保健センター ～健康なまちづくりを支える～

本年度、建物の設計を進めるにあたり、「アンケート調査」を実施し、市民の皆様のご意見をお聞きすることになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた調査票は、7月8日（水）までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。

平成27年6月

宮古市長 山 本 正 徳

〔ご記入にあたってのお願い〕

あて名の、ご本人がご記入ください

1. この調査では、市内にお住まいの18歳以上の市民3,000名の方を無作為に選ばせていただきました。
2. 本事業の「基本計画（概要版）」の資料を添付していますので、ご覧ください。
3. 調査は、無記名で行い、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることは一切ありません。
4. 調査結果は、この調査の目的以外で使用されることはありません。
5. 調査にご協力いただいた市民の皆様への情報提供の観点から、集計結果を市ホームページや市広報等で公開するとともに、必要に応じて印刷物を作成します。
6. この調査は、(株)ケー・シー・エスへ委託し、発送や集計などの業務を実施しています。

お問い合わせ

〔調査主体〕 宮古市企画部復興推進課 市街地施設推進室（本庁舎4階）

TEL：(0193) 68-9089、FAX：(0193) 63-9114

〔協力機関〕 株式会社ケー・シー・エス 三陸事務所

回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○印で囲んでください。
「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内に、なるべく具体的にその内容をご記入ください。

問1. あなた自身のことについてお伺いします。

性 別	1. 男性	2. 女性	
年 齢	1. 20 歳未満 4. 40 歳代 7. 70 歳以上	2. 20 歳代 5. 50 歳代	3. 30 歳代 6. 60 歳代
お住まい	1. 宮古地区 4. 重茂地区 7. 新里地区	2. 崎山地区 5. 花輪地区 8. 川井地区	3. 津軽石地区 6. 田老地区
ご職業	1. 農林漁業 4. 公務員・団体職員 7. 学生	2. 自営業 5. パート・アルバイト 8. 無職	3. 会社員 6. 家事専業

問2. 市役所の利用状況についてお伺いします。

【問2-1】あなたが日頃、市役所（本庁舎・分庁舎、総合事務所、出張所、保健センター）を利用するときの用件は何ですか。 （複数回答可）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 証明（戸籍、住民票、印鑑登録など） | 2. 異動（転居、転入出、婚姻や出生など） |
| 3. 健康保険、年金 | 4. 税金 |
| 5. 介護、高齢、障がいサービス | 6. 子どもの保育（保育所、児童手当など） |
| 7. 家族の健康（健診、予防接種、相談など） | 8. 教育（学校、教育相談など） |
| 9. 市営住宅（災害公営住宅） | 10. 建築確認、道路、都市計画 |
| 11. 環境対策、廃棄物 | 12. 住民相談（法律相談など） |
| 13. 自治会や地域活動 | 14. 商工・観光・農林水産業（仕事など） |
| 15. 議会や会議の傍聴 | 16. 展示物の観覧、配布物の受取 |
| 17. 金融機関（キャッシュコーナーなど） | 18. 売店、食堂 |
| 19. その他（ ） | |

【問2-2】あなたは、どのくらい市役所（本庁舎・分庁舎、総合事務所、出張所、保健センター）を利用しますか。 （1つに○）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2、3回程度 |
| 3. 週に1回程度 | 4. 月に1、2回程度 |
| 5. 年に数回程度 | 6. 年1回程度 |
| 7. 数年に1回程度 | 8. ほとんど行かない |

問4.「市民交流センター(仮称)」についてお伺いします。
(諸室のイメージは、次のページを参照してください。)

【問4-1】あなたは、日頃、地域の人たちや気の合った仲間と、グループ・クラブ・サークル
 各種団体・自治会・町内会などの活動に参加していますか。 (1つに○)

1. 参加している
 2. 参加していない

※「1. 参加している」と答えた方

具体的に、どのような活動に参加していますか。

(記入例:毎週、仲間と一緒に将棋や囲碁を楽しんでいる。時々子供たちに教えている。)

【問4-2】「市民交流センター」について、現在、次のページのような諸室の機能を検討
 しています。あなたは、「市民交流センター」が整備された場合、利用した
 い(行ってみたい)と思いますか。 (1つに○)

1. 利用したい(行きたい)
 2. どちらかという、利用してみたい(行ってみたい)
 3. どちらかという、利用しない(行かない)と思う
 4. 利用しない(行かない)
 5. わからない

※「1、2」を選択した方

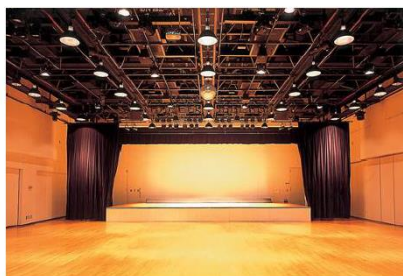
【問4-3】あなたは、「市民交流センター」が整備された場合、どの諸室を利用したい
 (行ってみたい)と思いますか。 (複数回答可)

諸室のイメージや 活用例は 次のページを ご覧ください	防災 展示学習 (体験)室	多目的 ホール	視聴覚 (OA)室	音楽 スタジオ	軽運動 スタジオ	オープンス ペース	情報提供 コーナー	子どもふれ あいコーナ ー	ふれあいカ フェ	和室	創作活動 室	貸室 (研修会議 室)
【記入例】		○					○			○		
利用したい (行ってみたい) 室												

「市民交流センター（仮称）」のイメージ
～市民活動・交流機能・災害伝承機能に関する諸室の例～



防災展示学習（体験）室
（災害記録展示、防災体験など）



多目的ホール
（発表会、講演会、総会など）



視聴覚（OA）室
（講習・研修会、説明会など）



音楽スタジオ
（器楽・合唱練習、録音など）



軽運動スタジオ
（ダンス、舞踏、健康運動など）



オープンスペース
（憩い、交流、学習、待合など）



情報提供コーナー
（各種情報、図書や資料閲覧）



子どもふれあいコーナー
（親子などの交流体験、育み）



ふれあいカフェ
（軽飲食、小会合、交流など）



和室
（教室、会議、着付など）



創作活動室
（教室、体験、展示など）



貸室（研修会議室）
（研修・会議、グループ・団体活動など）

【問4-4】「市民交流センター」（イメージ）の諸室（機能）のほか、あなたが利用したいと思う室（コーナー）があればご記入ください。

※「市民交流センター」が整備された場合のことについて、お伺いします。

【問4-5】あなたは、「市民交流センター」の運営について、利便性を高めるためには、特に、どのようなことに配慮することが必要だと思いますか。 （3つまで○）

1. 親しみやすく、気軽に立ち寄ることができること
 2. 制約なく、誰もが気軽に使えること
 3. 利用料金が安いこと
 4. 利用の手続きがしやすいこと
 5. 地域活動や行政情報などが手軽に入手できること
 6. 地域のことを気軽に相談できる窓口があること
 7. 魅力的な講座・教室やイベントが豊富にあること
 8. 土曜日や日曜日、祝祭日、夜間でも利用できること
 9. 軽い飲食や休憩ができること
 10. その他（）
 11. わからない、思いつかない

【問4-6】あなたは、「市民交流センター」を、どのように利用したいと考えますか。
（複数回答可）

1. グループや団体の会議や会合などで利用
 2. 気軽に立ち寄って、地域の人などと交流
 3. 気軽に立ち寄って、自習や読書などで過ごす
 4. 趣味のサークル活動などで利用
 5. 子どもを遊ばせたり、親同士で交流
 6. 施設が主催する行事やイベントに参加
 7. 多くの人が参加しやすい行事などを行う
 8. 趣味や教養に関する教室や講座に参加
 9. 有償の教室や講座を開く
 10. NPO法人などの活動拠点として利用する
 11. その他（）
 12. わからない、思いつかない

問5.「新施設(地域防災拠点施設)」を中心とした中心市街地についてお伺いします。
(このアンケートでの「中心市街地」の範囲は、下図をご覧ください。)

【問5-1】あなたが、宮古市の中心市街地に出かける主な目的は何ですか。(3つまで○)

1. 最寄品(日用必需品等)の買い物
2. 買回り品(装身具、ハンドバッグ等)の買い物
3. 飲食(外食)のため
4. 遊び・娯楽のため
5. ウィンドウショッピング、ぶらぶら散歩のため
6. 友人・知人に会いに行くため
7. イベント、祭りなどの催し物の見物のため
8. 趣味や習い事のため
(具体的に：)
9. 公共機関への用事
10. 通勤・通学のため
11. 通院のため
12. あまり出かけない
13. その他
()



地図データ：地理院地図（電子国土 WEB）を使用しています。

【問5-2】あなたは、宮古市の中心市街地について、どのように感じていますか。

（記入例を参考に選択）

項 目	そう感じる	まあまあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	そう感じない	わからない
【記入例】〇〇〇〇〇〇があり便利である	1	2	3	4	5	6
1. 車と歩行者が分離されて歩きやすい	1	2	3	4	5	6
2. 安全で安心して訪れることができる （歩道、街灯、まちなかの案内などがある）	1	2	3	4	5	6
3. 便利な駐車場や駐輪場があり利用しやすい	1	2	3	4	5	6
4. 公共的な施設があり利用しやすい	1	2	3	4	5	6
5. 公共交通（鉄道、バスなど）の便が整っていて訪れやすい	1	2	3	4	5	6
6. 高齢者が過ごしやすい場所や機会がある	1	2	3	4	5	6
7. 子育て世代が過ごしやすい場所や機会がある	1	2	3	4	5	6
8. 若者が過ごしやすい場所や機会がある	1	2	3	4	5	6
9. 誰もが気軽に活動や利用できる場所や施設がある	1	2	3	4	5	6
10. 気軽に入れるお店や施設がある	1	2	3	4	5	6
11. 最寄品（日用必需品など）の買い物がしやすい	1	2	3	4	5	6
12. 医療機関や福祉施設があり利用しやすい	1	2	3	4	5	6
13. 美しく潤いがある（河川がきれい、草花がある統一感がある、など）	1	2	3	4	5	6
14. 歴史や文化、観光資源などが多くある	1	2	3	4	5	6
15. 参加しやすい催事（イベント）が多くある	1	2	3	4	5	6
16. まちの様々な情報が得られやすい環境にある	1	2	3	4	5	6

【問5-3】あなたは、日頃、中心市街地へは、どの程度の頻度で訪れますか。 (1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に1～2回 |
| 3. 月に1～2回 | 4. 2～3ヶ月に1回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんど行かない |

【問5-4】あなたが、宮古市の中心市街地に出かけてみたくなる（歩いてみたくなる）
仕掛けとして、特に何が必要だと思いますか。 (3つまで○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 公共交通機関の利便性の向上 | 2. 駐車場の整備 |
| 3. 歩行者が安心して歩ける空間の整備 | 4. 歩道などのバリアフリー |
| 5. 駐輪場の整備 | 6. レンタサイクル（貸自転車）の導入 |
| 7. 休める場所（小さな公園など）の整備 | 8. 統一感のある街並み |
| 9. イベントや散策ガイドなどの情報発信 | 10. イベントの開催 |
| 11. 商店街での共通商品券などの導入 | 12. 魅力ある立ち寄り施設 |
| 13. 歴史や文化、観光資源の発掘 | 14. 夜も楽しめる環境の創出 |
| 15. その他 | |

[

]

問6. 現在の市の「本庁舎」、「分庁舎」の跡地についてお伺いします。

※「新施設（地域防災拠点施設）」を整備した後に、「本庁舎」、「分庁舎」の用地を活用とした場合のことについて、お伺いします。（「庁舎の現状、課題と方向性」については、次のページをご覧ください。）



【問6-1】「本庁舎」、「分庁舎」の用地の活用のあり方として、どのような期待をお持ちですか。（記入例を参考に選択）

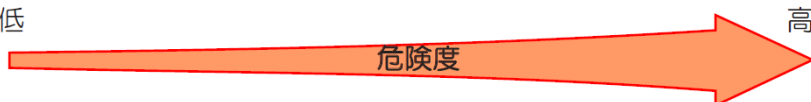
項目（活用の例）		期待する	やや期待する	どちらともいえない	あまり期待しない	期待しない	わからない
【記入例】〇〇〇〇〇ができる場		1	2	3	4	5	6
本 庁 舎	1. レクリエーションやスポーツができる場	1	2	3	4	5	6
	2. 歴史や文化、芸術などを伝えられる場	1	2	3	4	5	6
	3. 市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場	1	2	3	4	5	6
	4. 子育てや高齢者などを支援する場	1	2	3	4	5	6
	5. 観光案内などの情報提供や物産販売などができる場	1	2	3	4	5	6
	6. 市民や観光客のための市営駐車場	1	2	3	4	5	6
	7. 誰でも、いつでも憩える公園や広場	1	2	3	4	5	6
	8. わからない	1	2	3	4	5	6
	9. その他（具体的に記入ください）						

分 庁 舎	1. レクリエーションやスポーツができる場	1	2	3	4	5	6
	2. 歴史や文化、芸術などを伝えられる場	1	2	3	4	5	6
	3. 市民講座やボランティア活動、地域活動などができる場	1	2	3	4	5	6
	4. 子育てや高齢者などを支援する場	1	2	3	4	5	6
	5. 観光案内などの情報提供や物産販売などができる場	1	2	3	4	5	6
	6. 市民や観光客のための市営駐車場	1	2	3	4	5	6
	7. 誰でも、いつでも憩える公園や広場	1	2	3	4	5	6
	8. わからない	1	2	3	4	5	6
	9. その他（具体的に記入してください）						

■本庁舎の耐震性能の現状

本庁舎は、昭和47年に竣工してから43年が経過しました。平成21年に実施した耐震診断の結果、**IS値=0.21（最低値）**と判定され、大規模な地震（震度6強程度）で倒壊の危険性が高く、安全面や防災拠点を担う上で問題があります。

耐震性能 IS 値	$IS > 0.6$	$0.3 \leq IS < 0.6$	$IS < 0.3$ (本庁舎=0.21)
地震に対しての倒壊などの危険性	 危険性が低い	 危険性がある	 危険性が高い
	低		高



※ IS 値

構造耐震指標。建物の耐震性能を表す指標です。
地震力に対する建物の強度と靱性（変形能力、粘り強さ）が大きいほど指標が大きくなり、すなわち、耐震性能が高くなります。

■今後の課題と方向性

市では、「本庁舎」や「分庁舎」の用地について、宮古駅南側の新施設とを結び、新たな拠点として整備を検討します。「まちづくり市民会議」「市民検討委員会」や本アンケート調査の結果を反映しながら、平成27年度内に方向性をまとめる予定です。

「本庁舎」は、耐震性能の問題から、利用を継続するためには耐震補強が必要です。耐震補強は、多額の費用を要するうえ、耐用年数も延伸されないことから、新庁舎整備後は、解体することを前提に検討しています。

なお、耐震補強工事に伴って、現行法令に準拠するためのサッシ改修など、関連工事が必要となりますが、平成22年度時点では、耐震補強工事と合わせて約15億円の改修費になると試算しています。

また、「分庁舎」は、建築から53年が経過し、配管の老朽化や外壁などの剥落も見られますので、新庁舎整備後は、解体することを前提に検討しています。

問7.「新施設(地域防災拠点施設)」の整備について、ご意見やご提案をお聞かせください。

* 該当する項目に、○をお願いします。

1. 事業全体 2. 市民交流センター（仮称）
3. 中心市街地 4. 市庁舎跡地の利活用 5. その他

[illegible]

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

7月8日（水）までに、ポストへご投函ください。



2) アンケート調査報告書（概要版）

宮古市中心市街地拠点施設整備事業に係る市民アンケート調査報告書

発 行 平成 27 年 8 月

編 集 宮古市企画部復興推進課

〒027-8501

岩手県宮古市新川町 2 番 1 号

TEL 0193-62-2111

FAX 0193-63-9114

ホームページ

<http://www.city.miyako.iwate.jp/>

協 力 株式会社ケー・シー・エス 三陸事務所
